

第四十六回衆議院議事速記第二十六號

大正十二年三月六日(火曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第二十五號 大正十二年三月六日

午後一時開議

質問

- 一 日米條約改訂ニ關スル質問(清瀨規矩雄君提出)
- 二 國定教科書改訂ニ關スル質問(田中萬逸君提出)
- 三 小作調停法制定ニ關スル質問(土井權大君提出)
- 四 航空事業ニ關スル質問(安藤正純君提出)
- 第一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)
- 第二 勳章年金増額ニ關スル建議案(根本正君外五名提出)
- 第三 日本アルプス山中上高地(神河内)ニ國立公園設定ニ關スル建議案(塚原嘉藤君外六名提出)
- 第四 銀行預金者救済ニ關スル建議案(板野友造君提出)
- 第五 市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案(納富陳平君提出)
- 第六 小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案(淺石惠八君外六名提出)
- 第七 毛織物ノ關稅免除ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)
- 第八 食糧充實ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)
- 第九 日露通商開始促進ニ關スル建議案(望月小太郎君提出)
- 第十 岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案(山田永俊君外二名提出)
- 第十一 入學難緩和ニ關スル建議案(荒川五郎君外四名提出)
- 第十二 鐵道敷地内土坡等空地利用ニ關スル建議案(吉良元夫君提出)

- 第十三 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外三名提出)
- 第十四 國立水産試驗場設置ニ關スル建議案(廣瀨鎮之君提出)
- 第十五 奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案(福井甚三君外四名提出)
- 第十六 那賀川改修速成ニ關スル建議案(淺石惠八君外三名提出)
- 第十七 自由港設置ニ關スル建議案(坪田十郎君外四名提出)
- 第十八 重要輸出品粗製濫造防止ニ關スル建議案(飯塚春太郎君外二名提出)
- 第十九 生絲輸入稅全廢ニ關スル建議案(飯塚春太郎君外二名提出)
- 第二十 利根運河國有ニ關スル建議案(本多貞次郎君外五名提出)
- 第二十一 縣道ヲ國道ニ編入並架橋費ノ補助ニ關スル建議案(大道寺慶男君外三名提出)
- 第二十二 水産銀行設立ニ關スル建議案(鶴澤宇八君外三名提出)
- 第二十三 内地下朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島、關東州及滿鐵附屬地間ノ郵便電信料金統一ニ關スル建議案(牧山耕藏君外十四名提出)
- 第二十四 牧野法制定ニ關スル建議案(吉良元夫君提出)
- 第二十五 北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(阿部武智雄君外八名提出)
- 第二十六 中込高崎間鐵道敷設ニ關スル建議案(佐藤寅太郎君外四名提出)
- 第二十七 筑波山國立公園設置ニ關スル建議案(鈴木鏡藏君提出)
- 第二十八 行政裁判制度改革ニ關スル建議案(清瀨一郎君提出)
- 第二十九 重信川改修ニ關スル建議案(成田榮信君外四名提出)
- 第三十 伊豫三津濱町ニ停車場設置ニ關スル建議案(成田榮信君外九名提出)

- 第三十一 愛媛縣三津濱港修築ニ關スル建議案(成田榮信君外十名提出)
  - 第三十二 熱海大仁間鐵道速成ニ關スル建議案(小泉策太郎君外一名提出)
  - 第三十三 國立公園設定促進ニ關スル建議案(平野光雄君提出)
  - 第三十四 鹿野山國立公園設置ニ關スル建議案(鈴木隆君外三名提出)
  - 第三十五 木次三次間鐵道速成ニ關スル建議案(原夫次郎君外一名提出)
  - 第三十六 國稅徵收事務ニ對スル交付金増額ニ關スル建議案(長谷川宗治君外三名提出)
  - 第三十七 川之江池田間鐵道敷設ニ關スル建議案(河上哲太郎君外十名提出)
  - 第三十八 宮津河守間鐵道敷設ニ關スル建議案(大島實太郎君外一名提出)
- 議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス
- (原田書記官朗讀)
- 一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 家祿引直處分法案
- 提出者 久下 豐吉君 岡崎 邦輔君  
天春 文衛君 望月 政友君  
關 直彦君 濱田 國松君  
山口 熊野君 川崎 克君  
伊坂秀五郎君 萩田 悅造君
- 帝都制案
- 提出者 作間 耕逸君 頼母木桂吉君  
三木 武吉君 横山勝太郎君  
太田信治郎君 中原徳太郎君  
八並 武治君 淺賀長兵衛君
- 東京府ノ廢止ニ關スル法律案
- 提出者 作間 耕逸君 頼母木桂吉君  
三木 武吉君 横山勝太郎君  
太田信治郎君 中原徳太郎君  
八並 武治君 淺賀長兵衛君
- 帝都制案
- 提出者 近藤 達兒君 關 直彦君

鈴木梅四郎君 古島 一雄君  
佐々木安五郎君 林田龜太郎君  
安藤 正純君

東京府廢止並神奈川縣界變更ニ關スル法律案  
提出者 近藤 達見君 關 直彦君  
鈴木梅四郎君 古島 一雄君  
佐々木安五郎君 林田龜太郎君  
安藤 正純君 (以上三月六日提出)

高知新居濱間鐵道敷設ニ關スル建議案  
提出者 大石 大君 水野吉太郎君  
國澤新兵衛君 坂本素魯哉君  
竹内明太郎君 河上 哲太君  
深見寅之助君

大垣大野金澤間鐵道速成ニ關スル建議案  
提出者 川村 數郎君 木村作次郎君  
大道寺慶男君 柳原九兵衛君  
西村 正則君

支笏湖及俱多樂湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關  
スル建議案  
提出者 小池 仁郎君 一柳仲次郎君  
平出喜三郎君 山本 厚三君  
淺川 浩君 友田文次郎君  
岡本 幹輔君

室蘭港灣設備速成ニ關スル建議案  
提出者 小池 仁郎君 一柳仲次郎君  
平出喜三郎君 山本 厚三君  
淺川 浩君 友田文次郎君  
岡本 幹輔君

朝鮮ニ於ケル水利事業資金充實ニ關スル建議案  
提出者 松山常次郎君 多木久米次郎君  
電力政策實施ニ關スル建議案  
提出者 秦 豐助君 渡邊 修君  
櫻内 幸雄君 本多貞次郎君  
下出 民義君 廣瀬 鑽之君  
富安保太郎君 龍野周一郎君  
(以上三月五日提出)

一今六日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ  
衆議院議員田中萬逸君提出國定教科書改訂ニ關ス  
ル質問ニ對スル答辯書

國定教科書改訂ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也

大正十二年二月二十八日

提出者 田中 萬逸  
贊成者 津原 武  
外二十九名

國定教科書改訂ニ關スル質問主意書  
國民性ノ礎ヲタルヘキ國定教科書ニ對シ近代的一大  
改訂ヲ行ヒ成ルヘク速急ニ之ヲ使用セシムルハ教育上ノ  
喫緊事ナリト信ス政府ノ所見如何  
右及質問候也

大正十二年三月六日

内閣總理大臣 男爵加藤友三郎

衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員田中萬逸君提出國定教科書改訂ニ關スル  
質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
(別紙)

衆議院議員田中萬逸君提出國定教科書改訂ニ  
關スル質問ニ對スル答辯書

國定教科書ニ近代的一改訂ヲ加フルコトニ就テハ當局ハ  
最近ノ方針ヲ以テ漸次適當ナル改訂ヲ施シツ、アリ  
右及答辯候也

大正十二年三月六日

文部大臣 鎌田 榮吉

一今六日提出者ヨリ撤回セラレタル質問主意書左ノ如  
シ

青島在留邦人凌辱ニ關スル質問主意書  
提出者 淺賀長兵衛君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一昨五日常任委員補選結果左ノ如シ

第一部選出決算委員 河崎 清君(米原於菟男  
君補選)

第六部選出決算委員 橫山勝太郎君(中野寅吉君  
補選)

第六部選出請願委員 佐藤寅太郎君(花岡次郎君  
補選)

第九部選出豫算委員 仙波 太郎君(矢島專平君  
補選)

第九部選出請願委員 古賀三千人君(阿由葉勝作  
君補選)

一昨五日煙草專賣法中改正法律案委員永井作次君  
辭任ニ付キ其補選トシテ花城永渡君ヲ朝鮮事業公  
債法中改正法律案外二件委員齋藤篤太郎君辭任  
ニ付キ其補選トシテ阪上貞信君ヲ身元保證ニ關スル

法律案委員森山儀文治君辭任ニ付キ其補選トシテ  
山邊常重君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ  
一昨五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ  
競馬法案

廣岡宇一郎君 八田 宗吉君 中島 鵬六君  
東 武君 丸山巖峨一郎君 山本清三郎君  
大島實太郎君 日野 辰次君 陣 軍吉君  
島本 信二君 若尾 幾造君 平出喜三郎君  
正木 照藏君 齋藤巳三郎君 内藤 濱治君  
齋藤宇一郎君 佐々木平次郎君 森下龜太郎君  
市制中改正法律案外二件

改野 耕三君 鳩山 一郎君 宮崎三之助君  
中島 守利君 高橋善五郎君 小田切磐太郎君  
竹下藤次郎君 赤田 瑛一君 加藤重三郎君  
向井 俊雄君 久木田 叶君 龍 正雄君  
黑金 泰義君 太田信治郎君 淺賀長兵衛君  
友田文次郎君 植原悦二郎君 平野 光雄君  
漢學振興ニ關スル建議案

山下成太郎君 山本悌二郎君 山田 永俊君  
戸水 寛人君 吉良 元夫君 荒川 五郎君  
佐久間啓莊君 小橋藤三衛君 有森 新吉君  
第六回内閣勸業博覽會開催ニ關スル建議案  
池田猪三次君 加藤重三郎君 下田 民義君  
三輪市太郎君 伊坂秀五郎君 野呂 駿三君  
紫安新九郎君 磯貝 浩君 大口 喜六君

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス  
○田中善立君 議長  
○議長(粕谷義三君) 少シ御待下サイ、御諮ラスルコト  
ガアリマス、重松重治君病氣ニ付、三月六日ヨリ三月十三  
日マテ請假ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌ  
カ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナイモノト認メマス、仍テ許  
可致シマス、第五部選出請願委員難波作之進君、第八部  
選出決算委員石川善盛君、右兩名ヨリ常任委員辭任ノ  
申出ガアリマシク、許可スルニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナイモノト認メマス、仍テ許  
可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補缺選舉ヲ行ヒ、届出アラ  
シコトヲ希望致シマス、議事進行ニ關シテ田中善立君ヨリ  
發言ヲ求メテ居リマス、之ヲ許シマス

〔田中善立君登壇〕

○田中善立君 議事進行ニ關シ議長ニ二點程御伺致シ  
タイ事ガアルノデゴザイマス、第一ハ昨日日本員ハ三輪市太郎  
君ノ演說中、再三再四議事進行ニ關シ發言ヲ求メマシテ、  
遂ニ書面ヲ差出シテ之ヲ要求シタニ拘ラス、議長ハ幾  
多ノ前例ヲ無視シテ、更ニ顯ミラレナカク理由ハ、如何ナル  
御考デアアルカ、之ヲ第一ニ御伺致シタリ、第二ニハ三輪市太  
郎君ノ演說振ヲ見マス、確ニ三輪君ノ良心ハ、横山  
勝太郎君ノ質問ノ要旨ヲ是認シテ居ルト思ハレマシタニ拘  
ラズ、自派ノ非ヲ掩ハンガ爲ニ、詭辯虛言ヲ弄シテ之ヲ辯駁  
ヲ致シタルコトハ、何等質問ニアラズシテ全ク虛偽ノ辯解ニ  
過ギナイデアリマス(拍手)一時間有餘ニ亙レル此虛構ノ  
辯明ヲ、議長ハ一回ダニ注意ヲ與ヘテ居ラヌノデアリマス、  
斯ル惡例ヲ貽スト云フコトハ、本院ノ神聖ヲ害スルコトニナ  
ルノデアリマスガ、人格者タル粕谷議長ハ之ヲ以テ差支ナ  
イト御認ニナッテ居ルノデアリマスカ、此二點ダケヲドウゾ眞  
面目ニ御答辯ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 只今田中君ヨリノ御尋ニ對シテ御  
答致シマス、昨日ノ三輪君ノ御演說中、田中君ヨリ議事進  
行ニ付テ發言ヲ求メラレタデアリマス、併ナガラ當時御承知  
ノ如ク、三輪君ノ發言中デゴザイマシテ、發言中ニ於テ他ノ發  
言ヲ許スト云フコトハ、議事ノ進行上甚ダ宜シクナイト考ヘ  
マス「前例ガアル」ト呼フ者アリ)ソレ故ニ多少サウ云フ前例  
ハアリマス—アリマスカンレハ好イ前例トハ考ヘマセヌ、ソレ  
故田中君ヨリノ御要求ハ後廻シニ致シマシテ、三輪君ノ御  
演說ガ終リマシタ後ニ於テ、政府ノ答辯ヲ終リマシタ後ニ於  
テ、田中君ノ發言ヲ許シマス考デアリマシタ、然ルニ偶、岩  
崎君カラシテ議事延期ノ動議ノ提出ガアリマシタ、此議事  
延期ノ提議ヲ先決問題ト心得マシテ、直ニ之ヲ採決致シタ  
次第デアリマス、遂ニ田中君ニ發言ヲ與フル機會ヲ得ナカ  
タコトヲ甚ダ遺憾ト致スノデアリマス、第二ノ點ハ三輪君ノ  
演說ハ全然虛構デアル、此辯明ヲ何故ニ看過シタカト云フ  
御尋デアリマスガ、私ハ三輪君ノ演說ガ果シテ虛構デアルヤ  
否ヤト云フコトヲ、判斷スルコトハ出來マセヌ、ソレ故此演說  
ヲ差押ヘルコトハ議長ニ於テハ不可能デアリマス、尤モ三輪  
君ノ演說中、偶、議論ニ涉レル點ガアリマシタカラ、議長ト  
致シマシテハ一二回注意ヲ與ヘテ置キマシタ、左様ナ次第  
デアリマスカラ、田中君ニ於テモ此事ヲ御了承アラントラ  
希望致ス次第デアリマス

○田中善立君 只今第一ノ御答辯ハ、如何ニモ發言中此  
議事進行ノ發言ヲ御許ニナルト云フコトハ多少差支モアル  
ノデアリマス、然ルニ是迄常ニ政友會諸君ガ發言ヲ求メラレ  
タル場合ニハ、許サレタル前例ハ幾多アルノデアリマス(ノウ  
ノウ)今後絶對ニ斯ル事ハ御許ニナラヌト云フ御考デアリ  
マスカ

○議長(粕谷義三君) 第二ノ三輪君ノ演說ガ虛構ガ虛構  
デナイコト云フコトハ姑ク措キマシテ、アレハ全ク辯明ニ過ギ  
ナイノデ、質問ノ體ヲ更ニ成シテ居ラヌ(横山君ノモ同ジ事  
デアルト)ト呼フ者アリ)ソレヲ一時間餘ニ亙リテ御許ニナタ  
タ云フコトハ、非常ノ惡例ヲ貽ス事ニナルノデアリマスカラ、之  
ヲ御尋シタルデアリマス

○議長(粕谷義三君) 重ネテ田中君ノ御質問ニ御答致シ  
マスルガ、他ノ發言中ニ議事進行ニ關シテ發言ヲ許シマス  
場合ニハ、多ク懲罰ノ場合デアルト考ヘマス、今議會ニ就任  
以來、他ノ發言中ニ政友會ノ諸君カラ屢々發言ヲ求メラレ  
タコトガゴザイマスルガ、一遍モ之ヲ許シテ居リマセヌ、ソレカラ  
第二ノ點ハ只今モ御答辯致シマシタ通りデアル、横山君ノ  
御演說モ失張事實ヲ御述ニナッテ政府ノ所見ヲ御尋ニナッ  
テ居ル、三輪君モ亦是レト同ジヤウニ、三輪君ノ御取調ニナ  
タ事實ヲ擧ゲラレテ政府ニ御尋ニナッテデアリマス、此間餘  
リ軒輕スル所ハ無イト私ハ考ヘテ居ル、(議長公平)ト呼フ  
者アリ)之ヲ以テ御答ト致シマス、此際日程ヲ變更致シマシ  
テ、昨日延期ニナッテ居リマス、淺賀長兵衛君ノ御提出ニ  
係リマスル青島在留邦人凌辱ニ關スル緊急質問ノ返旨辯  
明ヲ許シタイト考ヘマス、御異議ゴザイマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ許可  
致シマス、淺賀長兵衛君

青島在留邦人凌辱ニ關スル質問(淺賀長兵衛君提出)

〔淺賀長兵衛君登壇〕  
〔三木武吉君〕議長外務大臣ノ出席ヲ要求シマス  
ト呼フ

○議長(粕谷義三君) 外務大臣ハ只今差支ヘテ出席ム  
ツカシイト云フコトデアリマス、如何デアリマスカ  
〔國務大臣ノ出席ヲ求ムト呼フ者アリ〕  
○議長(粕谷義三君) 只今次官ガ御出席ニナッテ居リマ  
スカラ—要求ダケハ致シテ置キマス

○淺賀長兵衛君 諸君、本員ハ去ル二月十一日、青島ニ  
於テ我が在留官民ニ對スル一大凌辱事件ニ關シマシテハ、  
確ニ我が國威ノ一部ヲ傷ケ、又吾々國民ニ對スル侮辱ノ甚  
シキ事件ナリト憤慨ノ餘、私ハ茲ニ緊急質問ヲ爲スノデアリ

マス、此質問ノ趣旨辯明ニ這入ル前ニ一言述べタキコトハ、  
近來我が外交ニ關シマシテハ、國民ノ多クノ者ハ洵ニ不安  
ノ念ニ驅ラレツツアルデアリマス、内田外務大臣ノ過去四年  
有半ニ亙レル其外交振ハ、洵ニ遺憾至極デアリマシテ、卑屈  
退嬰、軟弱、遂ニ讓歩ニ依ッテ我が國威ヲ日ニ月ニ失墜シツ  
ツアルノハ、彼ノ巴里會議ニ於テモ、華盛頓會議ニ於テモ顯  
著ナル事例トシテ現レタデアリマス、西伯利亞問題ノ如キニ  
關シテモ其時宜ヲ誤リ、我が外交史上ニ於ケル最モ痛恨ト  
スベキ事蹟ヲ殘シタデアリマス、特ニ對支問題ニ關シマシ  
テハ、遺憾ナク讓歩主義ヲ發揮シ、今ヤ其反映トシテ洵ニ悲  
ムベキ青島ノ凌辱事件ヲ發生シタルデアリマス、此點ニ關シ  
マシテハ吾々常ニ外務當局ニ對シテ糾彈ヲ爲シテ居リマス  
ルガ何等之ニ耳ヲ傾ケナイノデアリマス、而シテ最近此議  
會ニ於テ貴族院ニ於キマシテハ、外交刷新ニ關スル建議案  
ノ全會一致ノ決議トナリ、又此議場ニ於キマシテモ去ル二  
月十五日ノ現内閣不信任案討論ノ際ニ於キマシテハ、吾々  
ノ同志ヨリ内田外務大臣ニ對シテ遺憾ナク不信任ノ意ヲ  
表シタルデアリマス、又適テハ昨年ノ暮ヨリ本年一月ノ月  
末ニ至ルマデ、珍シクモ樞密院對現内閣ノ間ニ於ケル日支  
郵便條約ノ效力發生ノ時期問題ニ關シテ、意見ノ衝突ヲ  
來シタルガ如キハ、明ニ現内閣ノ外務ノ任ニ當ッテ居ル内田  
外務大臣ノ外交振ハ、將來洵ニ不安デアルト云フコトニ對  
スル、國民ノ不滿ノ一ツノ叫デアルト私ハ確信スルノデアリマ  
ス(拍手)然ルニ内田外務大臣ハ此壇上ニ於テ何ト云ウテ  
居ルカ、即チ今日排日思想ノ緩和ノ爲メ、或ハ日支親善ノ  
爲ニハ多少ノ讓歩ハ已ム得ヌト云フガ如キ暴言ヲ爲シテ  
居ルノデアリマス、然ルニ此聲明ニ對シテハ時々刻々ニ、日  
二月ニ其反對ノ結果ヲ現シツ、アルコトハ是ハ、何故デア  
ルカ、即チ讓歩ニ次テ追撃ノ來ルコトハ、彼ノ隨テ得テ望  
ム所ノ國民性ヲ代表セル支那政府ニ於テハ、此二月二十  
七日對支二十一箇條取消ノ廟議ヲ決定致シ、今ヤ我國ニ  
對シマシテ其通告ヲ爲サントスルガ如キ情勢ニ在ルデアリ  
マセヌカ、又長春ニ於キマシテハ我が守備隊ノ一兵士ハ支  
那官兵ノ爲ニ射殺ヲセラレ、或ハ滿鐵附屬地境界ニ於ケル  
守備ヲ爲ス所ノ巡查某ハ、失張重傷ヲ支那官兵ヨリ負ハサ  
レタルガ如キ、延イテハ今回吾々ノ最モ遺憾ニ思フ居ル所  
ノ青島凌辱事件ノ如キハ、何レモ皆外務大臣ノ聲明ヲ裏  
切ル所ノ顯著ナル事實デアリマセヌカ、昨年十二月軍政  
ヲ撤廢シ、同月十日行政事務ヲ引渡シタハ、同日夕刻青  
島市場町三丁目ニ於ケル質商渡邊榮次郎君二三名ノ支  
那人強盜現ハレ、家族三名全部ヲ縛リ上ゲ、而シテ現金七  
十圓、質物タル銀時計七箇ヲ奪去リタル事件ガ生ジタノデ

アリマス、十二月二十一日午後四時頃白晝公然正金銀行青島出張所ニ、矢張「ピストル」携帶ノ支那人強盜三名現ハレ、同日ノ收入金銀一万五千圓全部ヲ奪去テ事宵モ生ジタノデアリマス、又十二月二十六日朝ノ事件ハ次ノ如キデアリマス、山東鐵道ハ其日ノ收入金ヲ夜行列車ニ依リマシテ、同日同夜沿線各驛ヨリ其收入金ヲ集メテ、翌朝之ヲ取總メテ銀行ニ預入スルノガ其慣例デアルト云フコトデアリマス、此慣例ニ依リマシテ、昨年十二月二十六日朝山東鐵道會計部員ハ、其收入金ヲ自動車ニ依テ正金銀行青島出張所へ之ヲ運搬中、三名ノ「ピストル」ヲ有セル支那強盜自動車ニテ追撃ヲ爲シ、以テ山東鐵道會計部員ノ乗レル自動車ノ運轉手ヲ脅シ、而シテ又會計部員ヲ脅シ、以テ運搬中ニ於ケル所ノ金ヲ全部奪去タト云フコトナノデアリマス、當時之ヲ目撃シタル人ノ話ニ依リマスレバ、是レ恰モ活動寫眞ノ「フィルム」ヲ見ルガ如キ状態デアッタト云フコトデアリマス、右ノ如キ顯著ナル事例ハ我が行政事務引渡後ニ於キマシテ、頻々トシテ生ジツ、アルト云フコトデアリマス、即チ今ヤ青島ノ治安ハ全然紊亂シ、其在留邦人ノ生命財產ハ洵ニ不安ノ極ニ陥ルノデアリマス、我が軍政行政施行中ニ於キマシテハ、斯ル事件ハ一回ダモ起キザリシト云フコトデアリマス、斯ク青島市ヲシテ不安ノ状態ニ陥ラシメタニモ拘ラズ、我が外務當局ハ未ダ一回モ支那政府ニ對シマシテ、何等ノ警告ヲ發シタコトヲ耳ニシナイコトヲ私ハ洵ニ遺憾トスルノデアリマス（拍手）是ハ猪措キ吾々ノ最モ憤懣ニ堪ヘナイ事件ハ先程モ申上ゲル通り二月十一日青島在留官民ニ對スル一大凌辱事件デアアル、此一大凌辱事件ニ關シマシテハ、青島日々新聞號外ノ一齣ヲ爰ニ紹介シタイト思フデアリマス、此號外ノ標題ハ「暴又暴支那不逞官憲ノ惡虐ヨ我官憲泥土ニ蹂躪サレ終ニス、拉致サレタル同胞ノ慘シキ苦難ヲ見ヨ惡鬼ノ如ク羅刹ノ如キ暴行ヲ」ト云フ題デアリマス、昨十一月一日午後二時三十分市内市場二丁目、五十競賣所ニ於ケル遊撃隊員ノ暴行事件ニ就キ更ニ詳細ナル調査ヲ行フテ頗末ハ左ノ如クデアアル、五十競賣所ニ於テ同日定刻ニ依テ競賣ヲ開始シタガ、從來屢々競賣中ニ拘摸ニ罹ル者ガアルノデ、競賣所側デハ立會者ニ注意ヲ與ヘソレトナク犯罪豫防ニ努メツ、アツタ所果セルカナ怪シイ三名連ノ支那人ガ入り來リ、觀客ヲ裝フテ客ノ油斷ヲ見澄マシ「パイ」及財布ヲ拘取り逃去ヲ企テタノデ、スハ泥棒トバカリ、觀客ノ數名ハ矢度ニ逃行ク犯人ノ中一名ヲ捕ヘ斯クト警察署ニ急報シタ所、該支那人ハ捕ヘラレテ逃去ラント身ヲ跳キシモ到底逃ゲ得ベカラザルヲ覺リ、死シタガ如ク裝フト、大地ニ横臥シテ動カヌヨリ、驚イタ競賣所側デハ早速附近ノ回

春堂醫院ヨリ醫師ヲ招キ診察ヲ受ケタガ、何等ノ異狀ナク全ク死ヲ裝フタモノデアアル事ガ分リ、醫師ガ其儘立歸シタ後、急電ニ依リ駐付ケタ我領事館、警察署員ハ同所員ニ就テ事情ヲ質シテ居ル所へ支那側ヨリモ巡警一隊ガ出張シタノデ犯人ノ引取方ヲ交渉中突然ガソリンヲ音高ク二臺ノ自動車ニ分乗セル十數名ノ遊撃隊員ガ駈付テ競賣所前ニ停車スルヤ指揮官ヲシキ一名ガ抜劍シ、部下ヲ指揮シ競賣所内ニ闖入セントスルヨリ、同所ニ出張中ナリシ我福山警部、及椎原巡查部長外一名ノ巡查等ガ之ヲ阻止セントシタ所、彼等遊撃隊員ハ矢度ニ手ニ「拳銃ヲ擬シテ我警察官ニ迫リ、亂暴ニ競賣所内ニ闖入スルヤ、物ヲモ言ハズ我警察官ヲ毆リ付ケ、制止セントセバ銃ヲ差向ケテ威嚇シ、土足ノ儘座敷ニ飛上リ、手當リ次第ニ家具ヲ破壊シタル上、同所ニ居合セテ前記福山警部、椎原巡查部長以下巡查一名、直隸町太田六郎、埠頭局長小原國一、祝町原國義勝競賣所事務員宮崎厚太郎濱田、祝町大腸甚三郎、高櫻及逸早ク驅付ケタ本社記者井上、濱崎濟南經濟報社、南、八藤、兩記者ノ十二名ヲ亂打重傷ヲ負ハシメタル上、或ハ自動車ニ或ハ引摺ランバカリニシテ拉致シ去リ、途中ニ於テモ亦復處嫌ハズ亂打シツ、芝罘町ノ遊撃隊本部ニ引揚ゲタノデアアル、噫慘又慘、椎原部長「此大椿事勃發スルヤ總領事館ニ於テハ、森岡副領事以下官員全部出動シ、林尾署長以下ノ警部署員全部ハ非常召集ニ依テ被害現場ノ調査ヲ行フト共ニ、署長ハ自ら遊撃隊本部ニ出張、邦人ノ引渡ヲ迫ツタガ、遊撃隊本部デハ要所々々ニ武裝セル隊員ヲ以テ十重二十重ニ警戒ノ網ヲ張り、容易ニ近ツケシメナカツタガ、林尾署長以下署員必死ノ嚴誡ニ漸ク邦人全部ヲ解放スルコト、ナリ、午後六時頃一同一先ツ總領事官ニ引揚ゲタガ、椎原部長ノ負傷ハ甚シク、顔面ハ見ル影モナキマデニ毆打サレテ居リ、田櫻某モ又餘程ノ重傷ヲ、何レモ青島病院ニ擔ギ込ミ、應急手当ヲ加ヘタガ、椎原部長ハ餘程ノ重傷ヲ意識全ク不明デ、今後ノ經過ヲ氣遣ハレテ居ル即チ二月十一日ニ於ケル我が青島在留官民ニ對スル一大凌辱事件ノ内容ハ右ノ如キ次第デアリマス、而シテ一タビ此事件生ズルヤ、即チ二月十一日ノ午後二時三十分ニ於テ此事件件生ズルヤ、直ニ此事件ノ頗末ハ青島ニ於ケル吾々同胞ニ傳ハリ、數千ノ同胞ハ立下コロニ日本人會ニ集ツタノデアリマス、而シテ彼等ハ何レモ血湧キ肉躍リ我が外交ノ無能ヲ大ニ攻撃シタノデアリマス、其點ニ付テハ諒々シクナリマスカラ是ハ省略致シマスルガ、其晚ニ於キマシテ立下コロニ二千有餘人ノ青島市在留市民ガ集リ、臨時市民大會ヲ開キ、以テ次ノ如キ決議ヲ爲シタノデアリマス、而シテ其決議ヲ電文

ニ依ツテ我が加藤總理大臣ニ急電ヲ發シタノデアリマス、此一節ヲ再ビ朗讀ヲ致シマス、電文「本日本午後二時三十分頃支那官兵及ビ巡警ハ當地市場町ニ於テ帝國官民ニ對シ暴行毆打ヲ極メ、重傷者數名ヲ出シ、更ニ之ヲ拉置シ去レリ、市民一般ノ憤怒其極ニ達セリ、本件ハ當地引渡後ニ於ケル諸種不安定暴虐ノ事實ヲ併セ、吾人一同ハ不安ヲ感ズルコト著シク、生命財產ノ保護ニ付キ脅威ニ堪ヘズ、到底默止シ難キ所ナリ、爰ニ本會ハ本夜午後九時市民大會ト共ニ左記各項ノ實施貫徹ヲ期スベキコトヲ決議セリ、速ニ之ヲ實行シ市民ノ騷擾ヲ鎮靜スベキ措置ヲ講ゼラレムコトヲ請願ス、一、帝國軍隊ノ駐在及ビ軍艦數隻ノ派遣、一、支那官兵ノ撤退、一、暴行事件ニ對シ嚴重ナル處罰及ビ支那官憲ノ謝罪、一、暴行事件ニ對シ損害賠償ノ要求」以上デアリマス、而シテ此要求ニ對シマシテ我が政府ニ訴ヘンガ爲ニ二十名ノ委員ガ上京セラレタノデアリマス、而シテ此重大事件ニ關シマシテ陳情ノ爲ニ、上京委員ハ親シク外務當局ヲ訪問致シマシテ、其善後ノ處置、並ニ將來ノ方策ニ付テ縷々陳情ヲ致シマシテモ、我が外務當局ハ一向ニ之ニ耳ヲ假サズ何ト云フカト云フニ、此際政府トシテハ一層輕舉ヲ慎マザルベカラザルノ時ト云フテ、何等之ヲ取合ハナイノデアリマス、而シテ上京委員ノ陳情ニ對シテハ、洵ニ風馬牛ノ如キ態度ヲ執リ、諸君ハ成ベク驍ガヌヤウニト云フニ過ギナイト云フコトデアアル、外務當局ニ一言スルガ、彼ノ華盛頓會議ニ就キマシテ支那ノ代表タル顧維鈞ハ何ト聲明セラレテ居リマスルカ、即チ撤退後ニ於ケル「還付後ニ於ケル、青島ニ於ケル外人ノ生命財產ノ保護ヲ絕對ニ聲明シテ居ルデアリマス」カ、又山東還付細目協定ニ關シマシテモ、代表タル王世廷ハ、矢張同様ノ聲明ヲ爲シテ居ルデアリマス、又カ、此聲明ヲ土臺トシテ何ガ故ニ斷乎タル態度ヲ執ラスノデアリマス、實ニ外務當局ノ其精神ノ卑劣ナノニ驚クノデアリマス、恐ラク外務當局ガ斯ル態度ニ出ゾルコトハ、偶々議會開會中デアラテ、而シテ本期議會ニ於テハ、既ニ衆議院ニ於テハ外交不信任ノ意ヲ一部表セラレタデアリマス、又貴族院ニ於テハ未ダ類似ナキ外交刷新ニ關スル決議案ヲ全會一致ヲ以テ可決セラレ、遺憾ナク内田外務大臣ノ退嬰自屈軟弱讓歩ノ點ニ關シマシテ、一大創痕ヲ受ケタ後デアアルガ故ニ、今ヤ内田外務大臣ノ外交ハ雪隠詰トナリ、爲ニ已ムヲ得ズ臭イ物蓋主義ヲ發揮シタノデハナカラウカト本員疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、我が軍政行政施行中ハ實ニ天國花ノ如キ青島ハ、今ヤ薄氣味惡キ奈落ノ底ニ陥リツ、アルノデアリマス、婦女子ハ夜間外出ヲモ恐レテ之ヲ爲サマルニ至リ（假聲ノヤウダ）ト呼フ者アリ）怪シカラヌコト

ヲ言フナ、靜ニ聽ク吾輩ハ常ニ紳士的態度ヲ以テ聽イテ居ルノデアアル、靜ニ聽クガ宜イ、又各商店ハ門戸ニ鐵柵ヲ構ヘ、以テ其自衛策ヲ講ゼザルヲ得ナイヤナル、悲ムベキ無秩序極マル茶亂狀態ニ陥リツ、アルノデアアリマス、ノミナラズ茲ニ吾々ガ最モ考慮シナケレバナラスコトハ、御承知ノ通り青島ニ於キマシテハ、其多クモ我ガ國威ヲ八紘ニ輝シ給ヒタル明治天皇ノ御威靈ノ鎮座在シマス、青島神社ガゴザイニス、又日獨戰役ニ於キマシテ、東洋平和ノ爲、延イテハ世界平和ノ爲、犧牲トナレル千餘名ノ英靈ヲ祀レル忠魂碑ガアルノデアアリマス、若シ將來斯ル暴戾極マル支那人ヨリシテ、或ハ神域、或ハ靈域ヲ侵サルルコトアリトシタナラバ、ソハ重大事デアリマス、吾々國民トシテ思フ、茲ニ致シタナラバ、政府ハ今回ノ重大凌辱事件ニ關シテハ、斷乎タル態度ニ出ツベキカ至當ナリト確信スルノデアアリマス、是ニ於テカ私ノ緊急質問ノ要點ハ次ノ三點ニ歸著スルノデアリマス、即チ第一ニハ此不祥事件ニ關シマシテ、外務當局ハ如何ナル善後ノ措置ヲ執リツ、アルカ、第二ハ現ニ支那政府ニ對シテハ如何ナル斷乎タル決心ヲ以テ、確乎タル抗議交渉ヲ爲シツ、アルカト云フコトヲ承リタイノデアアリマス、最後ニハ内田外務大臣ハ、此重大凌辱事件ガ還付後間モナキ今日生シタルニモ拘ラズ、先頃此壇上ニ於テ排日思想ノ緩和ノ爲、或ハ日支親善ノ爲ニハ、多少ノ讓歩ハ已ムヲ得ヌト云フ聲明ヲ裏切ル最モ顯著ナル事例トシテ御認ニナルカ否カ、此三點ヲ問ウテ私ハ此壇ヲ去ル次第デアリマス、(拍手)

○議長(粕谷義三君) 只今ノ淺賀君ノ御質問ニ對シマシテハ、政府ハ書面ヲ以テ御答辯ナルサウデアリマス、質問第一、日米條約改訂ニ關スル質問、清瀨規矩雄君

一 日米條約改訂ニ關スル質問(清瀨規矩雄君提出)

日米條約改訂ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
大正十二年二月二十八日

提出者 清瀨規矩雄  
贊成者 河上 哲太  
外二十九名

日米條約改訂ニ關スル質問主意書  
一 政府ハ現行日米通商條約ヲ以テ米國在任本邦人ノ權利及利益ヲ保證スルニ十分ナリト信スルヤ  
二 政府ハ現行日米通商條約ヲ改訂スルノ希望又ハ計畫ヲ有スルヤ  
三 幣原、モリス協約ノ其ノ後ノ成行如何  
四 米國政府カ布哇ニ在住スル本邦人ノ米國本土ノ自

由轉住並旅行ニ制限ヲ加フルハ日米通商條約違反ナリト信ス政府ノ所見如何  
五 政府ハ明治四十三年法律第五十一號ヲ改正實施スルノ意思ナキカ  
右及質問候也  
〔清瀨規矩雄君登壇〕

○清瀨規矩雄君 諸君、私ガ此質問書ヲ提出致シマシタル精神ハ、在米邦人ガ常ニ不法背理ノ壓迫並ニ迫害ヲ受ケテ居リマスルノデ、之ヲ小ニシテハ在米同胞ノ安危盛衰ニ係リ、大ニシテハ國威國權ニ係ルハ問題デアリト信ズルカラデアリマス、殊ニ人口問題又ハ食糧問題等ノ關係カラ致シマシテ、海外ノ移民植民ト云フヤウナコトガ非常ニ注目サレテ居ル際デアリマスカラ、此在米同胞ノ發展シ得ルヤ否ヤ、此迫害ヲ除キ得ルヤ否ヤト云フコトハ、唯、單ニ在米同胞ノ利害關係ナルノミナラズシテ、我國ガ海外移民植民問題ニ重大ナル關係ガアルモノト信ズルノデアリマス、一般ノ米國ニ於ケル排日問題ハ、唯、排日々々ト云フコトデアリマスルケレドモ、仔細ニ其内容ヲ觀察致シマスルト、二ツノ潮流ガアルト思ヒマス、其一ハ日本ノ國策上ニ關スル所ノ排日運動デアリマス、申スマデモナク他ノ一ハ移民問題デアリマス、此二ツノ排日問題ハ複雜微妙ナル關係ガアリマスルシ、又一方ニハ排日運動者ハ動モスレバ此問題ヲ混同サセヤウトスルコトニ努メテ居ルガ爲ニ、又此問題ハ動モスレバ混同サレ易イノデアリマスケレドモ、實際ハ二ツノ潮流ガアルモノト思フノデアリマス、其中ノ一デアアル此國策上ノ排日問題ト云フコトニ付テハ、一昨年ノ華盛頓會議ニ依リテ大ニ緩和サレタト思フノデアリマスケラシテ、此際此移民ニ關スル排日問題ヲモ併セテ解決スルコトニ付テハ、最モ適當ナル機會ト思フノデアリマス、日本ノ移民排斥問題モ大分長イ歴史ヲ有シテ居リマスカラシテ、色々ナル經過ヲ經テ居リマスガ、此場合ニ餘リ精シイ事ヲ申ス必要ハ無イカラ、私ハ精シイ事ハ申シマセヌ、唯、排斥ノ理由ガ最初ニ排斥運動ノ起リタ時今日トハ、餘程趣ヲ異ニシテ居ルト思フノデアリマス、御承知ノ通り最初ニ日本移民ノ排斥ト云フコトノ起リタ時ノ理由ハ、第一ニ日本勞働者ハ賃銀ガ安イ、安イ賃銀ヲ働クカライケナイト云フコトデアリマシタ、續イテ生活ノ程度ガ低イ爲、白人文明ノ生活程度ヲ破壞スルモノデアラカラシテ、日本移民ハ排斥シナケレバナラナイト云フコトデアリマシタ、然ルニ近來ニ至リテハ此排斥ノ理由ガ餘程變テ參リタト思フノデアリマス、即チ賃銀ハ、或ル種類ノ勞働ニ至リマスト、白人ノ勞働者ヨリモ寧ロ日本人ノ勞働者ノ方ガ高イコトガアルノデアリマス、又生活ノ程度モ近來非常ニ向上サレマシ

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人

テ、以前ノヤウニ生活ノ程度ガ低イカラト云フヤウナ非難ハ非常ニ和ライデ居ル、現ニ「カリフォルニア」ニ在留シテ居リマス日本人ノ數ハ、約八万ダラウト思ヒマスガ、其八万ノ日本人ノ所有シテ居ル所ノ自動車ノ數ハ、一万一千臺、即チ日本全國ノ總テノ自動車ニ匹敵スルダケノ自動車ヲ持ッテ居ル日本人ガ持ッテ居ル、又其自動車モ常ニ立派ナ物ヲ持ッテ居ル米國ノ田舎殊ニ「カリフォルニア」州デアリマスガ、「カリフォルニア」ノ田舎ノ町ニ參テ綺麗ナ自動車ヲ見ルト云フト、是ハ日本人ノ自動車デアラウト云フ位ニ日本人ハ立派ナ自動車ヲ持ッテ居ル、又數モ澤山持ッテ居ル、サウ云フヤウナ有様デアリマスケラシテ、日本人ノ生活ノ程度モ非常ニ向上致シテ參ッテ居ルノハ事實デアリマシタ、然ラバ今日日本人ヲ排斥スル理由ハ、何所ニアルカト申シマス、排斥運動者ハ色々ノ理窟ヲ並ベテ居リマスガ、結局スル所日本人ハ餘リ働キ過ギル、又日本人ハ餘リ早く成功シ過ギル、又日人ハ餘リ日本ノ國ヲ愛シ過ギル、ソレデアラカラ吾々ハ排斥シナケレバナラナイト云フノデアアル、要スルニ恐怖心又ハ嫉妬心カラ起リテ居ルト思ハレルノデアリマス、勤勉、力行、勤儉、貯蓄ト云フコトハ、御承知ノ通り日本ニ於テハ美德ノ一ツニ算ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國人ハ休養娛樂、例ヘバ芝居ヲ觀ル、或ハ音樂會ニ出ル、或ハ活動寫眞ヲ見ルト云フヤウニ、相當ナ娛樂ヲ爲シ、且ツ家族ノ團樂等モ樂ミ、又教會堂ニモ詣ルト云フヤウナ、即チ人生生存ノ意味ヲ全ウスル爲ニ働クモノデアリ、且ツ成功スベキモノデアルト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ日本人ノ考トハ多少異ツタ所ガアル、即チ彼我ノ道德觀念、人生觀ノ相違ニ基ク點ガ多イト思フノデアリマス、ソレヲ野心理學ガ政治家ガ誇大ニ吹聴シテ、サウシテ日本人ノ爲ニ亞米利加ガ今ニモ取ラレ、日本人ニ脅カサレルト云フヤウナコトヲ頻ニ申立テ、其爲ニ排日運動ガ非常ニ盛ニナラシメテ參リタト云フノガ事實デアリマシタ、併ナガラ大體ニ於テ日本人ガ餘リ澤山亞米利加ニ來ルコトヲ好マナイト云フノガ、亞米利加人ハ非常ニ多イト思フノデアリマス、ソレハ實際日本人ノ將來ニ恐怖心ヲ懷イテ居ル者モアラウト思フ、又日本人ガ澤山來ルコトニ依リテ國際的或ハ社會的ニ色々ナル面倒ガ起ルノハ、米國ノ爲ニ好マシイ事ナイカラシテ、成ベク面倒ヲ少クスル爲ニモ、日本人ニ餘リ多ク來テ貰ハナイ方宜シト云フヤウナ考ヲ持ッ者モアラウト思ヒマスガ、要スルニ日本人ヲ餘リ亞米利加ニ來テ貰ヒタクナイト云フ考ヲ持ッ者ハ、少カラズアラウト思フ、ソコデ此排日運動者ハ、此日本人ヲ餘リ多ク來テ貰ヒタクナイト云フ多數ノ考ヲ利用致シマシテ、サウシテ日本人ヲ窘メル、即チ日本人ニ迫害ヲ加ヘ、日本人



四 航空事業ニ關スル質問(安藤正純君提出)

航空事業ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
大正十二年三月三日

提出者 安藤 正純  
贊成者 副島 義一  
外三十三名

航空事業ニ關スル質問主意書

一 航空輸送事業ハ實ニ文化施設上急要ノコトナルノミナラス國防上ノ一要素ナリ而モ我カ國ノ航空事業ハ列國ニ比シ甚シキ懸隔アリ政府ハ之カ方針ヲ決定シ民間航空輸送事業ニ對シテ十分ナル保護獎勵ヲ爲スノ意ナキカ

一 今ヤ我カ國ハ國際航空條約ニ加入シ之カ條約履行ノ責任アルモ未タ航空路ヲ施設セサルハ如何而シテ之カ開設ハ自然民間飛行ノ成績ニ甚大ナル關係アリ此ノ際陸軍省官內省等ハ其ノ所有ノ土地ヲ割讓シテ航空路ヲ開設スルノ意ナキヤ

一 航空機ノ製作並使用保護法ヲ制定シ民間航空機ノ發達ヲ助長スルハ目下ノ急務ナリ之ニ對スル政府ノ所見如何

一 航空事業ニ關スル研究機關ハ目下分レ分レトナリ且之カ爲ニ溢リニ經費ノ增加ヲ來ス傾アリ之ニ對シテ統一ノ必要アリト信ス政府ノ所見如何

右及質問候也  
○岩崎勳君 居リマセヌ、延期ヲ願ヒマス  
○副議長(松田源治君) 安藤君、安藤正純君  
(安藤正純君登壇)

○安藤正純君 我ハ航空事業ニ關スルコトニ對シマシテ、政府ニ一場ノ質問ヲ致シタイト思フデアリマス、我國ノ今日ニ於キマシテ、必要ナモノヲ閉却セラレテ居ルモノハ決シテ少クアリマセヌ、即チ各種ノ文化事業ノ如キモノハ、時代ノ趨勢ニ應ジマシテ最モ急速ニ施設セバナラナイニモ拘ラズ、免角閉却勝ニナラテ居リマス、私ガ茲ニ質問ヲセントスル所ノ航空事業ノ如キモ其最タルモノデアリマス、抑、航空事業ハ文化事業ト致シマシテ、最モ必要デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、今日ノ我國ニ於ケル有様ハ、殆ド御話ニナラナイ状態ニ在ルデアリマス、若シ今日ニ於キマシテ、官民共ニ力ヲ協シテ是ガ發達ヲ圖リ、急速ニ此ノ缺陷ヲ補テ參リマセバ、文化ノ施設ノ上ニ一大遺憾ガアルノミナラス、又我カ國防ノ上ニ於キマシテモ、大缺陷ヲ

○副議長(松田源治君) 質問第二、國定教科書改訂ニ關スル質問ハ政府ヨリ答辯書ヲ受領シマシタカラ、日程ヨリ省キマス、質問第三、小作調停法制定ニ關スル質問、是ハ提出者ヨリ撤回ノ申出ガアリマシタカラ許可致シマス、質問第四、航空事業ニ關スル質問、安藤正純君

通り、労働者ニ限リテ居ルデアリマスガ、免三角布哇ニ在留シテ居ル日本労働者ハ、自由ニ米國本土ニ入ルコトガ出來ナイト云フコトニテ居ル、所ガ現行日米條約ノ第一條ニ依リマス、立派ニ日本人ハ米國ニ旅行シ、又ハ居住スルノ自由ヲ確保サレテ居ル、此日米條約第一條ニ日本人ノ旅行ノ自由ヲ確保サレテ居ルニ拘ラズ、布哇ニ在留シテ居ル所ノ日本人ガ、布哇内ヲ自由ニ旅行スルコトガ出來ナイト云フコトハ、即チ米國內ヲ自由ニ旅行スルコトガ出來ナイト云フコトデア、例ハ九州ニ居ル所ノ米國人ガ、日本ノ本土ニ入ルコトガ出來ナイト云フコト同様、旅行ノ自由ト云フモノヲ甚シク私ハ制限サレテ居ルト云フデアリマス、此布哇轉航禁止ト云フモノハ、一千九百十三年一度今カラ十年前ノ二月二十四日ニ、大統領ノ行政命令ヲ發布サレタ、其規則ニ依リテ、アリマスガ、又内情ヲ申上ゲマス、此布哇轉航禁止ハ、桑港ニ於ケル所ノ日本人ノ學校問題ノ交換條件トシテ、轉航禁止ヲ日本政府ガ承諾シタト云フヤウニ承テ居リマスガ、併ナガラ大統領ノ行政命令ニ依リテ日本人ノ旅行ノ自由ト云フモノガ奪ハレルト云フコトニナリマス、私ハ天皇陛下ノ御批准ヲ經テ居ル所ノ條約、一國ノ最モ重シクナケレバナラナイ所ノ條約ガ、行政官吏ノ自由ノ取極ニ依リテ爲サレタル所、此日米兩國ノ話合ニ依リテ出シタ大統領ノ行政命令ヲ以テ、此條約ト云フモノガ勝手ニ自由ニ蹂躪サレテ宜イデアラウカドウカト云フコトヲ、私ハ甚ダ疑フデアリマス、此布哇ニ在留シテ居ル日本人ガ、米國本土ニ旅行ヲスルコトノ出來ナイト云フモノハ、明ニ私ハ日米條約違反デアルト信ジマス、此違反ヲ政府ハドウ考ヘテ居ルカ、ソレカラ第五八、明治四十三年ニ制定サレマシタル所ノ法律第五十一號、即チ外國人ノ土地所有權ノ問題ガ、法律トシテ既ニ公布ハサレテ居リマスガ、事實ニ於テハ此法律ガ實施サレテ居ラナイ、即チ勅令ヲ以テ是レ々々ノ國ノ人若クハ法人ニ、日本ノ土地所有權ヲ許スト云フコトニナラテ居ルガ、其勅令ナルモノガ發布サレテ居ラナイデア、事實ニ於テ此明治四十三年法律第五十一號ト云フモノハ實施サレテ居ラナイデアリマス、此法律第五十一號ガ、ドウモ今日ノ時勢ニ適シナイ、大分時代後レノ法律ノヤウニ思フデアリマスガ、政府ハ之ヲ改正シテ、サウシテ且ツ實施スルト云フ意向ガアルデアラカドウカ、是ダケノ事ヲ私ハ政府ニ向テ御伺シタイデアリマス

ナイカ知ラント思フデアリマス、ソレカラ第二ニシタイ質問ハ、政府ハ現行日米通商條約ヲ改訂スルノ希望、又ハ計畫ヲ有スルカドウカト云フコトガ私ノ問デアリマス、此日米條約ハ御承知ノ通り、第十七條ニ依リマシテ、一應期限ハ十二箇年トナラテ居ルデア、併ナガラ其期限満了後、若クハ其以前デモ以後デモ、六箇月前他ノ一方カラ之ヲ廢棄スルト云フ通告ノ無イ限リハ、此條約ハ何時迄モ何時迄モ繼續スル、即チ期限ハアルケレドモ、實ハ期限ハ無イト同様デア、即チアリマスガ、併シ此條約ハ免角モ十二箇年デ期限ガ來ルト云フコトガ、明記サレテ居ルデアリマス、ソレカラ、此場合ニ於テ、私ハ華府會議ノ結果、國策上ノ排日問題ト云フモノガ、大ニ緩和サレ得ル機會デアリマス、此機會ヲ利用致シマシテ、今日日本ガ條約ノ改正ヲ圖ルト云フ事ハ策ノ得タルモノデア、ナイカ知ラント思フデア、殊ニ此條約ヲ以テ満足シテ居ルカノ如ク思ハレ、此條約ヲ唯、默テ居レバ日本ハ満足シテ居ルカノ如ク思ハレ、私ハ日本ノ國ニ取テ決シテ利益ヲナカラウト思フデアリマス、ソレ少クトモ此期限ノ參、タノヲ利用致シテ、此機會ニ條約ノ改正ヲシタイト云フ日本ノ意見ヲ發表シテ置クト云フコトハ、私ハ是非トモ必要デア、ナイカ知ラント思フデア、ソレカラ第三ニ私ノ質問ハ、此幣原「モリス」協約、其後ノ成行ハドウデア、アルカ、珍田「ブライアン」協約ハ日本ガ何等ノ犠牲ヲモ拂ハズシテ、既ニ制定セラレタル所ノ排日法ハ仕方ガナイガ、今後ハ日本人ニ對スル特別ノ區別ノ待遇ヲ與ヘルヤウナ法制ハ致サナイト云フ條約ヲ作ルコトデア、前ニ申上ゲタヤウニ、加藤高明氏ニ依リテ此協約ト云フモノハ、遂ニ抛ケレテシマタノデアリマスガ、一昨々年カラ一昨年ノ春ニ掛ケテ、幣原氏上「モリス」ノ間ニ、日本人ノ斯ウ云フコトニ付テ一ノ協約ガ行ハレテ居ルト云フコトハ、世間周知ノ事實デアリマス、此成行ガ甚ダ明瞭デア、其後ドウナラテ居ルカ、若モ此協約デモ出來タナラバ、此協約ハ日本側ニ於テモ多少ノ犠牲ヲ拂フラシノデアリマスガ、即チ日本ニ於テハ今後益、移民ノ渡米ヲ嚴重ニ取締ルト云フコトデ、其代リ亞米利加ニ於テハ、又日本人ニ對スル所ノ區別ノ待遇ト云フモノヲ止メルト云フコトデア、アルヤウニ承テ居リマスガ……

〔粕谷議長議長長ヲ退キ松田副議長代リ著席〕  
此協約ノ成行ハドウナラテ居ル、日本ハモウ全然此協約ニ絶望シテ、此協約ヲ實行スルト云フコトニ努力シナイデア、アルカ、努力シテモ出來ナイデア、アルカ、斯ウ云フコトヲ私ハ伺、テ見タイト思フデアリマス、ソレカラ第四ニ私ノ伺ヒタイハ、此布哇ニ在留シテ居ル所ノ日本人ガ、米國本土ヘ自由ニ渡航スルコトガ出來ナイデアリマス、但シ是ハ御承知ノ

生ズルコトヲ起ラウト思フノデアリマス、彼ノ世界ノ各國ガ世界大戰後ニ於キマシテ、其國力ノ回復ノ爲ニ、非常ニ各方面ニ努力ヲ爲シツ、アリマスガ、此航空事業ニ付キマシテモ、多大ノ費用ヲ擲テ之ガ發達ヲ期シツ、アルト云フコトハ、見通スベカラリル現象デゴザイマス、而シテ特ニ吾人ガ注意ヲ致スベキコトハ、彼ノ國防ノ常備力デアアル所ノ飛行事業ヲ、交通機關トシテノ生産の事業ニ換算ヲ致シマシテ、空中輸送ヲ獎勵發達セシメツ、アル此事業ハ、吾々國民ノ誠ニ開却スベカラザル事デアリナカラウト思フノデアリマス、一々外國ノ例ヲ舉ゲマシテ茲ニ申上ゲルト云フコトハ、頗ハシイ事デゴザイマスカラ全然ハ略シマスルガ、唯此一ツ佛蘭西ノ事例ニ付テ申上ゲテ置キタイ——私ハ此質問ヲ致シマシテ、陸軍大臣並ニ逓信大臣カラ答辯ヲ得タイト思フノデアリマス、一寸申後レマシタカラシテ、口今申上ゲテ置キマス——佛蘭西デアハ最近ニ運輸兼航空次官局ト云フ役所ガ出來マシタ、此航空次官局ト云フハ、全ク民間航空事業ノ役所デアリマス、次官局ト云フハ、大臣次官ノ次官デアリマスガ、次官局ト云フ名ハオカシイケドモ、權限ハ大キイ即チ此次官局ノ長官ト云フモノハ、内外ニ關スル所ノ民間航空事業ノ總テノ責任ヲ持テ居リマシテ、内閣ノ大臣ト同ジダケノ資格ヲ有シテ居ルノデアリマス、ソレデ一昨年ニ於キマスル佛蘭西ノ政府ノ航空豫算ヲ調ベテ見マスルト四億三千万法デアリマス、其四億三千万法ノ航空豫算ノ中カラ此民間航空ノ航空次官局ノ爲ニ、其中カラ約三分ノ一ニ該當スル所ノ一億四千七百万法ノ金ヲ割イテ居ルノデアリマス、試ニ之ヲ一昨年、即チ同年ノ佛蘭西陸軍ノ航空費ニ億四千六百万法ニ對比致シマスルト、二分ノ一以上ニナルノデアリマス、海軍ノ航空費三千七百万法ニ對比致シマスルト、四倍餘ニナルノデアリマス、是ダケノ大經費ヲ民間航空ノ爲ニ費シチ居ルノデアリマス、是ハ吾々ガ餘程注意スベキ事デアリナカラウト思フノデアリマス、竊テ我國ノ航空界ノ現狀ヲ見マスルト、昨年ノ航空豫算ト云フモノハ、陸海軍其他ノモノヲ合セマシテモ、僅ニ四千万圓ヲ上ラナイノデアリ、サウシマスルト日本ノ海陸軍ノ軍事費ノ十六分ノ一ニモ足ラナイト云フコトニナルノデアリマス、而シテ然ラバ日本ノ民間航空費ノ方ハ幾ラ掛テ居ルカト云フト、民間飛行ノ爲ニ設ケラレテアル、航空局ノ本年度ノ豫算ト云フモノハ、僅ニ三十一万圓デアアル、之ガ政府ノ支出スル日本ノ民間航空費ノ全體デアアル、大體陸海軍ノ航空豫算ヲ總テテ入レマシテ四千万圓ト云フノデアアルカラ、非常ニ憐レナ、歐米ニ較ベマスルト比較ノ取レヌキ狀況デ、豫算其モノガ殆ド成テ居ラナイト云フテ宜カラウト思フガ、今暫クソレハソレト致シマシ

テ、之ヲ試ニ只今申シマシタ所ノ佛蘭西ノ航空豫算ト比較ヲ致シマスルト、佛蘭西ノ方ハ政府ノ全體ノ航空費ノ中カラ其三分ノ一ヲ民間航空費ノ爲ニ割イテ居ル、此割カラ云ヘバ、日本ノ航空豫算四千万圓ト見マシテ其三分ノ一ヲ割クト云フナラバ、日本ノ民間航空ヲ受テテ居ル所ノ航空局ノ豫算トシテハ千三百三十万圓ヲ割カケレバナラナイト云フ割ニナラズ、然ルニ我ガ航空局ノ豫算ハ、僅ニ三十一万圓デアリマス其率ハ幾ラニ當ルカト云フト、驚ク可シ陸海軍ノ航空豫算ノ百二十九分ノ一ニ當ルノデアリマス、昔カラ兒戲ニ類スルト云フ言葉ガアル、兒戲ニ類スル、是コソ本當ニ兒戲ニ類スルト云フ事デアリナカト思フノデアアル、斯ウ云フヤウナ狀態ハ、此航空事業ノ發達ヲ期スルコトハ出來マセヌ、ソコデ先ヅ何ヨリモ一番急務ナノハ、此飛行機ト云フ物ヲ今日ノヤウナ陸海軍ノ獨占の事業ト致シマセズ、之ヲ開放シテ飛行機ノ國民化ヲ圖ルト云フコトガ、一番必要デハナイカト思フノデアアル(拍手)、爰ニ即チ飛行機ト國民ノ實生活ト云フモノガ、密接ナル關係ヲ持テ來ルノデアリマス、又斯ク致シマシテ初テ飛行機ナルモノガ、文化事業ノ實ヲ舉ゲルノデアリマス、即チ斯クシテ飛行機ノ活動ト實用トガ、之ヲ横ニ見マシテ、遠距離ヲ短距離ニ短縮シ、又之ヲ縱ニ見マシテ、長時間ヲ短時間ニ縮ムノデアアル、即チ飛行機ガ交通機關トシテ距離ト時間ト短縮ヲ爲シテ、サウシテ貨物、郵便、旅客ノ輸送事業ヲ完カラシメルヤウニナラ、茲ニ初テ飛行機ノ實用化、國民化、即チ飛行機ナルモノガ文化事業トシテ最モ必要ナルモノトナルノデアリナカラウト思フ(拍手)、爰ニ於テ私ハ陸軍當局ニ註文シ且ツ質問致シタイ事ガアル、即チ飛行機ノ實用化ハ、焦眉ノ急務ダガ中、日本ノ今日ノ航空狀態デハ、實用化迄ニハ行ケナイノデス、御承知ノ通り今日デハ先ヅ普通ノ人間ガ、日本ノ飛行機ニ乗ルト云フコトハ、殆ド出來ナイデス、危險ヲ感ジテ居リマシテ、郵便スラ運ブコトガ出來ナイ、貨物スラ運ブコトガ出來ナイ、漸ク最近二三箇月貨物ノ託送ヲスル、東京大阪間ノ定期輸送航空事業ガ試験のニ出來テ居ルニ過ギナイヤウナ狀態デアリマス、斯ク幼稚ナル狀態デハ、日本ノ將來ノ國防ノ上ニ、又文化ノ施設トシテ、到底満足ナル發達ハ出來マセヌカラ、茲ニ陸軍ノ當局ニ御相談ヲ致シタイ事ガ生ズルノデアアル、ソレハ外デモナイ、先ヅ此軍部ガ飛行機ヲ軍部ダケノ自分ノ物トシナイデ、之ヲ國民ノ間ニ開放シテ、航空ノ國民化ヲ期スルト云フ此根本觀念ヲ陸海軍ノ人ニ持ッテ戴キタイ、即チ其方法トシテハ陸軍ノ飛行機ノ中デ、其大部分ヲ平民商業用ノ飛行機ト致シマシテ、其發達進歩ヲ計リ、一朝有事ノ日ニハソレガ直ニ役立テテ國防ノ薄弱

ヲ防グト云フコトガ最モ必要デアラウト思フ、之ニ就キマシテ軍部ニサウ云フヤウナ所マデ開放シテ吳レト云フノハ、一寸無理ノヤウニモ考ヘラレルガ、決シテ無理デハナイ、軍部ノ人モ國家本位ニ考ヘラレルガ、寧ロ其處ニ達スル結論ニナラウト思ヒマス、最近ニ最モ善イ例ガアル、此二三日前ノ三月二日ノ日ニ横濱ニ入港ヲ致シマシタ佛蘭西ノ軍艦デス佛蘭西ノ軍艦「ジュール・ミユル」(ウキキトル、ユルゴ)ト云フ此姊妹艦ガ、佛蘭西ノ澤山ノ商品ヲ滿載シテ入港ヲ致シマシタ、灰色ノ鐵メシイ所ノ彼ノ軍艦ノ雄姿ノ中甲板ニハ、電氣ノ點ク所ノ陳列臺ガ設ケラレマシテ、優秀ナル自動車ノ機械デアルトカ、或ハ面白イ玩具デアルトカ、諸種ノ金屬製ノ品物デアルトカ、硝子製ノ美術品デアルトカ、有名ナ工業家ガ發明ヲサレマシタ所ノ染料デアルトカ、羅紗デアルトカ云フヤウナ、斯様ナ色ニノ商品ヲ滿載シテ、之ヲ軍艦ノ中甲板ニ陳列シテアル、サウシテ武動赫々タル所ノ「ギレリ」司令官ヲ初トシテ、外務省ヤ農商務省ノ御役人達カ之ヲ取扱テ其説明ノ任ニ當テ居ル、是ハ最近ニ吾々ガ見セ付ケラレタ所ノ最モ近イ實例デアアル、何ント門戸ヲ閉塞シテ國民ト遠カラントスル所ノ我陸海軍ニ對スル最モ良イ御手本デヤナイカト思フノデアアル(拍手)今日ノ軍人ト云フモノハ、劍ヲブラ下ゲテ六シイ、殿メシイ顔ヲシテ居ル許リガ軍人ノ本領デモアルマイト思フ、ソコデ目下陸軍ガ實施ヲシテ居リマスル所ノ定期聯絡飛行デアリマス、此定期聯絡飛行ト云フモノハ、は何ノ目的デアルカト云フト、單ニ遠距離飛行ヲ訓練スルノ爲メデアルノデス、同ジ遠距離飛行ノ目的デアラナラバ、之ニ一歩ヲ進メマシテ都市聯絡飛行トシ、或ハ東京大阪間、或ハ大阪九州間、或ハ神戸四國間ト云フヤウナ聯絡飛行ヲシテ、郵便物トカ貨物トカヲ此陸軍ノ飛行機ガ運送シタナラバ、ドウデアラウカト云フ私ノ考ナンデス、現ニ米國ノ郵便飛行ト云フモノハ誰ガ始メタト云フヤウニ聞イテ居リマス、斯ノ如ク一方ニハ國家ノ生産の方面ヲ助ケ、他ノ一面ニハ國防ノ充實ヲ圖ルト云フヤウニスルノガ、今日ノ所謂時代の、軍隊精神ト云フモノデヤナカラウト思フ、然ルニ今日ノ我ガ海軍ニ於キマシテハ、斯様ナ國民化ト云フヤウナ精神ニハ如何ニモ乏シイノデアアル、是レ即チ我陸海軍ガ段々國民トノ間ノ距離ガ遠クナリマシテ、孤立無援ノ狀態ニ陥テ行ク所以デヤナカラウト思フノデアアル、ソレデアリマスカラ、此際陸海軍部ニ於キマシテハ、或ハ偵察デアルトカ、或ハ戦闘デアルトカ、或ハ爆彈投下デアルトカ、斯ウ云フヤウナ軍部専門ノ仕事ハ是ハ別トシテ、ソレハサウ云フ特別ノ軍隊ノ人ニ無論ヤラセナケレバナラナイガ、其他ノ十分ナル動員準備ヲ致シマシ

テ、爰ニ陸軍ノ飛行隊ヲ商業中除、或ハ商業大隊ト云フヤ  
 ウナモノヲ編制シテ、先ヅ初ニ東京大阪ト云フヤウナ主要ナ  
 ル都市聯絡飛行ヲシテ、郵便ヲ貨物ヲ運ブト云フヤウナコト  
 ニ爲サレテハドウデアルカ、之ガ日本ノ現在ノ航空事業ヲ一  
 番早ク發達セシムル所以デアラウト云フノデアル、陸軍ニ於  
 テハ此御考ガアルカナイカト云フコトヲ私ハ質問致シタイノ  
 デアル、之ニ就テ私ハ陸軍當局ニ責任アル御答ヲ承リタイ、  
 併シ今日ノ陸軍デハ實ニ此處マデ英斷ハ出來マイト思フ、  
 念、出來ナイナラバ民間飛行ヲシテ此航空輸送事業ヲ  
 爲サシムル爲ニ、茲ニ航空輸送補助法ト云フモノヲ制定シ  
 テ、十分ナル補助ヲ國家ガスルト云フコトガ最も必要デア  
 イカト思フ、會テ日清戰役ノ時ニハ我が造船業ト云フモノガ  
 甚ダ幼稚デアラテ心細イ状態デアリマシタ、然ルニ時ノ政府  
 ガ發布致シマシタ造船獎勵法、若クハ航海獎勵法ト云フモ  
 ノガ能ク時宜ニ適シタ爲ニ、俄然海運界ノ隆盛ヲ來シマシ  
 テ、次デ各種ノ遠洋航路補助法ト云フモノガ出來マシマ  
 海運事業ト云フモノハ遂ニ今日ノ隆盛ヲ見ルニ至ラドデア  
 ル、デアリマスルカラ我が民間航空界ノ現狀ニ鑑ミマシテ、國家  
 ガ會テ此海運業者ニ與ヘラレタ所ノ補助法ス、此ノ補助  
 民間航空事業ヲ行ノ爲ニ直ニ法律ヲ制定シテ國家ガ有力  
 ナル補助ヲ爲スルト云フコトガ必要デアラウト思フ、而シテ茲  
 ニモウ一ツ考ヘナケレバナラヌコトハ、民間飛行士ガ折角一生  
 懸命ニ技術ヲ磨キマシテモ、平生ハスルトコトガナイ、何ニモ自  
 分ガ鍛鍊シタ所ノ仕事ヲ用ユル場所ガナイ現狀デアリマス、  
 ソレデハ飛行士モ自然發達セヌ道理デアス然ルニ此處ニ航空  
 輸送補助法ト云フモノガ出來マシテ、定期ノ飛行ト云フモ  
 ノ、即チ郵便或ハ貨物ノ定期航空ト云フモノガ常ニ出來ル  
 ヤウニナレバ、澤山ノ飛行士ハ自ら職業ヲ得ラレルコトニナル  
 職業ノアル所ニハ優秀ナル技術者ガ現ハレ來タルコトニナ  
 テ、總テ是ガ我が日本ノ民間航空界ノ發達トナルコトデア  
 ウト思ヒマス、即チ飛行士ノ失業問題ノ解決ニモナリマ  
 ス、故ニ政府ニ於キマシテハ爰ニ速ニ航空輸送補助法ト云  
 フモノヲ制定シテ、而シテ民間航空ヲ發達セシムルト云フ所  
 ノ意圖ハアリマセヌカ、之ヲ陸軍大臣及 逓信大臣ニ承リタ  
 イノデアル、殊ニ政府ニ於キマシテ從來、陸軍省ノ所管デア  
 リマシタ所ノ航空局ガ、本年ノ四月、即チ年度代リカラハ逓  
 信省ノ方ヘ移管スルコトニナリマシタ、抑、此理由ハ、民間  
 航空ナルモノヲ軍部ニ所屬セシメテ置クト云フコトハ、其發  
 達ノ上ニ良好デアナイ、又國民化デアナイ、ソコデ之ヲ、逓信省  
 ニ委ネテ、我國ノ文化事業トシテ大ニ發達セシメタイト云フ  
 所ノ方針デアラウト思ヒマス、然ルニ、本年ノ航空局ノ豫算  
 ヲ見マスルト寧ろ縮マデコン居レ、少シモ伸ビテ居リマヒヌ、

一考ヘタ所デ、航空局ノ有スル民間飛行ノ獎勵費ハ僅ニ  
 八萬圓デアリマス、八萬圓デハ手モ足モ出ヌ、何トモ致方ガ  
 ナイ、ソレガ來年度モ其儘デアス、是デハ逓信省ヘ移タ所、詮  
 モ甲斐モ何ニモナイト云フモノデアアル、之ヲ送ル所ノ陸軍省  
 之ヲ遊ヘル所ノ逓信省、今後民間航空ノ發達ニ付キマシ  
 テハ如何ナル御考ヲ持テ居ラレルカ、私ノ質問ニ對シテ明  
 確ナル御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、以上ハ第一ノ  
 質問デアリマス、第二ニ飛行機ノ發達ヲ期スルト云フコトニ  
 對シマシテハ、爰ニ航空路ノ開設ト云フコトガ最も重要ニシ  
 テ緊急ナ事デアリマス、汽車ニハ停車場ガアリ、船ニハ航路  
 ガアル、飛行機ニ於キマシテモ亦航空路ト云フモノガナクテ  
 ハナラナイノデアリマス、航空路ノ無イトコロノ飛行ハ決シテ  
 安全確實ヲ保證スルコトハ出來ナイ、茲ニ立派ナ航空路ト  
 云フモノガ開設サレマシテ、同險ノ域ヲ脱シテ確實安全ナル  
 飛行ガ出來ルト云フコトハ言フマデモナイノデアリマス、航  
 空路ノ一番ノ端ト端デアアル、例ヘバ東京大阪間ナラ、東京ト  
 大阪ノ端末ニハ、水陸兼用ノ發着飛行場ヲ設ケルト云フコ  
 トガ必要デアアル、又其中間ノ所要ノ距離毎、不時著陸場、  
 一或ハ機械ニ故障ガ起リ、或ハ天候ニ妨ゲラレルト云フ場  
 合ニ於キマシテ、其安全ヲ期スル爲ニ不時著陸場一ヲ設  
 ケルコトガ必要デアアル、其他緊要ナル地點ニ燈臺標識、信  
 號及氣象觀測、斯ウ云フモノガ皆必要デアリマス、丁度是ハ  
 船ヤ車ノ航海運行ヲ安全ナラシメル爲ニ、國家ノ力ヲ以テ  
 マシテ、道路ヲ開キ、橋梁ヲ架設シ、或ハ港灣ヲ修築シ、若ク  
 ハ燈臺ヲ設備スルト同ジ、状態ナモノデアアル、所ガ今日日本  
 ニハ此航空路ノ設備ナドハ一ツモ何モ出來テ居ラナイ、日  
 本ノ大幹線ノ一番必要ナ東京大阪ニテ、一ツノ民間ニ  
 開放サレタ飛行場スラ未ダ設ケテナイト云フヤウナ状態デア  
 リマス、斯ル次第デ民間飛行家ガ屢、不時ノ災厄ニ貴重ノ  
 生命ヲ犧牲ニスルノデ、誠ニ憂慮ニ堪ヘマセヌ、之ヲ外國ニ  
 例證致シマス、現ニ英國ニ於キマシテハ、民間航空界ニ於  
 テ目下使用シテ居ル飛行場ノ數ガ百二十九箇所アリマス、  
 ソレデ足りナイト云フノデ、政府ガ尙ホ増設ヲ圖テ居ル、亞  
 米利加ニ於キマシテハ官民共同ノ飛行場ガ千八百四十一  
 箇所アル、佛蘭西ニ於テハ四十箇所コソイマス、其他獨逸ニ  
 ハ二十八箇所、和蘭ニハ十箇所、瑞西ニハ二十一箇所、伊  
 太利ニハ十七箇所、皆完備シタ飛行場ガ設ケラレ、尙ホ續々  
 ト是ガ開設ヲ圖テ居ルニモ拘ラズ、獨リ我が日本ニ於テハ  
 東京大阪間ニモ一ツノ飛行場ガ無イ、未ダ國內ニ一條ノ航  
 空路スラ設ケラレナイト云フノハ、餘リニ懸隔ノ差ガ甚シ  
 イト謂ハナケレバナラヌデアアル、最モ斯ウ云フ事ヲヤリマス  
 ノニハ、隨分莫大ナル經費ヲ要スル、併ナカラ國家必要ノ事

業デアレバ、莫大ノ經費モ亦已ヲ得マセヌ、加之私ハ斯ク考  
 ヘル、現在國內ニ於キマシテ、陸軍省ガ持テ居ル地所ハ莫  
 大ナモノデアアル、宮内省ノ持テ居ル地所モ莫大ナモノ  
 デアル、是ハ今日ノ時勢ノ必要上カラ、此陸軍若クハ宮内  
 省ノ所有シテ居ル地所ノ莫大ナ地所ヲ、民間ニ開放ガ致スト  
 云フコトガ、最も必要デアナイカ、(拍手)斯ウ云フヤウナ地所  
 ヲ持テ居テ、時々拂下ノ爲ニ醜聞ナドヲ起スヨリモ、之ヲ  
 民間航空界ニ開放シテ、航空路ヲ建設シ、飛行場ヲ開設ス  
 ルト云フコトガ、最も便宜ナ處置デアナカラウカト思フノデア  
 リマス、要スルニ航空路ノ開設ニ付キマシテハ、政府ハ如何  
 ナル御意見ヲ持テ居ラレルカ、殊ニ日本ハ御承知ノ通り、  
 國際航空條約ニ加盟シテ居リマス、航空路ヲ開設シナケレバ  
 ナラヌト云フ國際的ノ義務ヲ帯ビテ居ルノデアアルガ、尙ホ是  
 ガ出來テ居リマセヌ、陸軍當局ニ於テハ、之ニ就テ從來考ガ  
 ア、タヤウデアアルガ、屢、財政當局ノ爲ニ費用ヲ削減サレテ、  
 遂ニ持出スルコトガ出來ナイヤウニモ聞イテ居リマス、併ナカラ  
 外國ニ對スル手前カラ言フデモ、又國內民間航空ノ發達ト  
 安全トト上カラ言ヒマシテモ、此航空路ノ開設ハ一日ヲ爭  
 フ所ノ急務デアラウト思フノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ  
 意見ヲ伺ヒタイノデアアル、諸君第三ニ於テ、質問シタイノハ、  
 政府ノ最大限ノ製造者ニハ三千圓、購買者ニハ一千圓、使  
 用者ニハ八年額六百圓、即チ一輛ノ保護自動車ニスラ一  
 年四千六百圓ノ保護ヲ政府ハシテ居ルノデアアル、然ルニ自  
 動車ニ比較シテ又一層必要アル此航空機ノ製作ニ關シテ  
 ハ、何等ノ保護ト云フモノガ一ツモアリマセヌ、ソレデアルカラ  
 此製作ト云フモノガ、發達シナイ、現在日本ノ製作場ニ於テ  
 ハ一ニ外國ノ方カラ材料ヲ仰イテ居ル、外國カラノ材料ヲ  
 仰イテ居ルカラ、却テ民間ノ製作ト云フモノガ一向ニ進マ  
 ナイノデアリマス、サウシテ陸軍ナドニ於テハ、内地ヲ製作シ  
 テ居ル所ノ飛機機ニ對シテ、餘額高價ヲ以テ買テ居ル、約  
 三倍位ノ値段ヲ以テ買テ居ル、恐ラク陸軍ノ人達ハ高ク  
 買ヘバソレガ製作ノ保護デアアルト誤解ニナテ居ルノデアナイ  
 カト思フ、是ハ甚ダ宜シクナイコトデアラ、買フノハ相當ノ價  
 段ヲ買テ居ラ宜カラウ、サウシテ製作保護、使用保護ト云フ  
 モノ、法律ヲ持テ、保護スベキモノハ別ニ之ヲ保護シ、買  
 フ方ハ相當ノ値段ヲ買フト云フ方ガ、非常ニ宜イデアナイ  
 カ、サウテナク、代償デアナイ高イ代償ヲ買テ、之ヲ保護ト考  
 ヘルヤウナ事ヲスルカラ、往々ニシテ「シメンス」事件ノ如キ  
 事ノ現出スル憂ガアルノデアナイカト思フ、即チ製作保護ト  
 云フコトハ最も急務デアラウト思フガ、政府ニハ果シテ製作  
 保護ノ意圖ガアルカドウカ、伺ヒタイノデアアル、最後ニ第四

ニ質問シタイノハ、一體陸軍ト海軍ト云フモノハ、總テノ事ニ一致ノ態度ヲ缺イテ居リマス、航空ニ於テモ陸軍ハ佛國式ヲ取リマス、海軍ノ方ハ英國式ヲ取リテ居ル、陸軍ガ佛國西カラ武官ヲ招イテ研究シマス、海軍ノ方デハ英國ノ軍人ヲ招イテ之ヲ研究シテ居ル、陸軍ガ風洞ヲ建テマス、海軍モ亦風洞ヲ建テル、之ニ倣テ帝國大學ノ飛行機研究所ニモ風洞ヲ建テルト云フ状態デ、一體貧乏ナ貧弱ナ我國ア、陸軍 海軍 帝大ト斯様ニ別レテ研究致シマスカラ、貧弱ハ益以テ貧弱トナル嫌ガアル、而モ其風洞ナルモノハ、勿論研究ニハ必要デアアルガ、其風洞ハ年中廻ラテ居ルカト云フト、時々シカ廻轉シテ居ラナイ、年ニ幾回ト算ヘル程シカ廻轉シテ居ラナイデアリマス、而シテ又航空機ノ製作材料ノ規格ノ如キハ陸海軍ニ於テハ全然統一ガ無イデアリマスカラ、民間航空機ノ製作業者ハ其途ニ惑ウテ、ドウ拵ヘテ宜イカト云フコトニ頗ル迷惑スルサウデアリマス、即チ經費節減ノ上カラ見テモ、能率發揮ノ上カラ見マシテモ、私ハ陸海軍、帝大研究所ト云フヤウニ此研究機關ヲ分ケテ置カナイデ、特別研究ノモノハ仕方ガナイ、軍部ニ於テル所ノ特別研究ノモノハ是ハ已ムヲ得マセスガ、然ラザルモノハ總テ打テ一丸ニシテ、茲ニ中央研究所ヲ拵ヘテ、統一ノ研究機關ヲ造ルト云フコトガ、航空實際ノ研究ノ上カラ言ヒマシテモ、亦經費節減ノ上カラ言ヒマシテモ、亦能率發揮ノ上カラ言ヒマシテモ、得タモノデハナカラウカト思フデアリマス、之ニ對スル所ノ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイデアアル、以上私ガ此處ニ陳述シテ質問シマシタコトハ、何モ殊更ニ新シイ問題ヲ提起シテ來タノデハゴザイマセス、言フマデモナク是ハ國民ノ齋シク憂ヘテ居ル所デアリマス、而シテ先キノ第四十四議會ニ於キマシテハ、確カ政友會ノ諸君カラ建議案ガ出テ、更ニ又請願モ出タヤウニ思ヒマス、其時ニ於ケル政府ノ答辨ハ、ソレハ必要ナ事デアアルガ、大ニ經費ヲ要スルカラ研究中デアルト、斯ウ云フ風ニ回答セラレテ居リマス、其回答アデ以來茲ニ既ニ三年、何等ノ施設アルコトヲ吾々ハ拜見シナイデアリマス、之ニ對シマシテ如何ナル御考ヲ持テ居ラレルカ承リタイデアアル、私ノ質問ハ是デ終リデアリマス、最後ニ一寸簡單ニ承リタイ事ガアル、此間貴族院ノ豫算總會ニ於キマシテ、大島健一君カラ飛行機ニ關スル質問ガ出マシタ、之ニ對シマシテ陸軍大臣ノ御答辨ニ依リマス、民間工場航空機ヲ作ルモノガ數箇所アル、而シテ當局ハ之ニ對シテ其發展ヲ後援シテ居ル、其製作ヲ援助シテ居ルト云フコトヲ御答ニナシテ居ル、ドウ云フ御援助ヲ爲ス、テオキデ、アルカ、只今申上ゲマシタ製作補助ト云フコトハ最モ必要デアリマスガ、其民間ノ製作場ニ對シテ援助ヲシテ居ルト

云フ御回答デアアルガ、如何ナル御援助ヲ爲ス、テオキデニナルデアアルカ、參考ノ爲ニ是モ承テ置キタイデアリマス、以上尙ホ盡シマセヌケレドモ、大體私ノ質問ノ要旨ハ斯ノ如キ事デアリマスカラ、從來ノ航空局ヲ管理シテ居ラレタ所ノ陸軍大臣、又今後ト雖モ日本ノ航空界デ最モ發達シテ居ル所ノ陸軍ノ航空ヲ監督シテ居ラレル陸軍大臣、及今後移管ヲサレテ、民間ノ航空ヲ監督セラレル遞信大臣——今後ニ於テハ此遞信大臣ノ御方針、御施設ハ民間航空ノ將來ニ取テ極テ必要ナ事ニナルデアリマスカラ——遞信大臣ノ御意見モ併セテ伺ヒタイト思フデアリマス、何卒明確ノ御答辨ヲ願ヒタイデアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 日程審議ノ都合ニ依リ、殘餘ノ答辯ニ對スル意見ノ陳述ハ、後日ニ之ヲ延期セラレンコトヲ希望致シマス

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセスカ

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第一、煙草專賣法中改正法律案第一讀會ノ續デアリマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、樋渡次右衛門君

第一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)

報告書

一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決ス(キモノト議決致候此段及報告候也)

大正十二年二月二十八日

煙草專賣法中改正法律案委員長 樋渡次右衛門

衆議院議長粕谷義三殿

〔樋渡次右衛門君登壇〕

○樋渡次右衛門君 私ハ只今ノ上程サレマシタ煙草專賣法中改正法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、本案ハ至テ簡單ナ案デアリマスルカラ、私モ極ク簡單ニ御報告ヲ致シタイト思ヒマス、本案ノ要旨ハ、政府當局ヨリ此壇上ニ於テ詳シク説明ニナシテ居リマスル通り、葉煙草ノ葉數査定ヲ廢シ、又量目ノ査定モ廢スルト云フデアリマス、併シ唯、茲ニ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスルコトハ、二ツナガラ之ヲ廢スルト云フコトデアリマスルケレドモ、葉數查

定ノ方ハ全然法規ノ中ヨリ削除シテシマフト云フデアリマスルガ、量目査定ノ方ハ此ニツツ廢シタトキニハ、後戻リヲシテ犯則者ヲ出スト云フヤウナ憂ガ無イトモ限ラナイト云フ譯デ、本文ハ其儘ニ致シテ置キマシテ、サウシテ煙草産地ノ全部ニ互ニ此査定ヲ行フ必要ガナイトキニハ、之ヲ削除スルト云フ文句ヲ加ヘテ止メルコトニ致シテアルデアリマス、而シテ委員會ヲ開クコトニ回、此間ニ煙草ノ事ニ付テ色々重要ナル質問應答ガゴザイマシタケレドモ、本案ニ對シマシテハ、誰レ一人異論ヲ唱ヘラレル方モナカッタノデゴザイマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、此段御報告ニ及ビマス(拍手)

○副議長(松田源治君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ト致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 第二讀會ヲ開クニ異議ナキモノト決シマシタ

○鈴木錠藏君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定アランコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

煙草專賣法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、根本正君

第二 勸章年金增額ニ關スル建議案(根本正君外五名提出)

勸章年金增額ニ關スル建議案理由書

勸章ノ制定ナキ封建時代ニ於テハ武功ノ表彰ハ一ニ其ノ優劣ニ應シ祿高ヲ給賜シタリ人ハ衣食住ニ依テ生活ス殊ニ妻子アリ教養ノ義務アリ名譽ノニ依テ生存スル能ハス茲ニ於テカ武功拔群ノ者ニ對シテハ至高ナル名譽ノ表彰タル勸章ト相俟テ更ニ年金ヲ加賜セラル誠ニ適

當ナル恩賞方法ト謂フヘシ而シテ制定ノ當時ニ於テハ例令ハ金鷲勳章ノ如キ功七級年金百圓ハ米三十俵ニ相當シ名譽ノ勳章ト相俟テ衆庶羨望ノ的トナリ武勳ノ赫々タルヲ示シタリ然ルニ時勢ハ變化シ大戰後ノ物價ハ騰貴シ國家ノ功勞者ヲ優遇スルノ意味ニ於テ恩給ハ再三改正増額セラレ更ニ尙増額改正ノ議アルニ拘ラス單リ拔群ノ武勳者タル金鷲勳章拜受者並年金付受勳者ニ對シ其ノ年金改正ノ議ナキハ誠ニ失當ナリトス依テ速ニ相當改正増額セラレムコトヲ望ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

〔根本正君登壇〕

○根本正君 本案ハ三大戰捷ノ結果、拔群ノ軍功アリタル者九万五千三百人ニ對シ、金鷲勳章及旭日勳章ヲ以テ國家ノ功勞者トシテ、年金御下賜ノ金額ヲ時勢ノ進運ニ順應シ、相當ノ金額ヲ増加スベシト云フ建議デアリマス、帝國ガ今日ノ如ク世界ノ四大列強ニ加ハリ、世界ニ平和ヲ興ラシメテ、相當ノ金額ヲ増加スベシト云フ建議デアリマス、帝展ノ實ヲ舉グルニ至ラシメタルハ、實ニ是等勳功者ノ力大ナリト信ジマス、元來年金御下賜ノ御聖旨ハ軍功拔群者ヲシテ長ク其忠勇ヲ獎勵セントスト、明治二十三年二月十日ノ詔勅ニ依テ仰出ラレマシタ、茲ニ諸君ノ御考慮ヲ願ヒタイコトハ、此長ク獎勵セントストノ御聖旨デアリマス、故ニ明治二十七年十月三日、勅令第七十三號ヲ以テ勳章年金令發布セラレ、功一級ハ金九百圓、功七級ハ六十五圓トアリマシタ、然ルニ此獎勵セントストノ御聖旨ニ基キマシテ、更ニ明治二十八年勅令第十號ヲ以テ、功一級ノ九百圓ヲ千五百圓トシ、又功七級ノ六十五圓ヲ百圓ト改正セラレタ譯デアリマス、爾來物價ノ騰貴時勢ノ進運ニ伴ヒ、文武百官ノ俸給ヲ初メ、恩給ヲ増加スルコトハ既ニ兩三日以前ニアツタ譯デアリマス、既ニ斯ノ如キハ改正セラレマシタガ、獨リ今日ニ至ルマデ是等國家ノ爲メ獻身犧牲、忠勇愛國ノ人々ニ對シマシテハ、此年金増加ト云フコトガ今日迄アリマセヌ、是ガ吾々ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、而モ明治二十八年ノ改正以來、既ニ二十七年間ヲ經過シ、其當時ノ物價ヲ今日ニ比較シマスト云フコトハ、三倍、或ハ五倍ト云フ増加ヲ見テ居ルコトデアリマス、疾ニ此増加ヲ爲スベキ筈デアリマシタケレドモ、今日迄問題トナラヌ、又茲ニ諸君ノ御記憶ヲ願ヒタイコトハ、此年金受領者ノ方々ハ毎年其數ヲ減ジ、最初ハ七万六千九百四十六人デアリマシタ、金額ニ於キマシテハ、九百八十五万七千七百八十一圓ト云フ金額デアツタ、今日ハ其人數ニ於キマシテ千六百四十六人ヲ減ジ、又金額ニ於キマシテ二十一万九千四百四十

七圓ト云フモノヲ減少スルヤウニナツタデアリマス、吾々國民ガ三大戰争ノ爲メ、軍費ノ負擔ト云フモノハ實ニ大ナルモノデアリマシテ、之ヲ合計シマストレバ三十五億六千九百九十七万三千四百七十六圓ト云フ金額デアリマス、又此日清戰争ニハ三十万ノ兵ヲ出シ、日露戰争ニハ御承知ノ通り初メニハ八万八千位ノ兵デアリマシタガ、遂ニ二百萬ノ兵ヲモ出シテ、其時ニ費シマシタ金ト云フモノハ實ニ大ナルモノデア、此日露ノ時ニ戰死サレタ人ハ十萬二千三百三十二人ト云フ者デアリマス、此多クノ人が戰死スルコトニナツテ、サウシテ此世界ノ平和ト云フモノヲ成ス爲ニ、我ガ忠勇ナル兵士ガ犧牲トナツタ譯デアリマス、之ヲ三ツニ別ケマスト云フコトハ、十七八年ノ即チ日清ノ役ニ於テハ、其時我ガ國民ノ費シタ金ハ二億三千二百六十六万九千七百七十一圓、又戰死ノ人ハ一萬三千二百六十八人ト云フ多クノ人ヲ犠牲ニシマシタ、日露ノ役ニハ十八億二千六百二十九万四千七百七十五圓、戰死サレタ人ハ八万七千九百二十九人ノ生靈ヲ捨テタ譯デアリマス、又日獨戰争ニ於キマシテハ、即チ世界平和ノ爲メ帝國ノ支出シタル軍費ト云フモノハ實ニ巨額ナモノデアリマス、是非諸君ノ御記憶ヲ新ニ願ヒタイト思フノデアリマス、私ハ此日獨ノ戰争ノ爲ニ費シタ金額ト云フモノハ多分四五億圓足リタモノト思フデアリマス、併ナガラ之ヲ或ル陸軍省、海軍省等ニ聞キマシテモ能ク分ラナイ、各自バラバラニナツテ分ラヌカシテドウシテモ是ハ其決算ヲ見ナケレバナラヌ、之ヲ會計檢査院ニ依テ我ガ帝國ガ日清、日露、及日獨戰争ノ爲ニ如何ニ巨額ノ金ヲ費シタト云フコトヲ調ベテ見マスト、實ニ驚クベキ金額デ、三十五億千七百七十三圓二千二百二十八圓ト云フ金額デ、僅ニ日露戰争ニ比シマシテ三億圓程シカ少クナイデアリ、其中軍事費ノミニ於テモ六億七千二百九十八万四千四百九十一圓ト云フ巨額ヲ支拂テ居リマス、戰死者ハ四千百二十三人、其中三千三百三人ハ西伯利ニ於テ戰死サレマシタ、斯ノ如ク三大戰争ノ爲ニ、吾々國民ハ三十六億ノ大金ト、十萬三千ノ戰死者ヲ出シタ譯デアリマス、此當時ニ於テ如何ニ今日ノ此年金ヲ受領サレテ居ル所ノ諸君ガ、戰闘ニ於テ奮闘拔群ノ軍功ヲ奏セラレマシタカト云フコトハ、能ク諸君ノ御推想ガ出來ルコトデアリマス、故ニ斯ノ如ク三十

レマシタノハ只今申上ゲマシタ通り二十七年前デアリマシテ、一寸一例ヲ申上ゲマストレバ、其時ノ此六十五圓、百圓ト云フモノハ、丁度巡查ノ人々ガ月給九圓ノ時代デアリマシタ、デアリマスカラシテ丁度今日ハ四十五圓取テ居ルカラ、五倍ノ増加ヲ見タデアリマス、此勳功者タル九万三千五百人ト云フ諸君ニ對シテ、實ニ吾々ノ最モ敬意ヲ表シ、其名譽ヲシテ永久ニ傳ヘシムベキ所ノ人々デアリマスカラ、ドウカ建議ハ速ニ御採擇ニナツテ、尙ホ今年ヨリ此年金増加ヲ追加豫算ヲ以テ増加シ、大ニ軍功ノアル人々ヲシテ名譽アラシムル位置ニ置クコトヲ、特ニ御贊成アラシムコトヲ切望致シマス

○鈴木錠藏君 本案ハ高木正年君外二名提出、恩給法改正ニ關スル建議案外六件ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ勳議ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ勳議ノ如ク決シマス、日程第三、日本アルプス山中上高地(神河内)ニ國立公園設定ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣意、辯明ヲ許シマス、塚原嘉藤君

第三 日本アルプス山中上高地(神河内)ニ國立公園設定ニ關スル建議案

(塚原嘉藤君外六名提出)

日本アルプス山中上高地(神河内)ニ國立公園設定ニ關スル建議案

日本アルプス山中上高地(神河内)ニ國立公園設定ニ關スル建議案

長野縣南安曇郡安曇村地籍上高地國有林ノ風光ハ天下ノ偉觀ニシテ所謂日本アルプス登山ノ基點ナリ政府ハ現下ノ情勢ニ鑑ミ、此ノ國有林ヲ開放シ茲ニ國立公園ヲ設定シテ必要ナル施設ヲ爲シ登山ヲ容易ナラシメ之ヲ獎勵シ以テ國民剛健ノ氣風養成ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔塚原嘉藤君登壇〕

○塚原嘉藤治君 此上高地ハ特徵ダケ申上ゲマスト、是ハ信州ノ南安曇郡安曇村地籍ノ中ニ在リマシテ、アルプスト云ヒマス所御嶽カラ立山ニ至ル所ノ數十里ニ互ル、其山嶽ノ丁度真中ニ在リマシテ、サウシテ松本ヲ距ルコト西二十二里デアリマス、其中四里乃至四里半バカリハ今ノ馬車或ハ電車ノ便ガアリマス、後ノ八里ト云フモノハ農商

務省ヲ拵ヘラレマシタ林道ト云フ山林ト道ガアルノデアリマ  
 ス、サウシテ其上高地ト云フ所ハ海拔五千五百尺ノ高原デ  
 アリマス、之ヲ繞ラス周圍ノ山ハ一万尺以上ノモノガ確カ  
 六ツ七ツ位アルデアリマス、槍ヶ嶽モサウデアリマス、穂高  
 嶽、奥穂高嶽、常念嶽、霞澤嶽、六百山、是ハ皆何レモ低  
 ノデモ九千五百尺、高イノハ一万一千尺ガ少シ缺ケルノデ  
 アリマス、斯ウ云フ風ナ山ニ圍マレテ居リマシテ、サウシテ五  
 千五百尺ノ高原ガ非常ニ廣イデアリマス、其坪數ニシマ  
 スト、坪數デハ言フコトガ出来マセヌガ、一寸三千町坪位ア  
 リマシテ、是ハ斯ウ云フヤウナ廣イ所ノ高原ガ、而モ一万尺  
 以上ノ山六ツ七ツニ圍マレテ居ル所ノ高原ト云フモノハ、  
 歐羅巴ノアルプスニ及バナイトカニ云フヤウナコトヲ言ハ  
 ス、此間岩本君ガ大和「アルプス」ト、或ハ大和「アルプ  
 ス」トヲ較ベテ見テモ、日本「アルプス」ヤ大和「アルプス」ハ連  
 モ歐羅巴ノアルプスニ及バナイトカニ云フヤウナコトヲ言ハ  
 レテ居ッタデアリマスガ、併ナカラハ是ハ間違デアリマシテ、此  
 日本「アルプス」ノ上高地ト云フ所ハ五千五百尺カラ一万  
 尺以上ノ山六ツ七ツニ圍マレテ居テ、サウシテ數千坪ア  
 テ、其南北ハ廣イ所ハ四里位アリマス、東西ハ狭イ所ハ二十  
 町、廣イ所モ三十町デアリマシテ、東西ハ狭イ所ハ二十  
 ガ、要スルニ斯ウ云フ高原デアテ、サウシテ此廣サノ所ハ今  
 ノ瑞西ノアルプスノ中ニモ無イサウデアリマス、是ハ御承知  
 ノ通り英國人ノウエストント云フ人ガ之ヲ初テ發見シ  
 タ譯デアリマセヌケレドモ、此人ハ大變旅行家デ、山登リノ  
 好キナ人デ、歐羅巴「アルプス」ヲ究メテ日本へ來テ、サウシテ  
 有名ナ「カモンジ」ト云フ親爺ニ案内サセマシテ、其所へ探檢  
 サレタ、サウシテ此地ヲ見テ、是ハ歐羅巴ノアルプスノ中ニ  
 モ無イノデアル、此山ノ莊嚴ナコト、雄大ナコト、サウシテ  
 殊ニ梓川ト云フ川ガ流レテ居リマスガ、其川ノ奇麗ナコトナ  
 ドハ、世界ニ無イノデアルト云フテ、彼ハ英國へ歸ラテカラ、日  
 本「アルプス」ト云フ所ノ本ヲ倫敦デ發行サレマシタ、是ガ日  
 本「アルプス」ニ關スル本ノ一番初メノサウデアリマス、ケ  
 レドモ是ハ約今カラ十六七年前ノ事デアリマス、左様ナ工  
 合デアリマシテ、實ニ是ハ天下ニ推獎スルニ足ルト云フテモ、是  
 ハ誇大ナ言デハナカラウト思フノデアリマス、殊ニ其所ニハ  
 氷河ノ堆積ガ澤山アリマシテ、氷河ノ堆積ト云フト詰リ一  
 万尺以上ノ山カラ氷河ガ下テ參リマシテ、段々下テ、サウシ  
 テ其所ノ高原ニ止テ、ソレガ段々溶ケテ、山ノ上ニ石ガ其所  
 ニ在ルノデアリマスガ、其高原ノ中ノ石ト違フノデアリマス、

或ハ穂高嶽ノ地質ノ石ガ其所ニ在ルト云フヤウナ工合ニ、  
 此氷河ノ遺跡ト云フモノガアルノデアリマス、殊ニ其所ニ登  
 ル路ナドニハ「ホットナースタイン」ト云フモノガアリマシテ、是ハ  
 維納也大學ノ地理學者「ホットナースタイン」ト云フ名ダサウデアリマ  
 ヲ發見シタカラ「ホットナースタイン」ト云フ名ダサウデアリマ  
 ス、ソレハ丁度長サ三間、幅二間位ナ大キナ所ノ石デアリマ  
 スガ、花崗岩ヲシクアリマスケレドモ、其横ノ腹ノ所ニ持ッテ  
 行テ熊ガ引掻イタヤウナ筋ガ付イテ居ルノデアリマス、是ハ  
 矢張山カラ氷河ト一緒ニ下リテ來テ、サウシテ摩擦ヲシテ傷  
 ガ付イタト云フコトデ、氷河ノ最モ若シイ所ノ是ハ遺跡デア  
 ルト云フ「ホットナースタイン」ガ見付ケタカラ「ホットナースタイン」ト  
 言テ居ルサウデアリマス、斯様ナ工合デアリマシテ、外國  
 ト競争スル譯デアリマセヌケレドモ、此日本「アルプス」ノ中  
 ニサウ云フ所ガアテ、サウシテ世界ニ是ハ推獎スルニ足ルト  
 云フ所デアリマスルカラ、隨テ其所ハ其三千町坪バカリノ所  
 ハ大部分森デアリマスルケレドモ、三分ノ一位ハ原野モアルノ  
 デアリマス、其森ハ昔カラ未ダ斧鉞ヲ入レタコトノナイ大キナ  
 森デアリマス、サウシテ餘リ奇麗ナ森林デアルガ爲ニ、御大典  
 記念林ニ編入サレテ居ルノデアリマス、尙ホ其他其所ノ特徴  
 フ中上ダマスト云フト、氣流ガ非常ニ妙ナ工合ニテ居ルノ  
 デアリマス、此氣流ハ日本海トツレカラ南ノ太平洋カラ吹イ  
 テ來ル所ノ其風ガ兩方突當テ、サウシテ洵ニ妙ナ氣流是ハ  
 人ノ身體ニ害ニナルノデナクテ、寧ろ其土地ノ壯嚴ナル氣分  
 ニ是ハ手傳テ居ルト思フノデアリマス、隨テ其氣流ガ變ナ  
 爲デアリマセウカ、其所カラ出ル所ノ昆虫類ナドハ、大分妙  
 ナ物ガ居ルノデアリマス、蝶々ノ類ナドハ實ニ世界ニ稀有ナ  
 モノデアルサウデアリマシテ、一羽數百圓ノ値打ガアルサウデ  
 アリマシテ、何デモ一夏ノ間ニ三羽カ四羽取リマス、ソレデ  
 矢張サウ云フ人ハ一年中食テ居ルコトガ出來ルト云フヤウ  
 ナ、サウ云フ昆虫類ナドモ出ルノデアリマスガ、是ハドウシテ  
 モ今ノ氣流ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレカラ尙ホサ  
 ウ云フ譯デアリマスカラ、隨テ其處ノ莊嚴サト云フモノハ、是  
 ハ洵ニ偉大ナモノデアリマシテ、免ニ角一週彼處へ行テ見  
 マスト云フト、アノ景色ニ打タレル、一昨年アタリモ鐵道省ノ  
 大村局長ナドガ行テ御覽ニナテ、初ハソレ程ノモノデナイ  
 ト云フテ居ラレタノデアリマスガ、彼處へ行テ見ルト眞ニアノ  
 偉大ナル景色ニ打タレタノデアリマス、サウシテアノ人ナドモ  
 外國ノアルプスニモ歩イテ來ラレタ人デアルサウデアリマス  
 ガ、奥穂高嶽ノ景色ヲ見テ、是ハ實ニ稀有ノモノデアテ、日  
 本中俺モ旅行シテ歩イタケレドモ、是位ノ所ハ見タコトガナ

イト言ハレテ居ルノデアリマスカラ、確ニ私ノ下手ナ言葉デ  
 ハ、彼處ノ景色ヲ紹介シ、サウシテ國立公園ノ必要ヲ申述  
 ベルニ甚ダ不足デアラウト思フノデアリマス、左様ナ工合デア  
 リマシテ、尙ホ其高原ニハ北ノ方ハサウ云フ工合ニ景色ガ好  
 イノデアリマスケレドモ、南ノ側ニナリマス、今ノ槍ヶ嶽ト云  
 フ噴火山ガアルノデアリマス、サウシテ是ハ大正七年デアリマ  
 スカ溶岩ヲ流シマシテ、今ノ世界ニモ其綺麗ナコトヲ比スル  
 コトガ出來ナイト云フヤウナ河川ノ流ガ、此溶岩ニ港ヘラレ  
 マシテ、サウシテ其處ニ大正湖ト云フ湖水ガ出來テ居ルノデ  
 アリマス、其處ハ今ハスッカリ森林ノ中ニ流込ラレテ行ク  
 コトニナテ居リマスカラ、初ハ「ホット」ヲ競漕ナゾハ出來ナカ  
 タノデアリマスガ、段々經ツ中ニ其木ガ枯レテ參リマシテ、今  
 ハ大キナ湖水トナテ居ルガ、併シ一方ニハサウ云フヤウニ雪  
 ガ流レマシテ木ヲ枯シテ居リマスカラ、是ハ實ニ慘澹タルモ  
 ノデアリマス、非常ニ景色ノ好イ所ト、非常ニ慘澹タル所ト  
 兩方アリマシテ、誠ニ是ハ自然ノ「アイロニカル」ノ所モ分ル  
 ノデアリマス、要スルニ是ハ斯ウ云フ所ノ高原デアリマシテ、  
 サウシテ其處ニ參リマスニハ、今申上ゲル通り一万尺以上  
 ノ山ガ六ツモ七ツモアルノデアリマスカラ、今日トシテハ八千  
 尺ノ峠ヲ越シテ行クノデアリマス、此處ハ青年或ハ元氣ノ好  
 イ人ハ行クノデアリマスガ、一般國民トシテ其處ニ行クト云  
 フコトハ中々八千尺ノ峠ヲ越シテ行クノデアリマスカラ、是ハ  
 非常ニ困難ナ事ト思ヒマスガ、要スルニ之ヲ國立公園ト云  
 フコトニシテ裁キマスレバ、林道ト云フ道ガ付イテ居ルノデア  
 リマスカラ、其峠ガ々々隧道デモ作りマシテ、サウシテ向フノ  
 高原ハ今ノ御大典記念林デアリマスカラ、之ヲ開放サヘスレ  
 バ宜イノデアリマスカラ、極テ利用シ得ラレ、簡單ニ出來ルノ  
 デアリマスカラ、サウ云フ工合ニ致シマシテ、サウシテ今日ハ  
 青年或ハ元氣ノ好イ人ハ登レマスガ、願クハ國民全般ト云  
 フモノガ老若男女モ其處ニ行カレルヤウニ致シマシタナラ  
 バ、只今申上ゲル通りノヤウナ工合ニ靈山デアリマスカラ、  
 或ハ靈氣ガアルノデアリマスカラ、登山ノ獎勵ニモナリマセウ  
 シ、サウシテ今日大問題ニナテ居ル所ノ思想問題ナドニ付  
 テモ、多少貢獻スル所ガアリハシナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ  
 居ルノデアリマスカラ、國民剛健ノ氣性ノ養成ノ一端ニモ  
 資シタイ、斯ウ云フ考デアリマスカラ、是コソ眞ニ日本ノ國  
 立公園トシテ最モ適切ナルモノデハナイカト思フテ、建議案  
 ヲ出シタ譯デアリマスカラ、ドウゾ宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ日野辰次君外二名提出ノ霧島山  
 國立公園設置ニ關スル建議案外二件ニ併シテ付託セラレ  
 ンコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第四ニ對シテハ、提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ延期ニ決シマシタ、日程第五、市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス納富陳平君

第五 市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案(納富陳平君提出)

市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案  
市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案

市町村ニ對シ國家カ其ノ事務ヲ委任處理セシムルニ當リ國稅徵收事務ニ付テハ國庫ヨリ相當交付金アルニ拘ラス市町村制中ニ定メタル國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ルニ付テハ何等ノ交付金ナシ爲ニ市町村ハ經費ノ增加ヲ來シ之カ支辨上甚タ困難ナルモノアリ依テ政府ハ毎年國庫ヨリ市町村ニ對シ相當補助金ヲ交付セラレムコトヲ望ム

右建議ス  
○納富陳平君 極テ簡單デアリマスカラ、此席カラ御許ヲ願ヒマス

○副議長(松田源治君) 宜シウゴザイマス

○納富陳平君 市町村自治體ガ、法律命令ニ依リマシテ委任セラレ、又ハ分掌シテ居リマス國ノ事務及公共團體ノ事務ハ澤山アリマス、其中徵收事務ニ付テハ大正三年三月法律第十二號ニ依リ交付金ヲ交付サレテ居リマス、其他行路病人、死亡人取扱ニ付テハ明治二十二年三月法律第九十三號、又精神病者ノ監護ニ付テハ明治三十三年三月法律第三十八號、及水難救助ニ付テハ明治三十二年三月法律第九十五號ニ依リ、相當ノ費用ヲ市町村ニ交付サレテ居ルデアリマス、然ルニ最モ町村ニ於テ手數ヲ要スル徵兵事務、戶籍事務、其他ニ付テハ市制第九十三條及町村制第七十七條等ノ規定ニ基キマシテ、市町村ガ自ラ其費用ヲ負擔シテ居ル次第デアリマス、今概數ヲ以テ申上

官報號外 大正十二年三月七日 衆議院議事速記録第二十六號 市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案 小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案

ゲマス、是等委任事務ニ付テ市町村役場費ヲ十二例ヘマスト、丁度一割ダケ此費用ヲ要スル次第デアリマス、大正十年年度全國町村數一萬二千ノ役場費ノ總計六千二百四十萬圓ノ中、委任事務費ハ實ニ二千五百萬圓ノ多數ニ上ルデアリマス、目下自治體殊ニ農村ガ財政ノ困難ナル際ニ當テ、此莫大ナル費用ヲ負擔スルト云フコトハ、誠ニ容易ナラザル次第ト私ハ考ヘルデアリマス、故ニ大正十二年度ヨリ是ニ相當スル所ノ費用ヲ補助スルト云フコトハ、自治體ノ財政ヲ緩和シ、殊ニ農民直接ノ負擔ヲ輕減スルニ最モ適切ナリト信ジマス、請願モ採擇サレマシタガ、更ニ茲ニ建議案ヲ私ハ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御賛成アラントヲ望ミマス

○鈴木錠藏君 本案ハ林田龜太郎君外一名提出、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案外二件ノ委員ニ付託セラレレンコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第六、小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題トシマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、淺石惠八君

第六 小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案(淺石惠八君外六名提出)

小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案  
小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案

德島縣小松島ヨリ高知縣後免ニ至ル阿土海岸鐵道ハ四國東南ニ面スル海陸物資ノ輸送上必要ナル施設ニシテ豐富ナル資源ノ開發上一日モ緩クスヘカラサルヲ以テ政府ニ於テ速ニ之カ敷設ノ計ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス  
〔淺石惠八君登壇〕

○淺石惠八君 極テ簡單ニ提案ノ理由ヲ説明致シマス、本案ハ四國ノ東南岸ノ德島縣ノ小松島ヨリ、高知縣ノ後免ニ至リマス鐵道ノ速成ヲ希望スル案デアリマス、先日當院ニ於キマシテ御協賛ヲ得マシタ小松島港ガ、大正十二年ヨリ修築ヲ致シマシテ、本土並ニ阪神地方ニ聯絡ヲ取ルコトニナリマシタ以上、此港灣ノ利用ヲ全ウ致シマスニ付キ

マシテハ、是非共速ニ此線路ノ出來ルヤウニシナケレバナラヌ必要ニ迫テ居ルデアリマス、御承知ノ通り鐵道ハ生産ノ發達ヲ圖リマス上ニ付テハ、恰モ人體ニ於ケル血管ノ如キ働ヲ持テ居ルデアリマス、試ニ諸君ガ鐵道線路網ヲ一度御開キニナテ御覽下サルナラバ、四國ノ東南岸、即チ德島高知ノ間ハ此血管ガ無イデアリマス、其爲ニ其地方ニハ非常ニ澤山ノ物資ガアリマスガ、常ニ運輸ノ便利ガ無イ爲ニ、非常ナル、疲弊ヲシテ居ルデアリマス、本案ハ既ニ四十四議會、及四十五議會ニ於キマシテモ、建議案トシテ、滿場一致ノ御賛成ヲ得マシテ政府ニ致シタデアリマスガ、大正十二年ノ新線ノ御計畫ヲ爲サルニ付テ本線ハ不幸ニシテ其選ニ漏レマシタコトハ、洵ニ私トシテハ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアリマス、先日豫算委員會ニ於テ鐵道大臣ノ述ベラレル所ニ依ルト、今回ノ新線ヲ採用スルニ付キマシテハ、標準ト致シマシテ、交通政策資源ノ開發、若クハ工事ノ完備、是等ヲ標準トシテ新線ノ御採擇ヲサレタコト云フコトデゴザイマス、此線路ノ如キハ、恐ラク此標準ニ落第スルモノデナイト私ハ信ジテ居ルデアリマスガ、ソレ等ノ詳細ナル理由ハ何レ委員會ニ於テ申上ゲルコト、致シマス、之ヲ要スルニ殆下不隨萎縮ノ地ニ立テ居リマス此鐵道線路沿線ノ町村ヲ此儘ニ致シテ置クト云フコトハ、國家政策ノ公平ナル見地ノ上カラ致シマシテモ、頗ル是ハ遺憾ニ存ジマス、故ニ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ政府ヲシテ、速ニ此敷設ヲ進メシムルコトヲ希望シマスルノガ、即チ本案提出ノ理由デゴザイマス、願ハクハ御審議ノ上デ御贊同ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シテ置キマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセヌカ  
〔贊成〕「贊成」ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセヌカ  
〔贊成〕「贊成」ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第七、第八ハ提出者同一ナルニ依リ、一括議題トナスニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、日程第七、毛織物ノ關稅免除ニ關スル建議案、日程第八、食糧充實

マシテハ、是非共速ニ此線路ノ出來ルヤウニシナケレバナラヌ必要ニ迫テ居ルデアリマス、御承知ノ通り鐵道ハ生産ノ發達ヲ圖リマス上ニ付テハ、恰モ人體ニ於ケル血管ノ如キ働ヲ持テ居ルデアリマス、試ニ諸君ガ鐵道線路網ヲ一度御開キニナテ御覽下サルナラバ、四國ノ東南岸、即チ德島高知ノ間ハ此血管ガ無イデアリマス、其爲ニ其地方ニハ非常ニ澤山ノ物資ガアリマスガ、常ニ運輸ノ便利ガ無イ爲ニ、非常ナル、疲弊ヲシテ居ルデアリマス、本案ハ既ニ四十四議會、及四十五議會ニ於キマシテモ、建議案トシテ、滿場一致ノ御賛成ヲ得マシテ政府ニ致シタデアリマスガ、大正十二年ノ新線ノ御計畫ヲ爲サルニ付テ本線ハ不幸ニシテ其選ニ漏レマシタコトハ、洵ニ私トシテハ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアリマス、先日豫算委員會ニ於テ鐵道大臣ノ述ベラレル所ニ依ルト、今回ノ新線ヲ採用スルニ付キマシテハ、標準ト致シマシテ、交通政策資源ノ開發、若クハ工事ノ完備、是等ヲ標準トシテ新線ノ御採擇ヲサレタコト云フコトデゴザイマス、此線路ノ如キハ、恐ラク此標準ニ落第スルモノデナイト私ハ信ジテ居ルデアリマスガ、ソレ等ノ詳細ナル理由ハ何レ委員會ニ於テ申上ゲルコト、致シマス、之ヲ要スルニ殆下不隨萎縮ノ地ニ立テ居リマス此鐵道線路沿線ノ町村ヲ此儘ニ致シテ置クト云フコトハ、國家政策ノ公平ナル見地ノ上カラ致シマシテモ、頗ル是ハ遺憾ニ存ジマス、故ニ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ政府ヲシテ、速ニ此敷設ヲ進メシムルコトヲ希望シマスルノガ、即チ本案提出ノ理由デゴザイマス、願ハクハ御審議ノ上デ御贊同ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シテ置キマス(拍手)

官報號外 大正十二年三月七日 衆議院議事速記録第二十六號 市町村ニ對シ補助金交付ニ關スル建議案 小松島後免間鐵道速成ニ關スル建議案 五七二

ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマ  
ス……提出者多木久米次郎君

第七 毛織物ノ關稅免除ニ關スル建議案

(多木久米次郎君提出)

毛織物ノ關稅免除ニ關スル建議案

毛織物ノ關稅免除ニ關スル建議案

毛織物ハ既ニ國民一般ノ需要トナリ其ノ價格ノ高低ハ  
直接國民生活ノ安危ニ關スルノミナラス今日内地製造  
業ノ進歩發達ハ特別ノ保護ヲ加フルノ必要ナキヲ認ム依  
テ政府ハ獨リ原料ノミナラス其ノ製品ニ對シテモ須ラク  
關稅ヲ免除シ全國民ニ低廉ナル毛織物ノ供給ヲ期セラ  
レムコトヲ望ム  
右建議ス

第八 食糧充實ニ關スル建議案(多木久

米次郎君提出)

食糧充實ニ關スル建議案

我カ國民ノ主食糧タル米麥ハ豊凶ニ拘ラス常ニ不足ヲ  
告ク年々數千萬圓ノ外國食糧ヲ輸入シツツアルハ農業  
政策上痛憾措ク能ハサル所ナリ依テ政府ハ諸多ノ獎勵  
中最效果アル多收穫懸賞ノ方法ヲ設ケ全國一齊ニ食  
糧充實ノ大宣傳ヲ實行セラレムコトヲ望ム  
右建議ス

[多木久米次郎君登壇]

○多木久米次郎君 簡單ニ御説明ヲ申上ゲマス、喋々申  
スマデモナク關稅ニ依リテ自國ノ産業ヲ保護スルト云フコ  
トハ勿論ノ事デアリマス、關稅問題ノ如何ニ重大ナルカト云  
フコトハ、各國モ非常ナル深甚ノ注意ヲ拂ヒツ、アルコトハ  
申スマデモナイ次第デアリマス、況ヤ我國ノ如ク産業ノ保護  
ニ大ニ考慮ヲ拂ハレネバナラヌト云フコトハ申スマデモナイ  
次第デアリマススケレドモ、併ナガラ保護ガ餘リ厚キニ過ギマ  
シテ、却テ一般人民ノ生活ヲ脅威シテ、保護ノミニ依頼ヲシ  
テ却テ本業ノ發達ヲ阻碍スルガ如キ結果ヲ見ルコトハ往々  
アルノデアリマス、本問題ノ如キ、毛織物ハ御承知ノ通りニ  
一般生活ノ向上ト共ニ、非常ナル速力ヲ以テ需要ハ日ニ月  
ニ擴張サレツ、アル次第デアリマシテ、我國ノ如キ毛織物ノ

高イト云フコトハ、歐羅巴ニ比シテモ亞米利加ニ比シテモ何  
割若クハ一倍モ高値デアリマス、況ヤ此毛織物ノ需要ガ  
段々殖エマシテ、或ハ外套ノ如キ、洋服ノ如キ、殊ニ此朝鮮  
ノヤウナ生活程度ノ低イ所ニ參リマシテモ、或ハ頭巾、肌著  
若クハ靴下ノ如キ、段々毛質ヲ用フルニ拘ラズ、非常ナル高  
價ノ爲ニ之ヲ購フニ苦シデ居ル次第デアリマス、然ルニモ拘  
ラズ、此毛絲業ニ二割ノ關稅ヲ課セラレト云フコトハ、驚  
入ツタ多額ト存ジマス、此二割ノ關稅ト云フモノハ現ニ我國  
ニ於テモ、四五箇所ニ毛絲製造所——毛織物ノ製造所ガ  
ゴザイマスガ、一箇所ニ五千萬圓ノ製造ヲ爲シツ、アルノデ  
アリマス、假ニ五千萬圓ノ製造ヲ爲シツ、アルトシマスレバ、  
千萬圓ハ全ク此關稅ノ保護ニ依テ、國民ノ膏血ヲ集メテ  
一會社ノ犧牲ニ供センナラヌト云フ状態デアリマス、ソレガ  
爲ニ僅カ千五百萬圓ノ資本デ以テ一年千二百萬圓、千五  
百萬圓ト云フヤウナ利益ヲ得ツ、アルノデアリマス、テ、暴利  
取締法ナドヲ實施スルナラバ、是等ニ向ケテ大ニ此法律ヲ  
應用センナラヌモノデアアルカト存ジマス、法律ガ飾物デアナイ限  
リハ——暴利取締法ト云フモノハ、ドレ程ノ利益ヲ取ツタ者  
ニ科サレルモノデアアルカ、私ハ甚ダ疑問ヲ持テ居ルノデアアル、  
而シテ我國ノ毛織業ト申スルモノハ、既ニ殆ド四十年來ノ  
經驗ト星霜ヲ經テ居ルモノデアリマス、而シテ御承知ノ通り  
ニ此羊毛ナルモノハ、是ハ彼ノ喜望峯ノ附近カラ出マサル  
シ、亞米利加、歐羅巴、到ル處ニゴザイマス、最モ世界ニ供給  
ノ大ナルモノハ、澳大利ヤデアリマシテ、我國カラ參リマスレ  
バ僅カ三千哩内外デアリマスガ、歐羅巴カラ參リマスレバ之  
ニ三倍スル所ノ遠方ノ距離ヲ持テ居ルノデアリマス、是ガ  
爲ニ利子ノ如キ、保險料ノ如キ、ソレニ加ヘマシテ、蘇西運  
河ノ通航稅ノ如キ、而モ此歐羅巴ハ比較的我國ヨリモ工  
賃ガ高クシテ、又生活ノ幾ラカ高イ所デ、高イ工賃ヲ拂テ、  
再ビ東洋ヘ持テ來テ輸入シツ、アルヤウナ状態デアリマス、  
此一億八千萬圓、若クハ五千萬圓ノ輸入ノ毛織物ガアル  
ト云フコトハ、全ク無暗ニ此毛織業者ガ需要ノ甚大ナルヲ奇  
貨トシテ、暴利ヲ貪ルニ依ルト信ズルノデアリマス、國民生活  
ニ必須ノ毛織物ヲ無暗ニ高ク國民ニ買ハセルト云フコト  
ハ、爲政者ノ樂觀スベキモノチヤナイト存ジマス、斯ノ如ク此  
原料ヲ得ルニ便利ニシテ、又販賣ノ状態ト云フモノハ斯ノ  
如ク便利ナル地位ニ在リナガラ、二割ヲ此保護スルト云フ  
コトハ策ノ得タルモノデナイコトヲ私ハ信ズルガ爲ニ、之ヲ提  
出シタ次第デアリマス、尙ホ詳細ノ事ハ委員會ニ於キマシテ

申上ゲタイト存ジマスルガ、今日柄諸物價ノ整理ヲ圖ラテ、  
國民生活ノ安定ヲ圖ルニ最モ急務ナルトキニ、斯ノ如キ莫  
大ナル關稅ヲ以テカラニ、謂ハレナイ保護ヲスルト云フコト  
ハ、決シテ國家ノ産業政策上策ヲ得タルモノデナイコトヲ私  
ハ信ズルガ爲ニ提出シタノデアリマス、一言説明ニ代ヘマシ  
テ滿場ノ御贊成ヲ得タイノデアリマス(拍手)此食糧問題ニ  
付テ下手ナ説明ヲスル積リデアリマシタガ、少シ咽喉ヲ痛メ  
テ居リマスカラ、次ニ延バシテ戴キタイ  
○鈴木錠藏君 日程第七ハ林田龜太郎君外一名提出、  
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案外三件ノ  
委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス  
○副議長(松田源治君) 第八ハ提出者ヨリ延期ノ申出  
ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○副議長(松田源治君) 御異議ナイト認メマス、仍テ延  
期致シマシタ、第七ハ鈴木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ、  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○副議長(松田源治君) 御異議ナイト認メマス、仍テ動  
議ノ如ク決定致シマス——日程第九、日露通商開始促進  
ニ關スル建議案、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——望月小  
太郎君  
第九 日露通商開始促進ニ關スル建議案  
(望月小太郎君提出)  
日露通商開始促進ニ關スル建議案  
日露通商開始促進ニ關スル建議案  
日露兩國ハ極東ニ於ケル政治上經濟上ノ接壤地域ト  
シテ一日モ早ク兩國ノ通商ヲ開始スヘキニ拘ラス大連長  
春兩會議決以後帝國政府ハ今ニ至ル迄未ダ通商開  
始再開ノ交渉ナキハ深ク日本國民ノ遺憾トスル所ナリ  
帝國政府ハ此ノ際速ニ露國ニ對シ通商開始ノ交渉ヲ開  
キ協約ヲ締結スヘシ  
右建議ス  
○望月小太郎君 私ハ總理、外務、大藏、陸軍四大臣ノ  
出席ヲ要求シテ置キマシタガ、總理ハ病氣ト云フコトデアリマ  
スガ、外務大臣以下ハ承知シテ居ルコト、思ヒマスガ、未  
ダ出席シテ居リマセヌカラ、其出席ヲ要求致シマス  
○副議長(松田源治君) 外務大臣、大藏大臣ハ直ニ見エ  
ルサウデアリマス、ドウカ登壇ノ上趣旨ノ辯明ヲ願ヒマス

○望月小次郎君 本員ハ我對露政策ノ實際問題ト致シテ、御同様ガ官民朝野一致ノ力ヲ以テ、目前ニ解決セヌケレバナラヌト信ジマスル此日露通商開始建進ノ建議案ニ對シマシテ、茲ニ其理由ヲ申述ベマス、申ス迄モナク日露兩國ガ極東ニ於ケル其接壤地域ノ關係ハ、政治上、經濟上、兩國民ガ互ニ誠意トテ友情ト披瀝シテ、提携致シテ、此東亞未開ノ一大富源ヲ開發スルト云フコトハ、實ニ日露兩國民ノ使命デアルト斯様ニ確信致シマス、殊ニ諸君御承知ノ如ク、世界ノ國ニ於テハ、先刻モ清瀨君ガ言ウタテ、正義人道ト表看板コソ掲ゲテ、其内情ニ於テハ、人種ニ對シテ平等ノ待遇ヲ與ヘマセヌガ、此露國ニ至テハ、全ク人種差別ノ觀念ガ無イデアリマス、莫斯科王朝三百年來、露國民傳統ノ精神ト致シテハ、各民族ニ平等ノ權利ヲ與ヘテ居ル、彼ハ一面右ニ於テ歐羅巴ノ文明ニ接觸スルト共ニ、左ニ於テハ吾々東洋人ニ無限ノ同情ヲ持テ居ル所謂歐亞兩民族ノ混合國民デアリマス、カレガ故ニ日露戰爭後モ、兩國民ノ感情ハ極メテ急速ニ恢復致シ、確カ明治四十年ト記憶致シマスルガ、日露協商ガ結バレ、引續キ通商ノ前途ハ兩國ノ運命ニ至大ノ希望ヲ齎シテ參リマシタガ、不幸露國政變ノ結果、西伯利出兵以來此感情ガ今日迄融和致シマセヌ、其結果ト致シテ通商ハ杜絶致シテ居ルト云フ今日ノ此現狀、故ニ今日トナテ、此通商ヲ開始シテ、茲ニ日露兩國ノ國交ヲ既往ニ恢復致シタイト云フノガ、本員建議案ノ目的デアリマス、故ニ之ヲ三段ニ分チテ申述ベテ見タイ、第一ハ通商ヲ開始セズンバ、現在只今經濟上ノ大損害ト云フコトヲ御講聽ニ懇ヘ、第二ハ既往通商開始ノ交渉ガ不結果ニ終リシ原因ニ付テ、御參考ニ一一ノ證據ヲ提供シ、第三ニハ通商不開始ノ儘行クナラバ、極東將來ノ政治上ノ不安定ハ、我國ノ爲ニ益、憂フベキ結果ヲ來スモノデアルト云フ、此三段ニ分チテ事實ニ付テ申述ベテ見タイト思ヒマス（拍手）勿論政府モ此點ニ付キマシテハ、本員ト所感同ジウスルガ如ク、大連、長春ニ會議ヲ開キマシテ、通商開始ノ交渉ヲ致シマシタガ、是ハ不幸ニシテ失敗ニ終リマシタ故ニ、茲ニ本員提出スル建議案ガ幸ニ通過スレバ、是ハ即チ第三日露交渉ノ端緒ヲ開クモノデアリマス（拍手）其經濟上ノ大損害ヲ茲ニ申上ゲテ見マスレバ、大正八年我ガ出兵以來、政府直接間接ノ勸誘ノ下ニ企テラレタル西伯利全體ニ於ケル我邦人ノ企業ト云フモノガ、此通商ヲ開始セズンバ、其將來

ノ經營ハ慘澹タルノミナラズ、遂ニハ既往數箇年ノ努力ハ全ク水泡ニ歸スルト云フ有様、之ヲ事實上ニ付テ大體ノミヲ申上テ、追テ委員會ニ於テハ其詳細ヲ陳述致シタク心得マスル、其一ツハ東支沿線ノ損害デアリマス、即チ哈爾濱ヲ中心トシ、他面ニハ滿洲湖ヲ中心トシタル、沿海州ニ於ケル我ガ、邦人ノ事業ハ、製粉、製材、運糧、倉庫、油房、電氣、土木業、煉瓦、炭坑、是等ニ向テノ投資額ハ、約二千四百萬圓ニナリ居リマスガ、通商ヲ開始セズンバ、是等ノ事業ハ全滅ニ歸スルト云フ有様デアリマス、第二ハ烏蘇里線方面ヲ中心ト致シタル水田ノ損失デアリマス、大正九年度ニハ耕地面積二千町歩ニ達シ、翌十年度ニハ四千町歩ニナリ居リマス、將來米田ト化スベキ耕地ハ實ニ三百萬町歩ノ見込ニナリ居リマス、昨年ノ收穫ヲ見マス、全高ニ於テ六十萬石、隨テ市價千五百萬圓ニナルト云フ或人ノ統計モアリマスガ、水田事業ニ對シテハ、朝鮮總督府ハ非常ニ努力ヲ致シ、過般迄五萬人ノ朝鮮人ガ此水田ニ從事致シテ居リマシタ、不幸通商ノ杜絶致シタル今日ハ、此水田事業ノ絶滅ト共ニ、五萬ノ朝鮮人ハ所謂失業業者トナリ、其結果朝鮮内治上ニ向テ惡影響ヲ及ボスト云フコトハ、申上ル迄モナイト信ジマス、其三ハ御同様ニ直接間接最モ重大ナル利害關係ノ問題デアリマス、即チ沿海州一面ニ於ケル林業ノ損害デアリマス、富士製紙、王子製紙、樺太工業、日露實業、東洋拓殖、大倉、秋田木材、三井物産、其他ノ數會社ガ「アンダー」及「メルクロフ」政府ヨリ得マシタ森林伐採ノ權利ハ、約三百萬町歩ニ涉リ、而モ期限ハ二十四箇年、之ニ對シテ二百萬圓ノ納稅金ヲ致シテ居リマス、昨年ノ伐採高ハ六百萬圓デアリマスガ故ニ、二十四箇年トシテ見マスルト、茲ニ一億五千萬圓ト云フ損害ガ目前ニ起テ居ル次第デアリマス、其四ハ漁業問題、是レ最モ魚眉ノ急務デアリマスガ、此損害ハ直接ニ三千七八萬圓、間接ノモノガ一千万圓以上、加之二百四十八箇所ノ漁區及十七箇所ノ罐詰工場、之ニ從事スル漁船ハ一千隻及漁夫二萬人ト云フモノガ、此問題ニハ生活上密接ノ關係ヲ持テ居リマス、從テ萬一此漁業ガ出來マセヌトキハ、我ガ北海道ノ眼目タル函館ノ如キモ、恐クハ火ノ消エタヤウナ有様ニ陥ルカト思ヒマス、此場合漁業問題ニ付テ一言外交關係ヲ申述ベテ御參考ニ訴ヘタリ、即チ日露漁業條約ハ明治四十年ニ結ビマシテ、其十三條ニ「本協約ハ十二箇年有效ニシテ毎十二箇年ノ終ニ於テ兩締盟國相互ノ合意ニ依リ之ヲ更新又ハ改正スベキ

モノトス」トアリマス、從テ大正八年ノ七月十五日ガ其期限改訂ノ時期デアリマシタガ時偶々露國政變ノ爲ニ、我ガ政府ハ已ムナク時ノ「オムスク」政府ガ濫レテ以來十年十一年ノマシタ、然ルニ其「オムスク」政府ガ濫レテ以來十年十一年ノ二箇年間ハ所謂自由出漁ト云フ時代ニナリマシタ、所デ過般我ガ撤兵以來、勞農露國ノ勢力ガ此極東ノ「オコック」海其他沿海州ニ迄及ビマシタ結果、今年ノ自由出漁ト云フコトハ既ニ極東沿海州漁業廳ニ於テ禁止致シテ居リマス故ニ之ヲ繼續致シテ往クト云フコトニナレバ、勢ヒカゾクデヤラネバ出來ナイト云フ恐ヲ持テ居リマス、政府モ此點ニ於テハ御同様ト所感同ジクシタト見エ去ル二十日浦鹽渡邊總領事ニ命ジテ、勞農露國側ニ向テ我漁業權復活ノ交渉ヲ致サセマシタ所、殘念ナ事ニハ二十三日右沿海州漁業廳ハ入札規則ヲ公布シ、此三月二十日迄ニ契約ヲ改メナケレバ、既得權マデモ——既往ノ總テ日本人ノ權利ニ屬スルモノ迄モ抹殺スルト云フ、全ク日露漁業協約ノ精神迄モ顧ミラナイト云フ有様ニナリ居リマス、其五ハ北樺太ノ油田問題ニ付テ申述ベマス、抑モ此事業ハ大正七年ニ久原鑛業會社ガ率先致シテ巨資ヲ投ジ、外國關係ヨリシテ日本石油、三菱鑛業、大倉、此三社ヲ勸メマシテ、所謂北辰會ナルモノヲ組織シ、其後鈴木商店、三井鑛山等我ガ有數ナル實業家ガ參加致シマシテ、海軍省ヨリハ其補助金トシテ、大正九年度ニハ六十萬圓、十年度ニハ四十萬圓、十一年度ニハ五十萬圓、即チ三百五十萬圓ノ補助金ヲ與ヘ、今年モ亦之ニ相當ノ補助ヲ與フル計畫アリトカ承テ居リマス、然ル所ヘ御承知ノ米國人「シシクレヤ」會社ガ飛込マシテ、此油田問題ハ洵ニ紛糾シタル現狀トナリマシタ、要スルニ我ガ勇敢ナル實業家ガ、政府援助ノ下ニ企テタ所ノ此石油事業ノ將來ニ付テハ、目下大ナル困厄ト憂慮トニ圍マレテ居ルト云フ現狀デアリマス、其六ハ特ニ同情スベキ我西伯利引揚人ノ損害デアリマスルガ、只今是等五千名ノ同胞ガ、四千萬圓ノ損害ヲ受ケテ居ルト云フコトニナリ居リマス、此外三百四五十名ハ尚ハ滿洲ニ殘テ居リマスガ、是ハ歸ルニ旅費ナク、已ムナク其處ニ留テ居リマシテ、政府モ之ニ付テハ相當ニ救助ヲ爲スコトヲ目下考慮中デアルト云フコトヲ、過般豫算總會ニ於テ大藏大臣ガ明言セラレテ居リマス、道路聽ク所ニ依レバ、政府ハ最近一億萬圓ノ低利資金ヲ融通致シテ、大藏大臣ガ會テ其社長タリシ日露實業會社ト云フ其モノハ今日實際上利益ガ無クナリテ居ル、サウ云

ウ會社ヲ買上ゲテ、茲ニ日露通商ヲ開始セントスル意見  
 デアルト云フコトアリマス、此一億萬圓ノ低利資金ヲ貸  
 スヨリモ、モト根木問題タル此日露通商開始ニ向テ、政府  
 ガ一致ノ御同意ヲナサタラバ、日露兩國ノ經濟上ノ將來  
 ハ極メテ有望ト思フノデアリマス、其七八貿易ノ點ニ付テ一  
 言申上ゲマスガ、大正五年ニ我が輸出貿易ノ額ハ一億五  
 千萬圓ニ達シタモノガ、昨年ハタタ一千九百萬圓デアリマシ  
 タ、以上七項目ノ損害ハ一年間ニ計算致シテモ三億萬圓  
 ニナリマス、況ヤ二十四箇年ノ其權利若クハ將來ノ漁業權、  
 即チ既得權ヨリ生スベキ其利益等ヲ計算致シマスルト、實  
 ニ數億ノ巨額ニ達スルノデアル、之ニ加ヘテ政府肩擔リノ二  
 億萬圓ノ貸金及六億萬圓ノ西伯利出兵費等約十數億ノ  
 金ガ、通商ヲ開始スルト開始セザルトニ依リテ、活ルカ死ヌルカ  
 ト云フ是ガ經濟上ノ一大問題ト致シマシテ、政黨政派ノ感  
 情ヲ離レテ、切ニ諸君ノ公平ナル御考慮ニ訴ヘタイノデアリ  
 マス、幸ニ現内閣ノ首相及外務大臣モ、此日露通商開始ニ  
 對スル希望ハ、當議會ニ於テ貴衆兩院ニ向テ述ベラレテ居  
 リマスルガ、未ダ是ガ實際ニ若手セラレザルコトハ御同様、官  
 民共ニ遺憾ト思フノデアリマス、是ヨリ第二點ノ一何故今  
 日迄ニ通商開始ガ好結果ニ了ラナカタクト云フ點ニ付テ  
 御參考マデニ申上ゲマスルカラ、外務大臣モ今日ハ極メテ公  
 平冷靜ニ御考慮ニナラセテ戴キタイ、若シ本員ノ誤リアル所ハ  
 御遠慮ナク御訂正ヲ希望スル、即チ既往ニ於ケル大連、長  
 春會議ノ失敗ハ、簡單ニ一ノ事實ヲ申上ゲマスルト、相  
 互ノ意思ガ疏通デアラフ、其間ノ電報及往復公文書、是  
 等ヲ詳細ニ調査致シテ見マスレバ、結局破綻セズシテ濟ムベ  
 キモノデアルト思フ、本員ハ過般モ申上ゲマシタ如ク、長春  
 會議ノ決裂ニ對シテ、政府ハ何等發表シタ所ガナイ、依テ已  
 ムヲ得ズ實地ニ就テ人ヲ露西亞ニ派シテ研究シマシタ所ヲ  
 茲ニ一例ダケ申上ゲマス、即チ御同様ノ手許ニ頃日外務省  
 カラ配付セラレタル外務省公表集第三輯、其第三輯ノ三  
 百七十七頁ニ長春會議ニ付テ日本ト齊多トノ交換公文  
 書ヲ抄録致シテアリマスルガ、此抄録ハ七月三十一日附ヲ  
 以テ始マテ居テ、此以前ノ往復文書ハ載セテアリマセズ、  
 本員ノ得タル材料ニ依リマシテ、其以前ノ文書ヲ極メテ簡  
 單ニ御參考ニ訴ヘタイ、即チ七月十八日附山内總領事ノ  
 發シタル覺書中ニ、日本政府ハ本年十一月一日以前ニ於  
 テ沿海州ヨリ日本軍隊ヲ完全ニ撤兵スルコトニ決シ云々  
 斯様ニシテアリマス、之ニ對シテ極東共和國ノ外務大臣ノ

「ヤンソン」氏及ヒ勞農露國代表、カラハンノ連署ヲ以テ七  
 月二十五日ノ返事ニハ極東露國領地帯ヨリ相違ナク撤兵セ  
 ラレシコトヲ希望スル旨ヲ以テ満足ヲ表シタ、是ガ抑モ誤解  
 ノ原因ト思ヒマス、此以上ハ此席上デハ申上ゲマス、斯  
 ウ云フ手造ヒノ結果遂ニ決裂ニ至ラ、此決裂ノ詳細モ今  
 日ハ此處テ申シマセヌガ、畢竟露國ノ所我ガ政府ハ勞農政府  
 ノ狀態ヲ密クニセテカタクト云フ事、是ガ即チ不幸ナル日露  
 兩國ノ今日ノ關係ヲ來シテ居ルノデアリマス、ソコデ簡單ニ  
 勞農政府ノ現狀ヲ此ニ立證セザルヲ得ナイ、彼ハ五箇年ノ  
 間ニ於テ、其當時日本ガ力ヲ入レテ居テ「齊多」共和國ノ  
 如キモ消エテ煙ノ如クナリ、總テ十四共和國ヲ統一致シテ  
 茲ニ全露勞農聯邦政府ヲ確立致シ、昨年十二月三十  
 日ガ彼等ノ國祭日即チ新生レタル露國ノ國際日デア  
 而モ新經濟政策ナルモノハ、昨年一月ヨリ實行致シテ居  
 マシテ、之ニ依リ外國ノ資本及個人ノ財產權モ、或ル程度  
 ニ承認スルコトニナラ上ハ、之ヲ最も好機會ト致シテ日露  
 兩國ハ茲ニ通商問題ヲ締結スベキ好時期デハナカラウカト  
 斯様ニ確信スルノデアル、去リナカラ露國ガ過去ニ於ケル態  
 度ニ對シテハ、本員亦之ガ疑感ヲ茲ニ申サザルヲ得ナイモノ  
 ガアル、即チ彼ハ「ゼネブ」會議ヨリ海牙會議ニ至ルマデ殆  
 ド自國國家ノ法人タルコトヲ忘レテ列國ヲ驚倒セシメタル  
 所ノ其誠意ノ有無ニ對シテハ、吾々モ十分ニ研究セネバナ  
 又ト云フ一點ト、第二ハ極東方面ニ於テ「齊多」政府ガ昨年  
 十一月廢セラレタ後、沿海州革命委員會ハ、昨年十月二  
 十五日以前、即チ我ガ撤兵前ニ許可セラレタル林業、漁業  
 其他ノ利權ハ、一切無効ノ旨ヲ宣告致シテ居リマス、ソコデ  
 是ガ契約復活ヲ希望スル者ハ、二度目ノ納付金ヲ納メナク  
 レバナラヌト云フコトヲ要求致シテ居ルノ「ナラズ」、此一月  
 十六日ニハ日本カラ極東共和國領内ニ輸出シテ來  
 所ノ金屬、皮革、工業用品、燐寸、其他ノ物ヲ禁止致シテ來  
 テ居リマス、斯ウ云フ次第デアリマスガ故ニ、露國ト雖モ我  
 國ヲ誤解致シテ居ルノデアリマス、ソコデ日露兩國ガ此相  
 互ノ誤解ヲ釋ク爲ニハ通商ヲ開始スルガ先決問題デア  
 然ラズンバ既ニ露英、露伊、露佛、露米ノ接近ハ著々進行セ  
 ラレ、我國ガ一日遅レレバ一日ソツ日本ノ不利益ニナラウ  
 ト存ジマス、ト申スノハ勞農露國ハ早ク通商條約ヲ開始シタ  
 國ニハ開稅ヲ制引シテ居ルト云フ幾多ノ事實ガアリマスガ  
 故ニ、茲ニ政府ニ向テモ切實ニ本案ニ同意ヲ希望致スノ  
 デアル、即チ此通商ヲ開始スル時ニハ、右申シタ十數億ノ金

ハ、之ヲ東方ニ失ウテ之ヲ西方ニ得ルガ如ク、所謂過去四年  
 間ノ禍ヲ轉ジテ福ト爲ス、此事ガ對露政策上目下ノ急務ト  
 信ジマス、ソコデ第三、之ヲ爲サズンバ、政治上極東ノ將來ト  
 云フモノハ、極メテ不安全デアルト云フコトヲ申述ベテ置キタ  
 イ、御承知ノ如ク既ニ勞農露國ノ勢力ガ極東ニマデ及ンデ  
 來タ今日、是レ迄ハ勞農露國ニ反對シタ東三省ノ張作霖  
 氏モ、形勢ノ變化次第、或ハ恐ル其勞農露國ニ提携スルコ  
 トガナイトハ申上ゲラレナイ内情、之ニ加フルニ西伯利ニ於  
 ケル朝鮮人十六萬、並ニ滿蒙ニ於ケル八十萬ノ朝鮮人中、  
 既ニ二萬五千人ハ「ハバロフカ」「ブラゴエ」等ニ於ケル勞農  
 露國ノ爲ニ働イテ居ル、即チ我國ノ所謂不逞鮮人ト云  
 フ者ニナリ易イ、此結果ハ將來極東政情ノ動亂ハ期シテ特  
 ツベシト云フノハ、語甚ク強イカハ存ジマセヌガ、吾々トシテハ  
 十分ニ考ヘナレナラヌ、仍チ此際御同様殊ニ政府ニ向テ  
 望ム、政府ハ宜シク慮心阻懷ニ此過去ノ行懸ヲ一掃セラレテ、  
 露國ニ向テ通商開始ノ交渉ヲ開イテ頂キタイ、之ガ本案  
 提出ノ眼目デアリマス、幸ニ露國ノ全權、所謂極東全權  
 ル「ヨツフエ」氏目下來朝ヲ機會トシテ、我政府ハ非公  
 式ニモ之ト接觸シテ、彼ノ意見ヲ聽キ彼我ノ誤ヲ正シ、我ガ  
 要求スベキコトハ徹底的ニ之ヲ要求シ、互讓妥協ノ此準備  
 ハ、外務大臣ノ御手ノ裡ニアル事デアル、此以上申述ヘルコ  
 トハ本員ノ此建議案ニ對スル素志デアリマセヌガ故ニ、茲ニ  
 最後ニ之ヲ申上ゲタイ事ハ、以上本員ノ申述ハタル其大體ノ  
 趣意ニ於テ、通商開始ノ必要ニ御同意ヲ願ヒタイ、若シ夫  
 レ其手段方法等ニ至ラバ、本員敢テ茲ニ之ヲ具體的ニ申  
 述ベナイコト實ニ國家ニ對スル忠實ト斯様ニ心得マシテ、  
 切ニ列席諸君及政府ノ御同意ヲ願ヒタイ、是ガ即チ本建  
 議案說明ノ趣意デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ政府提出朝鮮私設鐵道補助法  
 中改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ム、  
 ○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ御異議アリマセ  
 ヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト下呼フ者アリ〕

○副議長(松田源治君) 御異議ナシト認メマス、依テ動  
 議ノ如ク決定シマス

○鈴木錠藏君 議事日程變更ニ關スル動議ヲ提出致シ  
 マス、即チ政府提出朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ノ  
 第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ

進メラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 御異議ナシト認メマス、依テ日程ハ變更サレマシタ、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長小山田信藏君

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年三月六日

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案委員長 小山田 信藏

衆議院議長粕谷義三殿

〔小山田信藏君登壇〕

○小山田信藏君 唯今上程セラレマシタ朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ既ニ御承知ノ通りデアリマスカラ、私ハ之ヲ略シマス委員會ニ於キマシテハ委員ト政府委員トノ間ニ幾多ノ應答ガ交換サレマシテ、其中二三大要ヲ申述ベマスレバ、朝鮮ニ於ケル私設鐵道許可ノ方針及其補助金等ニ付テ質問ガアリマシタ、朝鮮ニ於ケル私設鐵道ハ、將來國有鐵道ニ變ル性質ノモノデ、朝鮮ノ開發交通ヲ主トシテ、一面ニハ收益關係ヲ調査シ、一箇年八朱ノ補助ヲ與ヘテ、十箇年後ニ至テ尙ホ其營業ヲ繼續スルヤ否ヤヲ調査シテ許スト云フコトデアリマス、ソレカラ補助金等ニ付テハ、目下補助ヲ與ヘテ居ル會社ガ十箇所デアアル、其中間業シテ居ルモノガ六箇所、工事著手ノモノガ三箇所、未著手ノモノガ一箇所、此總資本金ガ合計九千四十万圓デアリマシテ、内拂込ガ二千七百九十万圓デ、十一年度迄ニ補助ヲ與ヘタ金額ガ四百三十五万圓、即チ一箇年五分五厘ニ相當シテ居ルト云フコトデアリマス、又私設鐵道合同ノ間題ニ付テ質問ガアリマシタ、政府ハ各私設鐵道ノ合同ヲ希

望シテ居ルト云フコトデアリマス、即チ其理由ハ散布ノ資金ヲ一ニシテ、最も有效ノ線ヨリ起工セシメテ、朝鮮開發ノ目的ヲ速ニ達シタイト云フ理由ヨリ賛成シテ居ルノデアリマス、又各植民地ニ於ケル鐵道補助ニ付テ各、相違ガアル、朝鮮ノ補助ガ一番優位ニ居ルガ、其理由如何ト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府委員ハ、總資本ノ十分ノ八五ハ約内地ニ於ケル内地人ガ出資シテ居ル、其他ハ植民地ニ居ル内地人ガ出資シテ居ル、其他ノ植民地ニ居ル内地人ガ出資シテ居ルヤウナ譯デアアルカラ、拂込ト同時ニ補助ヲ與ヘルコトニナラシメ居ル、サウ云フ關係デアルトノコトデアリマス、又朝鮮ノ鐵道網ニ付テ質問ガアリマシタ、朝鮮ノ鐵道網ニ付テハ、十一年度ヨリ凡ソ六十哩ヲ標準トシテ目下調査中デアルトノコトデアリマス、討論ニ移リマシテ、朝鮮ノ鐵道ハ遲レタトシテ更ニ進捗シテ居ラス、故ニ此法案ニ付テ希望條件ヲ附シテ、置キタイト云フ動議ガアリマシテ、即チ斯様ナ希望條件ガ出テ參リマシタ、朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及ハ統治開發上喫緊ノ要務タリ、而シテ現在ノ如ク多數ノ私設鐵道會社ノ分立スルハ其ノ目的ノ達成上極メテ不得策ナルヲ以テ政府ハ事情ノ許ス限り、合同ヲ勸說シ會社ノ基礎ヲ鞏固ニシ尙ホ財界ノ現狀ニ鑑ミ適當ノ方策ヲ立テラレンコトヲ望ム、斯様ナ希望條件ヲ提出サレシテ、之ニ對シテ朝鮮總督ハ本希望條件ニ副フヤウニ十分ニ努力スルト云フ言明ヲサレタノデアリマス、委員會ニ於テハ希望條件附テ滿場一致デ以テ可決シマシタ、此段御報告申上ゲマス(拍手)

○副議長(松田源治君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○鈴木錠藏君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り、可決確定アラントヲ望ミマス

〔賛成〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニハ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第十、岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、山田永俊君

第十 岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案(山田永俊君外二名提出) 岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案 岐阜地方及區裁判所ハ商業地區ノ中央ニ在シテ市ノ繁榮發達ヲ阻害スルノミナラス其ノ家屋ノ如キモ已ニ三十年前ノ木造建築ニ係リ防火執務等ノ不便擧ケテ數フヘカラス故ニ速ニ適當ノ地ニ移轉改築セラレムコトヲ望ム

〔山田永俊君登壇〕

○山田永俊君 簡單ニ提案ノ趣意ヲ説明致シマス、岐阜地方及區裁判所ハ、其設置當時ニ於テハ餘リニ繁華ノ所デモアリマセンダガ、市勢ノ發展スルニ伴レマシテ、近來ニ至リマシテハ商業地區ノ中心ニナリマシテ、市ノ商工業ノ發展ヲ妨ゲマスルノト、其建築ガ既ニ三十年以前ノ木造ニ係リマシテ、大分朽腐致シテ居リマスカラ、此際幸ニ適當ノ地ニ移轉改築ヲセラレタイト云フコトヲ希望スルノデアリマス、委細ハ委員會デアリマシマス、簡單ニ説明致シマス、宜シク御贊成アラントヲ希望致シマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ廣岡宇一郎君提出、辯護士法中改正法律案外三件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 鈴木君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、入學難緩和ニ關スル建議

案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——荒川五郎君

第十一 入學難緩和ニ關スル建議案(荒川五郎君外四名提出)

入學難緩和ニ關スル建議案

入學難緩和ニ關スル建議案

近時一般學生ノ入學難ハ年々逐フテ其ノ度ヲ加ヘ世間露々トシテ非難ノ聲高キモ更ニ緩和セラルトコノナク幼沖ナル彼等生徒ノ心身能力ヲ過勞セシメ爲ニ健全ナル國民ヲ養成スヘキ教育カ却テ大ニ其ノ發育ヲ害シ其ノ氣力其ノ精神ヲ消耗セシメ以テ我カ國運ノ前途民族ノ將來ニ多大ノ打撃損害ヲ招徠シツアルコト實ニ深憂ニ堪ヘス而モ亦是レ一方ニ於テハ大ニ秀才教育若ハ貴族教育ニ偏スルノ結果トナリ一般國民ノ教育ニ對スル機會均等ヲ失スルコト甚シ仍テ政府ハ之カ入學難緩和ノ應急施設トシテ將テ教育ノ公平ナル利益ヲ得セシムルカ爲ニ先ツ速ニ左ノ諸項ヲ實施シ尙進テ銳意之カ諸般ノ方策ヲ講究實行スヘシ

- 第一 在校生徒ニ非サル者ニ對スル學年及卒業検査試驗制度ヲ設クルコト
- 第二 中學校第五學年入學ヲ許スコト
- 第三 夜間中學校ヲ認可スルコト
- 第四 補助費ヲ付與シテ私立中等學校ノ改善擴張ヲ獎勵スルコト
- 第五 私立學校教員ノ恩給法ヲ制定スルコト

右建議ス

○荒川五郎君 諸君、入學難ノ問題ハ國家ノ前途、民族ノ將來ニ重大ノ關係ガアル問題デアリマシテ、又之ニ關聯シテ試驗學問ノ弊、及積年著シク教育ガ有産階級ノニナリテ居、國民一般平等ニ均霑セシムルヲ要スベキ現代ノ要求ニ背馳シテ居ルコト、並ニ開却サレタル苦學生救済等ニモ緊切ノ關係ヲ有シマスカラ、之ガ理由ヲ徹底致スニハ、勢ヒ學制ノ事、又學科組織ノ問題、及生理、衛生、能力ノ問題ニモ觸レナケレバナラヌデアリマス、併シシレハ短時間ニ能クスル所デアリマセヌカラ、今ハ問題ノ眞髓ニ直接致ス緊要ノ點ヲ、成ベク簡單ニ申述セル積リデアリマスカラ、暫ク御清聴ヲ請ヒマス、諸君、御承知ノ通り支那ハ科擧ノ制ヲ設

ケマシテカラ、試驗ニ及第シテ舉人、秀才、進士ヲ官吏ニ用井ルコトニナリテ以來、書生ハ皆試驗學問ニ偏シテ、殊ニ清朝ニナリマシテハ、全ク學問ガ形式ノ弊ニ陥リテ、唯、文學ノ研究ノミニ没頭致シタ爲ニ、支那人ノ元氣ヲ消耗シマシタコトハ多大デアリマス、又一方ニハ請託ノ不正事モ行ハルルニ至リマシテ、清朝ノ末路ハ、此科擧ノ弊ノ齎ラセル結果デアルトモ稱ヘラレテ居ル位デアリマス、併シ支那ノ此科擧ノ制ハ唯、文學文章ノ一科デアアル、ソレスラ其弊ノ及ブ所斯ノ如ク恐ルベキモノガアルデアリマス、然ルニ今日日本ノ試驗制度ハ一科二科ニ止リマセヌ、殊ニ數學ヤ外國語等非常ニ頭腦ヲ惱スモノガアリマシテ、爲ニ多クノ學生ハ皆試驗學問、即チ試驗ヲ目的ノ身體精神ノ全能力ヲ盡シマシテ、手段デアアルベキ試驗ガ目的ノ全部トナリマシテ、隨テ試驗ガ終レバ多クハ之ヲ忘レマス、一生其身ヲ處スルニ大切ナ學問ハ、唯、試驗ヲ通過スル爲メト云フ有様デ、多年ノ苦心ガ其效ヲ爲サナイノミカ、爲ニ却テ氣力精神ヲ浪費シテ、神經衰弱國、肺病國トナテ、大和民族ノ元氣日ニ銷磨シ行キツ、アル有様ハ、實ニ由々シキ大事ト思ヒマス

(松田副議長議長席ヲ退キ粕谷議長復席)

殊ニ今日中等男女學校ノ入學準備ノ爲ニ試驗競争ニ、全力ヲ盡ス有様ハ、實際關係ノ無イ人ニハ想像ノ出來ナイ程ノ有様デアリマシテ、爲ニ彼等ノマダ固マラナイ軟カイ頭腦ヲ過度ニ苦シメテ、一生ノ大切ナ發達時期ヲ殘害スルコトハ實ニ幾許デアリマセウカ、無邪氣ニ、快活ニ、ノンビリト發達セナケレバナラヌ少年ノ其發達盛リヲ殊ニ背丈ノ伸ビル大切ナ時期デアアル十三四歳ノ少年ニ過度ノ勉強ヲ強ヒテ、連續ノ異常緊張ヲ爲サシメ、精神上ノ壓迫激動ヲ與ヘルコトハ、是ハ恰モ春ノ萌エ出ル芽ヲ蹂躪スルヤウナモノデアリマシテ、實ニ精神身體ノ破壞ト申シテモ宜イデアリマス、取分ケ少女ハ丁度青春前期ノ前期ニ當テ居リマシテ、體テハ女トシテノ發育ヲ爲ス大切ナ時デアリマス、此時ニ於ケル過勞障害ハ一生涯ノ不幸ヲ醸スコトガ決シテ少クナイデアリマス、又教育其者ノ方面カラ見マシテモ、今日ハ試驗萬能ノ教育タル觀ガアリマシテ、試驗サヘ通過スレバ宜イト云フ有様デアリマスカラ、自然ニ目的ノ爲ニハ手段ヲ擇バナイト云フヤウナ惡弊モ生ジマス、一時的ノ僥倖心ヲ唆ツクリ、或ハ投機的ノ陋劣ナ氣分ヲ作り、又受験學科ノミニ全力ヲ盡シテ、他ノ多クノ學科ヲ犧牲ト致スヤウナ弊モ生ジ、甚シキハ受験中ニ不正ナ事ガ行ハレマシテ、現ニ警告ヲ受ケタリ、退

場ヲ命ゼラレタリシタ例ハ少クナイデアリマス、殊ニ又中ニハ父兄カラ暗中飛躍ガ行ハレテ醜聞ガ傳ヘラレ、又試験問題漏洩ト云フヤウナ忌ムベキ噂スラ屢、立テラレルデアリマス、實ニ今日ノ試驗選拔法ハ全ク國民精神ヲ破壞ヲ致ス有様デアアル、彼ノ支那ノ科擧ノ弊デアアル形式ノ學問ト請託ノ不正事、此ニツナガラ我が日本ニ行ハレ往クカト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、洵ニ憂フベキ大事デアリマセヌカ、惜テ斯クシテ學科試驗ニ選拔セラレテ其合格シテ者ハ、果シテ眞ノ秀才デアアルカト申スノニ、一時的請託請誦ノ知識ノ者ガ多クハ及第致シマスカラ、案外彼等ハ底力ノ無イ一時的當座の、或ハ輕薄ナ小才子ナドガ多ク及第致シマスカラ、是等ハ漸々成績ハ落チテ來マス、決シテ秀才ヲ得ルコトハ出來ナイ場合ガ多イデアリマス、且ツ斯様ニシテ斯ル請託的智育ノミニ偏シテ、德育情操ノ方面ヲ關却致シマシタ結果ハ、自然ニ青年ノ氣性ガ功利的トナリマシテ、又益々青年ノ競争心ヲ過度ニ刺激致シマスガ爲ニ、自然ニ神經衰弱トナリ、神經過敏トナテ、自ラ陰鬱ナ青年ト化シ、又猜疑心、嫉妬心ヲ起サシメ、投機心ヲ養ヒ、極端ナ性癖ヲ生ゼシムル等、幾多ノ弊ヲ醸シマシテ、爲ニ教育ハ殺殺デアルトカ、殺人教育、學校亡國等ノ悲哀ナル極言ヲ爲ス人スラアルデアリマス、諸君、國家ノ盛衰民族ノ弛張ハ、青年ノ元氣ノ消長ニ在ルト云フコトハ申スマデモアリマセヌ、然ルニ激烈タル青年ノ精神氣力ヲ浪費シ、銷磨セシメテ、將來ノ國民ノ活力ヲ大ニ減ジマシテ、又一方ニハ入學ヲ排斥セラレタ落第生ハ、或ハ不良少年ニ陥リテ、社會民人ヲ毒スル等、是等國家將來ノ能率ヤ組織ニ、恐ルベキ缺陷ヲ生ズルコトニ想ヒ到リマセバ、實ニ戰慄ヲ禁ズル能ハザル次第デアリマス、而シテ是ハ何所ニ原因スルト申シマスレバ、普通教育ハ申スマデモナク、個人ヲ社會生活、又ハ國民生活ニ適應セシムル手段デアリマシテ而シテ、中等教育ハ普通教育ノ延長デアリ、且ツ人格ノ基礎教育トシテ、當然一般ニ要求サレテ居ルモノデアリマス、又世間總テノ方面ニ於テ、官廳デモ會社商店デモ、教育ヲ受ケテ中等學校ヲ卒ヘナケレバ、一人前ノ人ト看做サナイ有様デアリマシテ、男子ハ中學ヲ卒業シナケレバ會社銀行ニ入ルコトモ出來ナイ、女子ハ高等女學校ヲ經ナケレバ嫁入ルコトモ出來ナイト云フヤウナ有様デアリマス、然ルニ彼等ノ希望ヲ容レル學校ハ、非常ニ今日不足シテ居リマスカラ、入學難ト之ニ伴フ餘弊ハ實ニ已ムヲ得マセ又、例ヘバ電車ガ僅ニ二三分待テバ乗レルノニ、多クハ推讓

モ徳義モナク、人間性ヲ忘レテ、野獸ノ如ク人ヲ押退ケテ  
 乘ルヤウナ有様アルマス、況ヤ學校ニ入ルノハ一度間  
 違ヘバ一年二年ノ長キ間後レルノデアリマス、甚シキハ  
 一生取殘サレト云フ不幸モアリマスルカラ、自然  
 入學競争ハ激甚ニナルト云フコトハ已ムヲ得ヌノデア  
 リマス、然ラバ之ヲ緩和スル方法ハナイカト申シマス  
 ノニ、決シテサウデナイ、確ニアルト思ヒマス、今其中ノ主ナル  
 モノヲ申シマスレバ、第一ニ私立學校ヲ保護獎勵シテ其改  
 善ヲ圖ルコト、第二ニ夜間中學ヲ認可スルコト、第三ニ校外  
 獨學ノ便ヲ圖ルコト、是等デアラウト思ヒマス、今此三項ニ  
 付テ其要旨ヲ説明致シマス、第一私立學校ヲ保護獎勵シ  
 テ其改善ヲ圖ルコト、政府ハ私立學校ヲ度外視シテ其改  
 善ヲ圖ラナイバカリカ、或ハ之ヲ厄介視シ、又甚シキハ之ヲ  
 敵視致シテ、恰モ不逞日本人デモ造ルカノヤウニ考ヘラレタ  
 カト思ハレル時代モアッタノデアリマス、勿論多クノ卒業生ノ  
 中ニハ自然毛色ノ變テ者モ出マス、政府ハ私學ヲ壓迫致  
 シマスカラ、彼等ハ一切政府ノ御世話ニナラヌ、自分ノ獨立  
 獨行デアルト云フヤウナ其氣風ガ、官僚氣質ノ政府ノ人ニ  
 ハ厄介ニ感ゼラレタカ知リマセヌガ、是ハ甚シキ官私ノ差別  
 ヲ爲ス、政府者ノ激成スル所ト申シテモ宜イノデアリマス、  
 況ヤ今日ノ私學ハ國家一日モ缺クベカラザル必要ノ機關  
 トナテ居リマス、例ヘバ此東京帝都ノ中デアリマス、中等學  
 校ノ數ハ公立ハ中學ガ七ツ、高等女學校ガ四ツ、合セテ十  
 一校デ、私立學校ハ中學校ガ三十五、高等女學校ガ三十  
 七、合セテ七十二校アル、公十一校ニ對スル私七十二校デ  
 アル、サウシテ其收容シテ居ル生徒ノ數ハ、私立ハ殆下公立  
 ノ九倍ニモ及ンデ居ルノデアリマス、此最モ大切ナル帝都ノ  
 中等教育ハ、殆下私立ニ依テ行ハレテ居ルト申シテモ宜イ  
 位デアリマス、若シ此七十二ノ私立學校ヲ取去クナラバ、  
 東京ノ教育界ハ全ク暗黒ニナルト申シテモ宜イ、我が國民  
 中堅ノ大切ナル教育ガ、斯様ニ私學ニ負フ所ハ實ニ多大デ  
 アリマス、然ルニ公立ノ學校ニ對シテハ色々ノ優待モ致シ、  
 特典ヲ與ヘテ居ルノニ反シテ、私立ニ對シテハ全ク度外シ  
 閉却サレテ居リマス、例ヘバ公立ノ教員ハ恩給モ與ヘラレ、  
 上進ノ途モ開カレ、位階勳等ノ名譽ノ點モアリマス、又經  
 歴ニ應ジテハ無試験檢定ノ利益モ與ヘラレル、之ニ反シテ  
 私學ニハ是等何物モ無イノデアリマス、隨テ教員ハ我勝ニ  
 公立ニ轉ジヤウトスルノハ已ムヲ得ヌ事デアリマシテ、爲ニ自  
 然私學ニハ良教員ヲ得難イ結果トナルノデアリマス、而シテ

私立ハ常ニ利息ヲ要スル資本ニ依テ建テ、行クニ反シテ、  
 公立ハ何時デモ自由ニ使ハレル只ノ金ヲ以テヤテ居ル、而  
 モ其金ハ歩合カラ言ウタラ、私立ノ父兄ガ多ク出シテ居ル  
 稅デアアルノデアリマス、公立ガ完全ニ近イノハ是ハ當然以上  
 ノ事デアリマシテ、隨テ多クノ學生ハ競ウテ僅々少數ノ公  
 立ノ門ニ蟬集致シマスルノハ當リ前ノ事デアリマス、爲ニ一  
 層入學ノ競争ヲ激甚ナラシムルノデアリマス、是ハ之ハ私立  
 ヲ厄介視シテ、之ヲ壓迫シタ哲イ思想ノ流レガ今ニ去ラヌ  
 餘弊デアリマシテ、國運ノ進歩ノ爲ニ甚ダ遺憾ト致ス所デ  
 アリマス、時代ハ常ニ進轉シテ止ミマセヌケレドモ、人ハ勤モ  
 スレバ時代ニ取殘サル、嫌ガアリマスル、併シ録田文部大臣  
 ハ自ラ私學ヲ經營セラレテ居タノデアリマスシ、過日貴族  
 院ニ於テ官學萬能ノ露西亞ハ今日ノ如キ哀レナル有様ニ  
 ナラデ居ルニ、私學全盛ノ英米ハ現在ノ富盛ヲ致シテ居ル云  
 云ト、大ニ私學ニ諒解アル言モアリマシタ、大臣ガ私學ニ斯  
 ル諒解ヲ持テ居ラル、コトハ、我が國家教育ノ爲ニ喜ブノ  
 デアリマシテ、何卒政府ノ態度トシテハ、速ニ此公私ノ差別  
 ヲ撤廢スルト云フ精神ノ下ニ、私學ヲ保護シ、獎勵シテ、之  
 ヲ助成シ、又改善セシメテ、公平平等ノ教育ヲ一般ニ受ケ  
 得セシメルヤウニ、各學校ヲ齊一ニ發達サセルト云フコトニ  
 ナリマス、自然入學志望者モ我が入學スベキ學校ヲ選ブ  
 ト云フ念慮ガ薄ラギマシテ、甚シキ其競争ノ困苦ヲ和ゲテ、  
 國民一般ガ平等ナル教育ニ均霑セシムルノ效果尠クナイト  
 思フノデアリマス、諸君、鐵道ヤ船舶ヤ、其他或種ノ事業ニ  
 對シテハ初メカラ國庫ヨリ補助利子ヲ與ヘタリ、或ハ助成  
 金ヲ出シタリシテ、之ヲ勸誘獎勵致シテ居リマス、事業スラ  
 サウデアリマス、況ヤ最モ大切ナル人ヲ造ル此教育ニ對シテ  
 ハ、ヨリ以上ニ力ヲ加フベキコトガ當然デアリマセヌカ、又國  
 防ノ爲ニハ軍縮平和ヲ唱ヘララル、今日デスラ、尙ホ四億  
 八千餘萬圓、五億ニ近イ巨額ノ費用ヲ投ジテ客マヌデアアリ  
 マセヌカ、凡ソ國家有用ノ事業ト申シテモ、所謂事業ノ陸ニ  
 ハ人在リデアリマス、人無クテ何ノ事業ガ、學デラレマセウカ、  
 又國防ガ大事ト申シテモ、國防ノ第一線ニ立ツノハ人デア  
 アリマセヌカ、人ヲ造ル教育ニ先ヅ其力ヲ用井ベキガ第一ノ  
 要義ト信ジマス(拍手)是レ建議案ノ第四項ニ述ブル私學  
 ノ保護獎勵ヲ必要ト致ス所以デアリマス、今ヤ市町村ノ義  
 務教育ニハ四千萬圓ノ國費ヲ出シ、又私立大學ニモ國家  
 カラ補助金ヲ出シテ居リマス、然ルニ其中間ノ中等學校ヲ  
 顧ミナイト云フコトハ如何デアリマセウカ、今日私立ノ教員

ハ名譽特待ノ恩典モ無ク、俸給モ低イ上ニ、一身ヲ捧ゲテ  
 重職ニ盡シナガラ、老後ノ保障モ得ラレナイト云フコトハ、  
 如何ニモ殘酷ノ至リデアリマス、均シク國家國  
 民ノ教育ニ從事シナガラ、此多大ノ懸隔差別アルコト  
 ハ、大正聖代ノ一瑕瑾ト申シテモ宜イト思フノデアリマ  
 ス(拍手)故ニ此差別的舊思想ヲ去テ、私學ノ教員ニ  
 モ相當ノ年功經歷ヲ積ンダ良教員ニハ資格ヲ與ヘ、  
 恩典ヲ與ヘラレタイ、殊ニ最モ希望スベキハ私學ノ恩給制  
 度デアリマス、安シテ其職務ニ全精神ヲ傾倒セシムル途ヲ  
 開クコトガ最モ必要ト思ヒマス、ソレニハ政府直接ニ教員ニ  
 恩給ヲ給與スルコトガムツカシイケレバ、私立學校又ハ其聯  
 合ノ團體ニ恩給法ヲ設ケサシテ、其基金ニ對シテ政府並ニ  
 地方ヨリモ補助スルト云フコトニセラレタラ宜カラウト思フ、  
 斯クシテ私學ノ向上改善ヲ圖リ、公立私立ノ内容ノ平均ヲ  
 得セシメルト云フコトハ、入學志望者ノ勞苦困難ヲ減ズルノ  
 效ハ少クナイト思ヒマス、是ガ建議案第五項ニ私學恩給制  
 度ヲ設ケテ之ヲ實施セシムルコトヲ急要ト致ス次第デアリマス、  
 凡ソ公立私立其長短ヲ申セバ、公立ハ建物ヤ其他器械設  
 備等ガ完全デアリマシテ、教員モ多ク揃ウテ居リマスカラ、規  
 則立テ教育、屈イテ教育ヲ爲スノハ勿論公立ノ利益長所  
 デアリマス、併シ公立ハ多ク只ノ金ヲ使ウテ是等設備ノ事ニ  
 ハ心配ガ要リマセヌカラ、自然唯々當リ前ノ事ヲ當リ前ニ  
 スレバ宜イト云フ感ジモアリマシテ、動トモスレバ精神的ニ努  
 力スルト云フ氣性ハ拔ケ勝アル、勿論是ハ人ノ問題デアリ  
 マシテ、中ニハ非常ニ優レタ公立ノ學校モアリマシテ、一概ニ  
 ハ申サレマセヌケレドモ、此點ハ多ク公立學校ノ陥リ易イ弱  
 點デアルト思ヒマス、然ルニ私學ハ其設備ノ内容ニ不足不  
 完全ノアルノハ已ムヲ得マセヌケレドモ、何トカシテ之ヲ盛ニ  
 ナラシメナケレバナラヌ、之ヲ盛ナラシメルニハ、良イ生徒ヲ出  
 サナケレバナラヌ、斯ウ云フ教職員ガ不斷ノ努力心、緊張シ  
 タル奮勵心ハ、知ラズ識ラズノ間自然彼等學生ニ大ナル感  
 化ヲ與ヘテ、彼等ヲシテ努力ノ精神ヲ養成シ、勇往ノ氣性  
 ヲ作興セシムルコトハ、是レ私學ノ得難イ特長デアリマス、申  
 スマデモナク教育ノ眼目ハ精神ニ在リマスカラ、如何ニ宏壯  
 ナ、立派ナ學校デモ、魂ガナクテハ眞ノ學校デハナイノデアリ  
 マス、學校ガ富者のデアリ、有産階級のデアリ、此公立ノ中  
 ニモ、是等其設備ト又其精神ノ方面ニモ傑出シタモノモ隨  
 分アリマスケレドモ、併シ私學ノ此特長ハ最モ重要視スベキ  
 所デアリマス、我が維新興國ノ元氣ガ松下村塾ヤ、城山私

學カラ出タト云フコトニ鑑ミマシテモ、私學ヲ助成スルト云フコトハ洵ニ國運ノ進展ニ大切ナ事デアリマスカラ、右第四項第五項ノ速ニ實行セラレンコトヲ切望スルノデアリマス、第二ニ夜間中學ヲ認可セラレタキコト、東京デ申シマシテモ若シ東京ノ中學ニ夜間學校ヲ認可セラレタナラバ、一市内ノ全部デナクモ六七分ノ學校デモ夜間中學ヲ開クニ至ラタナラバ、入學難ハ非常ニ減ズルノデアリマス、世間ニハ夜間中學ヲ開イテモ、晝間ヲ希望スル者ガ多イカラ其效ハ少イト云フ人モアリマセウ、勿論晝間ノ學生ガ多イノハ申スマデモナイノデアリマスカラ、全部開ク必要ハアリマセウケレドモ、今日ハ夜間中學ガ無イ爲ニ已ムナク夜間勞働等種々ニ工面ヲ致シテ、晝間學校ニ通テ居ル者モ少クナイノデアリマス、又夜間ハ時間ヤ其他ニ於テ不便不足ガアルト云フ人モアリマス、文部ノ當局者モ此邊ニ懸念セラレルト承テ居リマス、勿論夜間ハ晝間ニハ及ビマセウ、併シ不十分デモ更ニ教育ヲシナイヨリハ、之ニ多少ノ不足ガアルテモ、彼等ノ志望ヲ満足セシメテ、一人前ノ教育ヲ受ケシムルト云フ途ヲ開クト云フコトハ必要デアリマセウカ、一體今日此教育ニ當テ居ル當局ノ人ハ、多クハ有産階級ノ人デアリマシテ、唯、規則的ニ自然ノ順潮ヲ逐ウテ卒業シテ、又現ニ其途ニ進ミ、ツアル人デアリマスカラ、多クハ貧者苦學ノ味ヲ解セズ、且ツ自分ノ經歷ヤ境遇ニ囚ハレル傾キガアリマシテ、往々ニシテ插ノ半面ヲ閉却致シテ、實世間ノ實際ニ觸レナイ憾ミガアル、夜間中學ヲ危ブムノモ其一例キ思ヒマス、凡ソ物質ニ重ヲ置キマス者ハ、其ノ反動トシテ精神ノ方面ガ萎靡スルトハ自然ノ傾デアリマス、故ニ有産階級ノ子弟ハ多クハ羸弱無氣力デアリマスカラ、困難ナル學問ヲ能ク咀嚼シテ大ニ向上シヤウト云フ勇氣ガ乏シイノデアリマス、隨テ學問ニ趣味ヲ持タナイ、知識ヲ愛サヌ人ガ多イカラシテ、其勉強ハ無理強ヒノ傾ガアルノデアリマス、謂ハ、他力學問、他動勉強アルノデアリマスカラ、彼等ニ對シテハ晝ノ間都合ノ好イ便利ノ時ニ機嫌ヲ取テ、サウシテ大切ニシテ之ヲ勉強サスヤウニ保護スルノ必要モアリマスカラ、斯ル順境ノ富者、温室ノ勉強シテ來タ者ニハ、晝間働イテ夜間勉強ナドハ思ヒモ及バズ事デアリマスケレドモ、眞ニ學問ヲ愛好スル者ハ、決シテ晝ノ疲レヲ意トセズニ、愉快ニ晝ノ勉強ヲイソシムノデアリマス、隨テ晝間學生ニ要スル程ノ時間モ要ラナイイ濟ム者ガ少クナイノデアリマシテ、夜間ガ少々不便ナ位ノコトハ、洵ニ問題デアリナイノデアリマス、一體日本人今日ノ學問知識ハ、多

クハ實際ニ觸レテ居ナイ憾ミガアルノデアリマス、實際ニ觸レ經驗ニ基イテ知識デナクテハ確實デアリマセウ、此點ニ於テ苦學生ハ日々實世間ニ觸レテ、經驗ニ基イテ活キタ知識ノ所有者デアアル、活用ノ方ハ此處カラ出ルノデアリマシテ、苦學生ノ尊ブベキハ實ニ此點ニ在ルノデアリマス、國家ガ官學ニ費スルノ費用ヲ計算致シタナラバ、一人當リ何程ニナリマスカ、中ニ高價デアアルト思ヒマス、此要スル國費カラ考ヘテモ、獨立獨行自己ノ力ヲ以テ其前途ヲ開拓スル彼等苦學生ノ力ハ、國家ニ於テ十分認メナクテハナラナイ、是ガ即チ夜學學校ノ必要アル所以デアリマシテ、現ニ此東京ニ於テハ中學デアリマセウ、小學校ニ於テモ夜學教授ヲ致シテ居ル、小學校ノ五年六年ニハ既ニ今日實際實施致シテ居リマス、當ニ五年六年バカリデアリマセウ、年長ノ者ニハ特ニ一學年カラ夜間速成教授モヤテ居ルノデアリマス、大切ナ義務トスル小學校教育スラ既ニ夜間教授ヲ認メテ居ルノデアリマス、又七年制ノ高等學校ノ後ノ半分ハ大學豫科デアリマス、其大學豫科ニハ現在ノ普通中學ノ五年ヲ含シテ居ルノデアリマス、此普通中學五年ヲ含シテ居ル大學豫科ニハ、今日現ニ夜學ヲ許シテ居ルノデアリマス、然ルニ其七年制ノ前ノ半分デアアル普通中學ニ之ヲ許サスト云フノハ、其理由ヲ爲サナイト思フ、下ハ小學校ニ許シ、上ハ大學豫科ニ許シテ居ル以上ハ、其中間ノ中學ニ夜間ヲ許スト云フコトモ、是何等妨ゲナイ事デアリナイカト思フノデアリマス、殊ニ此市ニ近キ大森ニハ夜間ヨリモ困難トスル曉間學校ヲ開イテ居ル、朝ノ五時カラ五年生六年生ヲ集メテ、曉間教授ヲ致シ居ルアラアルノデアリマス、是等ニ鑑ミテ見マシテモ、夜間中學ヲ許シテ、サウシテ彼等ニ苦學修養ノ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、最モ時宜ニ適スルコト、思ヒマス、當ニ夜間中學許リテハナイ、今日ハ既ニ夜間高等女學校ヲモ許サレテ宜イコト、思フノデアリマス、是ガ建議案第三項デアリマス、第二ニ校外獨學ノ便ヲ開イテ貰ヒタイ、凡ノ富豪貴族ノ子弟ハ、多クハ意思ガ弱イ、氣力ガ無イ、ソコデ學問ニ精勵努力スル精神ガ乏シイ、隨テ是等ノ中カラ多ク人物ヲ輩出スルコトハ困難デアリマス、又貧者下級ノ者ハ、身體ノ強壯ナ有爲者モアリマスケレドモ、學問ノ進路ヲ塞ガレテ居リマス、ソコデ向上進歩スルコトガ出來ナイ、今日ノ此有様ハ、有産階級モ進ミ得ズ、無産階級モ進ミ得ナイト云フヤウナ有様デアリマス、斯ル現狀ハ民族ノ發達進歩ノ爲メ、甚ダ遺憾ト致ス所デアリマシテ、與國ノ氣運ヲ盛ナラシムルト云フコト

ハ、實ニ此邊ニカヲ用フル必要ガアルト思フノデアリマス、故ニ先ツ彼等實際の經驗ニ基礎ヲ有スル確實ナ知識ノ所有者デアアル強壯有爲ノ苦學生青年ニ進學ノ便利ヲ開クノハ、最モ必要ノ急務ト思ヒマス、今日中學ノ四年マデニハ編入ヲ許シテ居リマス、新ニ外カラ這入ルコトヲ許シテ居リマスガ、既ニ四年ニ許ス以上ハ、彼等ニシテ一年間ノ勉強ト費用トヲ有スル者ニハ、第五年ニモ編入ヲ許サレルコトガ宜イト思フ、又一年モ這入レナイ、更ニ入學ノ餘暇ヲ有シナイト云フ者ニハ、彼等ガ勞務ノ傍ヲ勉強シテ得タ知識ノ進歩ヲ試驗シテ彼等修學ノ便利ヲ與ヘテヤルト云フコトハ、最モ彼等ニハ必要ナ事ト考ヘマスカラ、彼等ノ希望ニ依テ各學年ノ檢定試驗ヲ施行致シテ、又卒業試驗ヲ受ケ得ラ、ヤウニ致シタイノデアリマス、現ニ專門學校入學志願者ノ爲ニハ、其試驗檢定ノ制度ガアリマスケレドモ、晝ノ間順序ヲ履ンデ年々進級シテ行クノデスラ、相當ニ困難ナル學科ヲ、勞働ノ餘暇勉強シテ者ニ對シテ五箇年ヲ一度ニ試驗ヲシヤウト云フコトハ、是ハ極メテ酷デアリマス、拔群ノ秀才デナクテハ多クハ合格スルコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ寧ろ檢定試驗ト云フヨリモ、拒絕試驗デアアルト言ハレテ居ル位デアリマス、仍テ彼等ノ進歩ニ應ジテ各學年ノ力ヲ順次ニ年々逐ウテ檢定シテヤル、サウシテ卒業モ出來ルヤウニシテヤルト云フコトハ、彼等學業ニ熱心ナル獨學力行ノ士ニ對スル極メテ深切ナル態度ト思フノデアリマス、是ガ建議案第一項、在校生徒ニアラザル者ニ對シテ、學年並ニ卒業ノ檢定試驗ヲ施行セラレタイ、又中學五年ニモ編入ヲ許サレタイト建議案第一項第一項ニ掲ゲテ希望スル所デアリマス、諸君、今日學校萬能ノ論者ハ、建物ノアル校舍デナクテハ教育ガ出來ナイヤウニ考ヘル人モアリマスケレドモ、教育ハ決シテ學校ノミデアリナイ、實際ノ勞務、業務、出入、進退、應對、行動皆教育デアアル、否是等ハ寧ろ學校教育ヨリモヨリ以上ノ實際の活キタ教育デアアル、學校教育ハ其活キタ學校實際教育ノ眞似トモ言ヒ得ルノデアリマス、故ニ學校教育デナクテハ教育ハ出來ナイト斯ウ考ヘルノハ間違ヒデアリマスカラ、彼等ニ檢定制ヲ許シテ校外勉強ノ便ヲ與ヘタイ、現ニ今日中等並ニ小學校教員ノ檢定試驗ト云フモノモアルノデアリマス、中學ハ本人一人ノコトデアリマスカ、教員ハ其人ニ止ラナイデ、身ヲ以テ人ノ模範トナルベキ大切ナ地位デアリマスカラ、學科ヨリモ人格ヨリモ才能ヨリモ品性ニ重キヲ置カンレバナラヌ、又隨テ教員コソ師範學校ニ入レテ訓



私ハ信ズルノデア、併ナガラ考ヘルコトハ考ヘルケレドモ、之ヲ實行セザルノ國民デアルト云フコトヲ私ハ深く遺憾ニ感ズルノデアリマス、何ボ善イ事ヲ考ヘテモ、之ヲ實現セザレバ其效果ト云フモノハ現レヌノデアリマス、ソレデ私ハ斯ノ如キ小問題ヲ提ヘマシテ、諸君ノ御賛成ヲ得タイト云フノハ、所謂古語ニ在ル所ノ鶴ヲ養フノ心ハ五更ノ天ニ在ルト云フ言葉ガアル、斯ノ如キコトハ我國ニ於テ考付ニナラヌ人ハナイ、所謂考ヘテ居ラレケレドモ、此實行ヲ躊躇サレテ居ル、諸君ノ建議案ガアリマスケレドモ、之ヲ實現セント欲スレバ國費ガ多大ニ掛ラントレバ、其實現ガ出来ヌ事ガアル、併シ此土坡利用ノ如キハ政府ノ金ヲ一文モ使ハヌデ宜シ、唯ニ適當ナル方法ヲ以テ、少シモ鐵道ノ通行ニ差支ノナイヤウナ方法ヲ以テ、サウシテ其地方ノ青年團體ナリ農會ナリニ貸下ゲテサウシテ其利用ノ途ヲ開カセルト云フコトヲ致シサヘスレバ、私ハ數年ナラズシテ其效果ヲ學得ル問題ト信ズルノデアリマス、何卒諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木錠藏君 本案ハ矢野丑乙君外三名提出、八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ、併セテ付託セラレントヲ望ミマス

(贊成「下呼フ者アリ」)

○議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス—日程第十三、東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス—提出者有馬秀雄君

第十三 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外二名提出)

東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案

東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案

東京帝國大學農學部實科ハ駒場農學校創立以來既ニ三十有餘年此ノ間卒業生ヲ出スコト實ニ二千六百餘ニ及ヒ我カ産業界ニ貢獻セルコト頗ル大ナリトス然ルニ政府ハ盛ニ各地ニ專門學校ヲ創設シ或ハ既設專門學校ヲ昇格シ又ハ研究科ヲ附設スル等専ラ高等教育機關ノ擴充ヲ圖リツツアルニ拘ラス獨リ此ノ歴史アリ且功績顯著ナル實科ニ對シ何等ノ考慮施設ヲ加ヘサルヲ遺憾トス故ニ政府ハ速ニ東京帝國大學農學部實科ヲ同所ニ於テ分離シ之ヲ獨立シタル專門學校ニ改定セラレムコトヲ望ム右建議ス

○有馬秀雄君 只今議題トナリマシタ建議案ノ説明ヲ致シマス、本案ハ既ニ第四十四、第四十五議會ニ於キマシテ、委員會ハ勿論ノコト、本會ヲ滿場一致ヲ以テ通過致シマシタル案ナルガ故ニ、諸君ハ本案ニ付テ深キ同情ヲ持タレテ居ルコトト信ジマスルガ故ニ、更ニ今日説明ヨスル必要ハ無イト思ヒマスケレドモ、文部當局ニ於テ本案ニ付テ何等ノ注意ヲ拂ハレザルノミナラズ、近頃灰聞スル所ニ依リマスルト、大學ノ教授會ニ於テ、此實科ヲ廢止シ、或ハ極ク新シク出来マシタ學校ニ併合シテ見ヤウト云フヤウナ噂ガアルコトヲ聞キマス、故ニ聊カ説明ヲ致シテ置キタイト思フ、抑モ此實科ナルモノハ、四十年前ニ駒場農學校ニ簡易科ノ名稱ヲ以テ初メテ設置セラレマシテ、其後乙科トナリ、又現在ノ實科トナテ、改稱每ニ程度ハ向上致シマシテ、現在ニ於テハ專門學校ノ程度ニ進ンデ居リマス、其卒業生ハ既ニ二千六百餘名ノ多キニ達シテ居リマス、其卒業生ナルモノハ、實際ノ技能ヲ有シテ居ル、實科ナルモノハ平素實習ヲ重シテアルガ故ニ、實地ノ技能ヲ有シテ居ル故ニ卒業生ハ殆ド全ヤ全國ニ蔓延リマシテ、大林區署或ハ農事試驗場等ニ奉職致シ、實地ノ事ニ活躍致シテ居リマス、隨テ我農業界ヲシテ今日ノ程度マデニ向上發展セシメタルコトニハ、此實科ノ卒業生ガ與テカガアルト云フコトハ斷言シテ憚ラナイ、政府ニ於テモ此功績ノアルコトハ確ニ認メラレテ居リマシテ、昨年ノ委員會ニ於テ言明サレテ居リマス、然ルニ先ニ申上ゲマシタ通りニ、功績アルニ拘ラス其學校ノ待遇ハ如何ト申シマスルニ、單ニ專門學校令ニ准ズルト云フ日蔭者ノ扱ヲシテアル、獨立ノ學校ト認メラレテ居リマセヌ、其經費ノ如キモ、農學部ヲ切離サズ混同サレテアルガ故ニ、常ニ農學部ノ改良施設ニ多ク費サレテ、其實科ニ振向ケラレルモノハ、誠ニ僅少デア、隨テ御承知ノ通りノ日進月歩ニ順應スルダケノ改良施設ガ出来マセヌノヲ、吾々ニ於テ大ニ遺憾トスル次第デア、之ニ反シマシテ其後新設サレマシタ專門學校、農林學校ノ如キハ、獨立ノ經費ヲ有シテ居ルガ故ニ、常ニ改良施設ヲ致シマシテ益、向上スル半面ニハ、此實科ハ何等ノ經費ヲ用ヒザルガ故ニ、益、低下致シマシテ、折角是迄贏チ得タル名聲ヲ墜スヤウニナルノヲ洵ニ憂フルノデアリマス、先年高等農林學校ノ増設、即チ各所ニ之ガ出来マシタ際ニ、此實科ハ當然獨立サセテ戴ク善デアリマシタガ、又政府トシテモ當然獨立サセラルベキモノデアタト思ヒマス、併シ其際ハ入學難

ヲ緩和スルノガ目的デア、即チ收容カラ増加スルノガ一大主眼デアリマシタガ故ニ、在來ノ學校ヲ完全ニスルヨリモ、寧ロ新ニ一校デモ増シタ方ガ目的ニ副フ所以デ、此實科ハ顯ミラレナカタノモ、已ムヲ得マセヌガ、併シ其計畫ハ既ニ一段落ヲ告ゲ、今ヤ昇格案ヲ政府ニ於テモ提出シテ居ル以上、當然ノ歸結トシテ此實科ノ改善施設ヲ致サルベキモノナリト信ズルノデアリマス、若シ夫レ之ヲ廢止シ、或ハ之ヲ何レカノ學校ニ合併スルガ如キコトハ、是ハ私ハ一ノ風説トシテ、何等カノ誤傳デアラウト信ズル、何故カナレバ前ニ申上ゲマシタ通り、最モ舊キ歴史ヲ有シ、而シテ其卒業生ハ此農業界ニ多大ノ貢獻ヲ致シテ居リマス、其母校ヲ何等ノ謂ハレナク之ヲ廢止シ、或ハ又四百ノ現在生徒ガアルニ拘ラズ、ソレヲ最モ新ラシキ學校ニ之ヲ併合センムル如キ事ハ、是ハ到底出来ナイ事デ、又二十歳前後ノ現在ノ元氣横溢致シテ居ル生徒ガ、ソレ等ノ施設ヲ甘シテ承諾シナイト云フコトハ、分リ切タ話デアラウト思ヒマス、此噂ガア、テ、或ハ廢止、或ハ新設ノ學校ニ合併ノ噂アルヤ、卒業生ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ取ツタカト云フト、忽チ會合致シテ、斯ノ如キ事ハ忍バントシテ忍ビ能ハズト絶叫致シマシテ、在學ノ學生ハ會議ヲ開キ我等ハ死ストモ駒場ヲ去ラズト決議致シマシタ、惟フニ此政府當局ニ於テモ、此實科ナルモノハ何時ノ時代ニカ何等カ致サナクテハナラヌト云フコトハ、考慮サレテ居ルモノナリト信ズル、若シ果シテ考慮セラレテ居リマスレバ、是ハ一日モ早キヲ良シト思フ、卒業生ハ年々此獨立計畫ノ爲ニ幾多ノ勢力ト幾多ノ費用ヲ消費シ、又實科ヲ受持テ居ラル、教授連ハ、イツ何時廢セラレ、イツ何時何レニカ持ッテ行カレヤウナ學校生徒ニ對シテ、當然ノ結果トシテ精力ヲ傾注シテ教授ヲ致サレマセヌ、在學生ハ是亦存廢不明ノ學校ニ於テ安ジテ學術ノ研究ニ專念ナルコト能ハズ、何レノ方面ヨリ觀察シテモ、百害アリテ一利一益ガアリマセヌ、教育上一日モ看過スベカラザル重大問題ト思ヒマスガ故ニ、茲ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、滿場ノ諸君、本案ニ御賛成下サレルト同時ニ尙ホ一步ヲ進メ下サレマシテ、本問題ノ解決實現ニ一臂ノ力ヲ御添ヘ下サルコトヲ切ニ希望シテ已マザル次第デアリマス(拍手)

○鈴木錠藏君 本案ハ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレントヲ望ミマス

(贊成「贊成」下呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認

メテ設置セラレマシテ、其後乙科トナリ、又現在ノ實科トナテ、改稱每ニ程度ハ向上致シマシテ、現在ニ於テハ專門學校ノ程度ニ進ンデ居リマス、其卒業生ハ既ニ二千六百餘名ノ多キニ達シテ居リマス、其卒業生ナルモノハ、實際ノ技能ヲ有シテ居ル、實科ナルモノハ平素實習ヲ重シテアルガ故ニ、實地ノ技能ヲ有シテ居ル故ニ卒業生ハ殆ド全ヤ全國ニ蔓延リマシテ、大林區署或ハ農事試驗場等ニ奉職致シ、實地ノ事ニ活躍致シテ居リマス、隨テ我農業界ヲシテ今日ノ程度マデニ向上發展セシメタルコトニハ、此實科ノ卒業生ガ與テカガアルト云フコトハ斷言シテ憚ラナイ、政府ニ於テモ此功績ノアルコトハ確ニ認メラレテ居リマシテ、昨年ノ委員會ニ於テ言明サレテ居リマス、然ルニ先ニ申上ゲマシタ通りニ、功績アルニ拘ラス其學校ノ待遇ハ如何ト申シマスルニ、單ニ專門學校令ニ准ズルト云フ日蔭者ノ扱ヲシテアル、獨立ノ學校ト認メラレテ居リマセヌ、其經費ノ如キモ、農學部ヲ切離サズ混同サレテアルガ故ニ、常ニ農學部ノ改良施設ニ多ク費サレテ、其實科ニ振向ケラレルモノハ、誠ニ僅少デア、隨テ御承知ノ通りノ日進月歩ニ順應スルダケノ改良施設ガ出来マセヌノヲ、吾々ニ於テ大ニ遺憾トスル次第デア、之ニ反シマシテ其後新設サレマシタ專門學校、農林學校ノ如キハ、獨立ノ經費ヲ有シテ居ルガ故ニ、常ニ改良施設ヲ致シマシテ益、向上スル半面ニハ、此實科ハ何等ノ經費ヲ用ヒザルガ故ニ、益、低下致シマシテ、折角是迄贏チ得タル名聲ヲ墜スヤウニナルノヲ洵ニ憂フルノデアリマス、先年高等農林學校ノ増設、即チ各所ニ之ガ出来マシタ際ニ、此實科ハ當然獨立サセテ戴ク善デアリマシタガ、又政府トシテモ當然獨立サセラルベキモノデアタト思ヒマス、併シ其際ハ入學難

メマス、仍テ動議ノ如ク委員付託ニ決シマシタ、日程第十四、國立水産試驗場設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者廣瀨鎮之君

### 第十四 國立水産試驗場設置ニ關スル建議案(廣瀨鎮之君提出)

國立水産試驗場設置ニ關スル建議案

本邦水産事業ニ關シテハ僅ニ水産講習所アリテ水産ニ關スル一部ノ試驗ヲ行ヒツツアリト雖未タ完カラス殊ニ各府縣ニ在ル水産試驗場ノ如キ試驗ノ方針區區ニシテ一定セス從テ水産増殖ノ成績觀ルヘキモノ甚タ渺シ是レ畢竟經費寡少ニシテ完全ナル試驗ヲ行ヒ得サルト同時ニ狀況相同シキ海面ニ於テ聯絡試驗ヲ爲ス能ハサル等ニ基因スト謂ハサルヘカラス依テ全國ヲ數區ニ分チ海面ノ相同シキモノヲ一區トシ國立水産試驗場ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔廣瀨鎮之君登壇〕

○廣瀨鎮之君 本案ハ國立試驗場ヲ設ケマシテ、我が漁業界ノ衰頹ヲ救ハナケレバナラヌト云フ趣旨ナリデアリマス、御承知ノ通り我が水産物ハ米穀ニ亞グベキ重要ナル食用品デアリコトハ申迄モナイコトデアリマス、然ルニ近時益減退致シマシテ、全國到處不漁ノ聲ヲ聞クデアリマス、此儘ニ放任シテ置キマシタナラバ、近キ將來ニ於テハ、恐ルベキ現象ヲ見ナケレバナラヌコトデアラウト考ヘマス、現ニ大正九年ノ統計ヲ見マスト、二億七千万圓臺ノ漁獲物ガアルデアリマス、然ルニ大正十年ニハ二億五千万圓ニ減テ居ルデアリマス、斯ウ云フ數字ヨリ見マシテモ、最モ憂フベキコトデアラウト存ジマス、而モ魚價ハ益々騰貴致シマシテ、殆ド測ルベカラザル状態デアリマス、今ニシテ之ヲ救フ途ヲ講ゼナケレバ、前途非常ニ憂フベキコトデアリマスカラ、吾々ハ常ニ之ヲ心配致シマシテ、之ヲ救フニハ是非トモ全國樞要ノ所ニ此水産ノ試驗場ヲ造リマシテ、サウシテ鳥獸ト魚族トノ關係、或ハ水深ノ關係等ヲ調査致シマシテ、之ニ適應スル所ノ漁法ヲ案出シナケレバナラヌコトデアラウト考ヘテ居ルデアリマス、其他人爲的ニ魚族ノ蕃殖保護モ圖ラナケレバナリマセヌ、又此水産ノ方面ニ於キマシテモ、ソレト科學的知識ヲ應用致シマシテ、最モ重要ナル食品ニ造上

ゲナケレバナラヌト云フコトモ、最モ必要デアアルデアリマス、現ニ我が水産物ガ肥料トシテ用キラレテ居ルモノハ、約數量ニ於テ六割位ヲ占メテ居ルカト思ヒマス、各國ニ於テ此魚族ヲ肥料トシテ居ルモノ云フ國ハ殆ド無イデアリマス、今申上テマシタ通り我が水産物ハ科學的知識ヲ應用セラレズシテ、食料品ニ利用セラレナイト云フコトガ、是等ノ現象ヲ見テモ明カデアリマス、此方面ニ於キマシテハ大ニ研究シナケレバナラヌ事デアラウト考ヘマス、而シテ其樞要ノ地ト致シマシテハ、私共ハ常ニ考ヘテ居ルデアリマス、先ヅ日本海方面ガ最モ適當デアラウト考ヘテ居ルデアリマス、是ハ北緯太ヨリ北海道、日本海沿岸ニ沿ヒマシテ最モ魚族ノ豐富ナル所デアッテ、而モ地理的關係ニ於テ、潮流其他ノ事柄ヲ調ヘルノニハ、極メテ適當ノ所デアリデアリマス、先ヅ基礎ヲ日本海沿岸ノ適當ノ地ニ置キマシテ、サウシテソレ等ノ諸點ヲ調査シ、サウシテ我が漁業界ノ嚮フ所ヲ知ラシムルト云フコトガ、最モ現時急ヲ要スル事デアラウト私ハ存ジマス、故ニ此事ニ付キマシテハ一日モ急ヲ要スルコトデアリマスカラ、願ハクハ諸君ノ御賛同ヲ得マシテ早ク實行致シタイト考ヘルデアリマス、是レ本案ヲ提出シタル所以デアリマス(拍手)

○鈴木鏡藏君 本案ハ櫻田幸雄君外三名提出大漁船獎勵ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(贊成)下呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ナイト認ママス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十五、奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者福井甚三君

### 第十五 奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案(福井甚三君外四名提出)

奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案

奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案

歐洲大動亂平定ノ結果ハ平和和熱ノ高潮トナリ平和和熱ノ高潮ハ人心著シク工藝美術ニ傾注ニスル至ル即チ其ノ發展ニ徵スルモ其ノ展覽會ニ徵スルモ一斑ヲ窺知スルニ足ル是ト同時ニ工藝美術ヲ研鑽攻究セムト欲スル者尠ナラサルノ傾向ヲ生シタルニ拘ラス此ノ種學校ノ如キハ僅ニ東京及京都ニ建設シ在ルニ止マルヲ以テ志望者ヲシテ満足セシム

ル上ニ於テ將又文運ヲ闡明啓發スル上ニ於テ誠ニ遺憾少カラサルモノアリ苟モ益美術ヲ昌盛ニシ更ニ其ノ發達普及ヲ圖ラムト欲スレハ此ノ種ノ學校ヲ増設スルハ最策ノ得タルモノナルヲ信ス而シテ此ノ種ノ學校ヲ建設セムトスルニ當リテハ其ノ地ノ選擇ヲ第一トス惟フニ我カ奈良ノ如キハ大阪及京都ノ兩市ニ隣接シ風光秀麗ニシテ加フルニ古來森嚴ナル歴史ヲ有シ且美術工藝ノ隆興地タルヲ以テ最適當恰好ノ土地ナリト信ス即チ如上ノ點ヨリ見テ美術學校ヲ増設スルヲ目下ニ於ケル必要トシ更ニ其ノ設立スヘキ地ハ奈良ヲ以テ最適當ノ地ナリト信ス故ニ政府ハ速ニ之カ調査ヲ遂ケ奈良ニ美術學校ヲ建立セラレ文華煥發ノ舉ニ出テラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔福井甚三君登壇〕

○福井甚三君 只今上程ニナリマシタ奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案ハ、昨四十五議會ニ於キマシテ本壇上ヨリ説明ヲ致シタデアリマス、幸ニシテ諸君ノ御賛成ヲ得マシテ通過ヲ致シマシタデアリマスカラ、詳細ナル説明ハ省略致シ、極ク簡單ニ申上ゲタイト思フデアリマス、世界平和ノ緒ニ付キマシタル今日ト致シマシテハ、速ニ此種ノ學校ヲ増設ナシ、日本國有生粹ノ美術ヲ隆盛ニ致スノハ勿論デアラウト思フデアリマス、又其普及ヲ圖ルト同時ニ、一般民衆的ニ大ナル理解ヲ養ハシメテ其發達ヲ期スルト云フコトハ、眞ノ平和ヲ求メルコトノ上ニ於キマシテ、最モ意義アルコト、存ズルデアリマス、果シテ然リト致シマシレバ、此種ノ學校ヲ増設スルニハ、今更申スマデモアリマセヌガ、既ニ二十年前ニ於キマシテ、其當時ノ當局者ニ於テ、奈良ノ地ニ建設スルコトハ最モ適當デアアル、必要デアルト信セラレタデアリマス、其數地マデニ於キマシテモ、奈良市ニ於テ、既ニ寄附ノ手續ヲシテ、建設ニ掛ラント致シタデアリマスカラ、時邁ニ國家ノ事變ノ爲ニ財政ノ許サレ破目ニ陥テ、已ムナク中止ニナリテ今日ニ及ンダト云フ歴史アル案件デアリマスカラ、何卒諸君ノ御賛成ヲ得テ、速ニ建設アランコトヲ切ニ希望スルデアリマス(拍手)

○鈴木鏡藏君 本案ハ有馬秀雄君以外三名提出東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(贊成)下呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニ御異議ハナイト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第十六、那賀川改修速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——提出者淺石惠八君

第十六 那賀川改修速成ニ關スル建議案

(淺石惠八君外三名提出)

那賀川改修速成ニ關スル建議案

那賀川改修速成ニ關スル建議

德島縣那賀川ハ阿土國境ヨリ海部那賀ノ全郡ヲ貫流スル三十餘里ノ大川ニシテ下流狹ク且屈曲多ク爲ニ沿岸ノ耕地頻年水害ヲ被リ國土保安上速ニ改修ヲ施スヲ以テ急務ナリト認ム而シテ政府ハ既ニ測量ヲ了シタリト聞ク直ニ案ヲ立テ改修ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○淺石惠八君 簡單デゴザイマスカラ、當席カラ御許シテ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 宜シウゴザイマス

○淺石惠八君 本案ハ四十四及四十五議會ニ於キマシテ、滿場ノ御賛成ヲ得マシテ、建議ヲ致シマシテ那賀川ノ改修ヲ速ニシテ戴キタイト云フ建議デアリマス、此提出ノ理由ニ付キマシテハ、重ネテ申上ゲルコトヲ省キマスガ、今日ニ於キマシテハ、政府ニ於マシテモ既ニ測量ヲセラレテ居リマス、測量ノ結果ハ不日明カニナラウト思ヒマス、幸ニ本院ノ滿場一致ノ御賛成ヲ得マシテ一日モ速ニ此改修ノ出來マスコトヲ希望スル次第デアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○鈴木鏡藏君 本案ハ津崎尙武君外二名提出肝屬川改修速成ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○鈴木鏡藏君 殘餘ノ日程ニ對シ延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 鈴木君ノ動議ニハ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——次會ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時四十二分散會

衆議院議事速記録第十六號中正誤

頁	段	行	誤	正
三〇八	上	二九	職員	職責